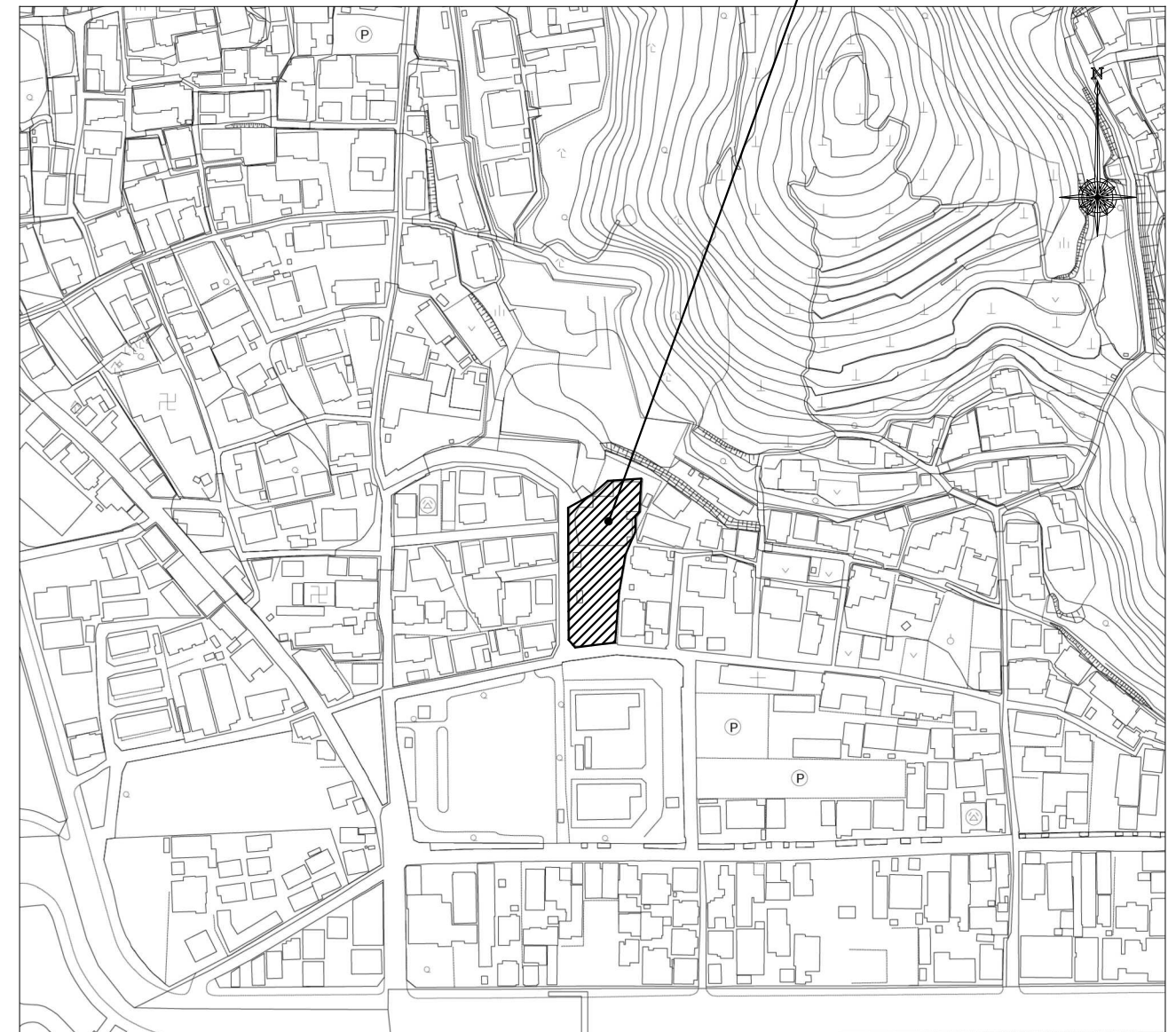


令和8年度 岡山市三門児童センター一屋根・外壁ほか改修工事

工事場所：岡山市三門児童センター
岡山市北区三門西町6番32号

図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺
A-00	表紙・図面リスト・附近見取図	1/2500	E-01	岡山市建築設備工事（電気）仕様書	-
A-01	建築改修工事特記仕様書1	-	E-02	照明器具参考姿図	-
A-02	建築改修工事特記仕様書2	-	E-03	電灯設備 1階平面図	A1:1/100 A3:1/200
A-03	建築改修工事特記仕様書3	-	E-04	電灯設備 撤去 1階平面図	A1:1/100 A3:1/200
A-04	建築改修工事特記仕様書4	-	E-05	コンセント設備 1階平面図	A1:1/100 A3:1/200
A-05	建築改修工事特記仕様書5	-	E-06	動力設備 1階・屋根部平面図	A1:1/100 A3:1/200
A-06	建築改修工事特記仕様書6	-	E-07	拡声設備 1階平面図	A1:1/100 A3:1/200
A-07	建築改修工事特記仕様書7	-	小計		7枚
A-08	外壁改修仕様書	-	M-01	空調設備平面図(改修前・改修後)	A1:1/100 A3:1/200
A-09	改修仕上表	-	M-02	衛生設備平面図(改修前・改修後)	A1:1/30 A3:1/60
A-10	配置図兼仮設計画図(参考図)	1/300・50	M-03	換気設備平面図(改修前・改修後)	A1:1/100 A3:1/200
A-11	改修平面図	1/150	小計		3枚
A-12	改修屋根伏図・改修断面詳細図①	1/150・25			
A-13	改修断面詳細図②	1/25			
A-14	改修立面図	1/150			
A-15	改修天井伏図	1/150			
A-16	改修床伏図	1/150			
A-17	便所改修詳細図	1/30			
A-18	改修建具表・改修展開図①	1/60			
A-19	改修展開図②・下足入れ詳細図	1/60・30			
A-20	改修外構図	1/150・100 ・30・10			
小計		21枚	合計		31枚



附近見取図 S=1/2,500

工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事					No.	A-00
図面名	表紙・図面リスト・附近見取図			縮尺	1/2,500		
岡山市都市整備局住宅・建築部						令和8年5月	
公共建築課	課長	主幹	課長補佐	係長	課員	設計担当	

⑥ 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3. 1. 4] [3. 5. 2~4] 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 高圧耐圧耐水 備考

⑦ 遮熱防水 [3. 1. 4] [3. 6. 2~4] 防水層の種類 [表3. 6. 1~表3. 6. 3] 工法 種別 施工箇所 仕上塗料 高圧耐圧耐水 備考

⑧ シーリング [3. 1. 4] [3. 7. 2] [3. 7. 4~7] シーリング改修工法の種類 シーリング充てん工法 シーリング再充てん工法

⑨ とい [3. 8. 2, 3] といの材質 配管用鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管 ルーフドレン 種別 施工箇所

① アルミニウム製笠木 [3. 9. 2~3] 種類 ・押出形(・押出250形・押出300形・押出350形) [表3. 9. 1] ・板材折曲げ形(・オーブ形式・シール形式)

② ポリマーセメントモルタル [4. 2. 2] (品質・性能) 項目 品質・性能 だれ 下がり量(mm) 5以内

③ 吸水調整材 [4. 3. 5] 改修標準仕様書 表4. 3. 2による

④ 既調合モルタル [4. 3. 5] モルタル下地としたタイル工事に使用する強付用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする

2 欠損部改修工法 [4. 1. 4] [4. 3. 9, 10] ※充填工法(欠損部の面積が0.25m2/箇所程度以下の場合) 充填材の種類 ※ポリマーセメントモルタル・エポキシ樹脂モルタル

4 外壁複合改修工法 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評議を取った工法とする

1 タイルの形状、寸法等 [4. 4. 5, 8] タイル部分強替工法及びタイル張替工法用接着剤の種類 ・JIS A 5557による一液反応硬化形の変成シリコーン樹脂系

3 欠損部改修工法 [4. 1. 4] [4. 4. 5, 7, 8] ・タイル部分強替工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・外装タイル接着剤強りの接着剤

4 浮き部改修工法 [4. 4. 5, 9~15] ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(・注入口) ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法(・注入口)

④ 1 5 ① 既存塗装等の除去、下地処理及び下地調整 [4. 5. 4] 工法 処理範囲 下地面の修繕

② 下地調整塗材 [4. 5. 2] ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル

③ 仕上塗材仕上げ [4. 1. 5] [4. 5. 2] [表4. 5. 1] 種類 呼び名 防火材料 仕上げの形状及び工法等

4 マスチック塗材塗り [4. 1. 5] [4. 6. 2] [表4. 6. 1] 改修標準仕様書 4.6.2 による

5 外壁用遮熱防水材塗り [4. 1. 5] [4. 7. 2~3] [表4. 7. 1] 工法及び仕上げの形状 ・吹付け(・凸凹状) ・凸凹処理

⑤ 1 改修工法 [5. 1. 3] ※かぶせ工法(・か-工法) ・持出し工法 ・ノック工法 適用箇所(・建具表による)

2 防火戸 [5. 1. 4] 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ設置、熱感知器又は温度感知器との連動

3 見本の製作等 [5. 1. 5] 建具見本の製作 ・行う(建具符号:) ※行わない

4 防犯建物部品 [5. 1. 7] ・適用する 適用箇所(・建具表による) 5 アルミニウム製建具 [5. 2. 2~5] 性能等 ・耐風圧性の等級() ・気密性の等級()

工事名 岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事 No. A-02 図面名 建築改修工事特記仕様書2 岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課 令和8年5月

6	網戸等 [5. 2. 3] [5. 3. 3]	種類	材質	線径	網目	
		○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	
7	樹脂製建具 [5. 3. 2~4]	性能値等	・耐風圧性の等級 ()、機械性の等級 ()、水密性の等級 () ※改修標準仕様書表5.3.11による種別 外部に面する建具 ・A種(建具符号 () 全て・建具表による ()) ・B種(建具符号 () 全て・建具表による ()) ・C種(建具符号 () 全て・建具表による ()) 防音D7、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級・T-1・T-2)・適用しない(建具符号・建具表による ()) 断熱D7(G)、断熱D7(G)の断熱性の等級・適用する(等級・H-4・H-5・H-6・H-7・H-8)(建具符号・建具表による ())・適用しない() 外部に面する建具の日射熱取得性の等級・形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ※建具表による () 表面色 ※標準色 () 特注色 () 取付工法 水切り板、ぜん板 ※図示 () ガラス ※複層ガラス ()			
		性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型ドアセット 気密性の等級・A-3 水密性の等級・W-1 外部に面する面する建具の耐風圧性の等級・S-4・S-5・S-6 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 断熱D7(G)、断熱D7(G)の断熱性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() ステンレス鋼板の材料 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※H L以上 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.4.21による () 使用箇所 ()				
8	鋼製建具 [5. 2. 2] [5. 4. 2~4]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板	区分	材質		
		鋼板	※重鉛めっき鋼板・ビニル被覆鋼板・カラー鋼板			
9	鋼製軽量建具 [5. 2. 2] [5. 5. 2~4]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)				
		性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)				
10	ステンレス製建具 [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)				
		性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)				
11	鍵 [5. 8. 4]	マスターキー・製作する() () 製作しない () 既存に相込む 鍵筒・設ける() () () 設けない ()				
12	自動ドア開閉装置 [5. 9. 2~3]	引き戸用駆動装置 性能 ※改修標準仕様書表5.9.1による ・SSLD-1・SSLD-2・DSDL-1・DSDL-2 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置 性能 ※改修標準仕様書表5.9.2による 引き戸用検出装置の種類 [表5.9.1~6] ※光線(反射)センサー・電波センサー・音波センサー・熱線センサー・光電センサー ・タッチスイッチ・押しボタンスイッチ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ・光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便所操作スイッチの種類 ・大形(開・閉)押しボタンスイッチ・非接触スイッチ				
13	自閉式上吊り引戸装置 [5. 10. 3]	性能等 ※標準仕様書表5.10.1による ()				
14	重量シャッター [5. 11. 2~5]	種類・管理用・外壁用防火・屋内用防火・防煙 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa 開閉方式の種類 ※電動式(手動併用)・手動式 安全装置 電動シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 設置箇所・建具表による () 電動シャッターの障害物感知装置 設置箇所・建具表による () 屋内用防火シャッター又は防煙シャッターの危害防止装置 設置箇所・建具表による () 管理用シャッターのシャッターケース・設ける()・設けない() スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※Z12又はF12を満足するもの ガイドレール、まぐさ、両側に用いる座板及び電板のカバー、両側に用いる スイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板の材料 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1				

15	軽量シャッター [5. 12. 2~4]	開閉方式の種類 ※手動式・電動式(手動併用) [表5.11.1] 耐風圧強度 () Pa 安全装置(電動シャッター) ・急降下停止装置 設置箇所・建具表による () ※障害物感知装置 設置箇所・建具表による () スラットの材質の種類 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※Z06又はF06 ()) ・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※AZ90 ()) スラットの形状・インターロック形状・オーバーラッピング形							
		セクション材料による区分 ※スチールタイプ・アルミニウムタイプ・ファイバーグラスタイプ 風圧力による強さの区分・1.75・1.25・1.00・0.75・0.50 開閉方式による区分 ※バランス式・チェーン式・電動式 収納方式による区分・スタンダード形・ローヘッド形・ハイリフト形 パーテカル材 ガイドレールの材質 ※溶融亜鉛めっき鋼板・ステンレス製(SUS304)厚さ2.0mm 下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 ※建具表による () ・合わせガラス							
16	オーバーヘッドドア [5. 13. 2~3]	材料板ガラスの種類	組合せ	特性による種類					
		※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス	・I類・II-1類 ・熱線吸収、フロート板合わせガラス ・II-2類・III類					
17	ガラス [5. 14. 2]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型ドアセット 気密性の等級・A-3 水密性の等級・W-1 外部に面する面する建具の耐風圧性の等級・S-4・S-5・S-6 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 断熱D7(G)、断熱D7(G)の断熱性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() ステンレス鋼板の材料 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※H L以上 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.4.21による () 使用箇所 ()	材料板ガラスの種類	材料板ガラスの種類による名称	特性による種類				
		※フロートガラス	※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・I類・III類					
18	ガラス留め材 [5. 14. 2]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板	種別	日射透へい性	耐久性	ガラスの種類			
		鋼板	・1種 ・A種	・A種 ・B種					
19	ガラスブロック積み [5. 14. 5]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	建具の種類	材種	ガラス溝の大きさ(mm)				
		鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材・ガスケット ※建具の製造所の仕様による () アルミニウム製 ※シーリング材・ガスケット ※建具の製造所の仕様による () ステンレス製 ※シーリング材・ガスケット ※建具の製造所の仕様による () 木製 ※シーリング材・ガスケット ※建具の製造所の仕様による () 樹脂製 ※シーリング材・ガスケット ※建具の製造所の仕様による ()							
20	ガラス用フィルム [5. 14. 5]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	表面形状	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地	防火性能
		・正方形	・160×160 ・125	・95 ・125	・クリア乳白 ・平積み	・※8~15 ・※標準仕様書5.14.5(2)(a)②	・※6m以下毎に 10~25	・※なし ・あり	
21	付属電気設備	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	壁用金属種及び補強材・設ける() () 設けない () 石膏 ※ステンレス鋼(SUS304)径5.5mmはしご形状複筋及び単筋 目地部の石膏の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による () 化粧目地モルタルの色 () シーリングの種類 () 金属製化粧カバー 材質・ステンレス製・アルミニウム製 寸法・図示による () 形状・図示による () 木下地の場合のアンカー等の取付け間隔・図示による 工法 1章 20 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法						
		名 称	張り面	性能値					
22	木製建具 [5. 7. 2~4]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	器具の加工、組立時の含水率 ※A種 () 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ○フラッシュ戸 表面材の合板の品質等						
		合板の種類	規格等	備考					
23	普通合板	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	表面の種類	生地、透明塗料塗り () () ※70程度 () 不透明塗料塗り () () ※しな合板程度 () 板面の品質 (※広葉樹1等 ()) 接着の程度 (・1類・2類 ())					
		・天然木 化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類・2類 ())						
24	特殊加工 化粧合板	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	化粧加工の方法 (・オーバレイ・アブリ・塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1類・2類 ()) 裏面の状態による区分 () 曲げ強さによる区分 () 接着剤による区分 () 難燃性による区分 ()						
		・ミディアムデンシティ ファイバーボード (MDF)							

25	① 他部分との取合い等 [6. 1. 3]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	既存切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う () 図示 ・天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う () 図示 ・既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※既存のまま () 図示 ※既存のまま () 図示						
		性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	ビニルシート等の撤去 ※仕上材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも () 図示(撤去範囲全て) 合成樹脂塗料の除去 () 機械的除去工法 () 目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル等の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修部の端部より1m程度 () 図示						
26	2 既存床の撤去及び下地補修 [6. 2. 2]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	既存切壁の撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り () () () (仕上げ厚又は全厚25mmを超える場合の処理 ※図示 ())						
		性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ () ・JAS 1083-5に基づく下地用塗材(G)						
27	3 既存壁の撤去及び下地補修 [6. 3. 2]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級(材面の品質)	形状	含水率	保存処理
		・JAS 1083-2に基づく造作用塗材(G)							
28	4 製材 [6. 5. 2]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ () ・JAS 1083-5に基づく下地用塗材(G)						
		性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	・JAS 1083-2に基づく造作用塗材(G)						
29	5 造作用集材 [6. 5. 2]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	・JAS 1083-6に基づく広葉樹製材(G)						
		性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	・JAS 1083(製材)以外の製材(G)						
30	6 造作用単板積層材 [6. 5. 2]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ () ・JAS 1152に基づく造作用集材(G)						
		性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	・JAS 1152に基づく化粧ばり造作用集材(G)						
31	7 合板等 [6. 5. 2]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ () ・JAS 0701に基づく造作用単板積層材(G)						
		性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	・JAS 1152以外の造作用集材(G)						
32	8 接合具等 [6. 5. 3]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	保存処理	
		・JAS 1152に基づく化粧ばり造作用集材(G)							
33	9 防塵・防蟻処理 [6. 5. 5]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ () ・JAS 1152に基づく造作用集材(G)						
		性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	・JAS 1152以外の造作用集材(G)						
34	10 防塵・防蟻処理 [6. 5. 5]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	保存処理	
		・JAS 1152に基づく化粧ばり造作用集材(G)							
35	11 防塵・防蟻処理 [6. 5. 5]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ () ・JAS 0701に基づく造作用単板積層材(G)						
		性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 耐震D7Aの面内変形促進性の等級・適用する(等級 ())・適用しない() 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	・JAS 1152以外の造作用集材(G)						
36	12 防塵・防蟻処理 [6. 5. 5]	性能値等(建具符号・建具表による ()) 簡易気密型・適用する()・適用しない() 防音D7A、防音D7の遮音性の等級・適用する							

10 軽量鉄骨天井下地 [6. 6. 2~4] 野縁等の種類 屋根(※25形) 屋内(※19形・25形) 屋外の軒天井・ピロティ天井等 工法 1章 20 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔 図示 周辺部の端からの間隔 図示 野縁の間隔 図示 既存の埋込みインサート 使用する 使用しない あと施工アンカーの確認試験 行う(試験箇所数 ※屋内の場合、当該層において3箇所(確認強度 ※改修標準仕様書6.6.4(1)(9)による) 行わない 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 図示 天井のふところ高が3.0mを超える場合 補強方法 図示 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※高さが6mを超える天井 図示 補強方法 ※「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年国土交通省告示第771号)第3条第2項第2号に適合させる。 図示 11 軽量鉄骨壁下地 [6. 7. 3, 4] [6. 6. 7. 1] スタッド、ランナの種類 ※改修標準仕様書6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕様書6.7.4.(5)による 12 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル [6. 8. 2] [6. 8. 3] ビニル樹脂系材料の原材料 再生ビニル系材料の原材料の合計重量が製品の総重量比で15%以上使用されているもの 種類 種類の記号 色柄 厚さ(mm) 工法 ※発泡層のないもの ※FS ※無し ※2.0 ※突付け ※TS ※マーブル ※2.5 ※熱溶接 ※発泡層のあるもの ※HS ※無し ※突付け ※KS ※マーブル ※熱溶接 ※特殊 ※植物 ※接合部の処理(工法 ※熱溶接工法) ビニル床タイル(G) 種類 種類の記号 色柄 寸法 厚さ(mm) ※接着形 ※FT ※無し ※300×300 ※2.0 ※TT ※マーブル ※450×450 ※2.5 ※KT ※特殊 ※500×500 ※3.0 ※置敷形 ※FOA ※置敷形 ※FOB 特殊機能床材(帯電防止)(G) 種類 記号 色柄 厚さ(mm) 備考 帯電防止床シート ※FS ※2.0 帯電防止性能評価値(JIS A1455) 1.2以上~3.2未満 帯電防止床タイル ※FOA ※2.0 又は体積電気抵抗値(JIS A1454) 1×10⁷~10¹⁰Ω程度 特殊機能床材(帯電防止以外) 種類 厚さ(mm) 寸法(mm) 材料 色柄 鉄線用床材、注意喚起用床材(表面形状 JIS T9251) ※300×300 ※塩ビ・合成ゴム ※黄色 ※400×400 合成ゴム 13 接着剤 [6. 8. 2], [6. 11. 5] [6. 13. 2], [6. 14. 2] [6. 16. 4] 接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていないものとする。 ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ 14 カーペット敷き [6. 9. 2] [6. 9. 3] タイルカーペット(G) バイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備考 ※ルーパイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ※第二種 ※カットパイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ※第二種 ※カットループ併用 ※第一種 ※500×500 ※6.5 ※第二種 下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号(呼び厚さ8mm) 見切り、押え金物の材質、種類及び形状 図示 15 合成樹脂塗床 [6. 10. 2] [6. 10. 3] 水性ウレタン樹脂塗床材 [6. 10. 1] 水性ウレタン樹脂塗床材 ※平滑仕上げ 防汚仕上げ つか消し仕上げ 仕上げの種類 ※平滑仕上げ 防汚仕上げ ※標準色 工法 滑膜流しのべ仕上げ 厚膜流しのべ仕上げ 樹脂モルタル工法 仕上げの種類 平滑仕上げ 防汚仕上げ 塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ 16 防じん用塗床 材質 水性アクリル系樹脂塗床材 仕上の種類 ※平滑仕上げ 防汚仕上げ ※標準色 製造所の指定する工法とする 工法 上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする 塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ 17 フローリング張り [6. 11. 2~6] フローリング材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ 種類、工法 単層フローリング(・70-100g/m²・1等・70-100g/m²等) 樹種 ※なら 釘どめ工法(・根太張り・直張り) 接着工法 フローリングボードの大きさ ※改修標準仕様書表6.11.1.3.5による ※複合フローリング 樹種 ※なら・ヒノキ 釘どめ工法(・根太張り・直張り) (・A種・B種 ※C種) 接着工法(・A種・B種 ※C種) フローリングボードの大きさ ※改修標準仕様書表6.11.2.4.6による 仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス・オイルステイン塗りのうえワックス 床地のままワックス 間伐材等の適用 ※適用する 適用しない 間伐材等 間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積割合が10%以上であること 居室の内装材にあつては、ホルムアルデヒド放数量(JAS規格による測定方法)が平均値で0.3mg/L以下かつ最大値で0.4mg/L以下であること

18 可動間仕切り (20.2.3) せっこうボード 其他ボード及び合板張り [6. 13. 2] JIS A6512によるほか、下記による 構造形式による種類 ※スタッド式(・スタッド露出・スタッド内蔵)・スタッドパネル式 構成基材の種類 ※図示による パネル表面材質及び厚さ(mm) ※鋼板0.6・鋼板0.8・仕上げ メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付(※常備品・指定色) パネル総厚さ(mm) mm程度 遮音性(dB) ・0・1.5程度・3.0程度・3.6以上 防火性能 不燃 MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ 種類 JISの記号 厚さ(mm)、規格等 ・硬質木モセメント板 HW ・15・20・25 ・中質木モセメント板 MW ・15・20・25 ・普通木モセメント板 NN ・15・20・25 ・硬質木片セメント板 HF ・12・15・18・21 ・普通木片セメント板 NF ・30 ・けい酸カルシウム板 0.8FK 1.0FK タイプ2(無石綿) ・6・8 化粧けい酸カルシウム板 0.8FK 1.0FK タイプ2(無石綿) ・6・8 表面への化粧張り等の加工 ・アクリル樹脂系焼付け ・ロックウール化粧吸音板 DR ※フラットタイプ(・9(不燃)・12(不燃)・凹凸タイプ(・12(不燃)・15(不燃)) ・ロックウール吸音ボードI号 RW-B ・25 ・グラスウール吸音ボード2K GW-B ・25 (ガラスクロス色) ・せっこうボード GB-R ※12.5(不燃)・15(不燃) ・不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5(不燃) ・化粧なし(下地張り用) ・化粧あり(トラバーチン模様) ・シーリングせっこうボード GB-S 12.5(※不燃・準不燃) ・強化せっこうボード GB-F 12.5(不燃)・15(不燃) ・せっこうラスボード GB-L 9.5 化粧せっこうボード GB-D 9.5(準不燃) ・普通合板 単板の種類名: 生地、透明塗料塗 (※ラワン程度) 不透明塗料塗 (※しな程度) 板面の品質() 厚さ(mm)() 接着の程度(・1類・2類) ・天然化粧合板 樹種名() 接着の程度(・1類・2類) 厚さ(mm)() ・特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能()タイプ 接着の程度(・1類・2類) 厚さ(mm)() ・メラミン樹脂化粧板 ・ポリエステル樹脂化粧板 ・ミディアムデンシティファイバーボード ・単板張り ・パーティクルボード ・化粧パーティクルボード ・ハードボード(素地) HB ・無研磨板(・スタンダード・テンパード RN) ・研磨板(・スタンダード・テンパード RS) ・ハードボード(化粧) ・内装用DI ・外装用DE ・2.5・3.5・5・7 ・インシュレーションボード IB A級(・天井仕上げ・内装仕上げ) ・9・12・15・18 天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ※図示による 合板の張付け ・A種 ・B種 目地工法の種類とせっこうボードのエッジの種類 目地処理の種類 張り方 せっこうボードのエッジの種類 ・継目処理 ・直張り・上張り ・テーパーエッジ・ペベルエッジ ・突付け ・直張り・上張り・下張り ・スクエアエッジ ・突付け目地 ・直張り・上張り ・ペベルエッジ ・目直し ・直張り・上張り ・ペベルエッジ・スクエアエッジ ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ 壁紙張り [6. 14. 2] 施工箇所 壁紙の種類 防火性能 廊下 ・紙・繊維 ○強化ビニル・フジワカ・無機質 ○不燃・準不燃・難燃 図書室 ・紙・繊維 ○強化ビニル・フジワカ・無機質 ○不燃・準不燃・難燃 モルタル・せっこうプラスター面の素地ごしらえの種類 ※B種 コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※B種 せっこうボード面及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらえの種類 ※B種 21 モルタル塗り [6. 15. 3, 5, 6] モルタル ※現場調合材料 既調合材料(材料) 既装目地材 貼ける 施工箇所() 形状(※図示) 貼けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗りの接着力試験 適用する 適用しない 壁面の仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の下地処理 図示による 建具回り等の充填モルタルに使用する防水剤 (品質性能等) 防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする 膨張性のひび割れおよびそりがない(JIS R5201規定10) 混合割合 セメント重量の5%以下(JIS A1404) 水灰比 9.5%以下(JIS A1404) 透水比 8.0%以下(水圧は2.94kPaとし1時間行) 凝結時間(JIS R5201規定9) 始発1時間以上、終結10時間以内 崩れ及び圧縮強度比 70%以上(JIS A1404) 22 セメントモルタルによるタイル張り [6. 16. 3] 伸縮調整目地の位置 床タイル(※縦、横とも4m以内ごと 図示) 床タイル以外(※図示)

23 有機系接着剤によるタイル張り [6. 16. 4] タイルの形状、寸法等 施工 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性 耐汚 備考 1類 2類 3類 ぬゆう ぬゆう 有 無 標準 特注 有 無 り性 備考 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り 行う ※行わない 見本供き 行う ※行わない 壁タイル張りの工法 内壁タイル・密着張り ・改良圧着張り 内壁タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り 伸縮調整目地の位置 床タイル(※縦、横とも4m以内ごと 図示) 床タイル以外(※図示) タイルの形状、寸法等 施工 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性 耐汚 備考 1類 2類 3類 ぬゆう ぬゆう 有 無 標準 特注 有 無 り性 備考 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り 行う ※行わない 見本供き 行う ※行わない 有機系接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ 24 セルフレベリング材塗り [6. 17. 2~3] 塗厚(mm) ※10mm程度 ① 材料 [7. 1. 3] ② 下地調整、素地ごしらえ [7. 2. 1~7] [7. 3. 2~7] ③ 錆止め塗料塗り [7. 4. 2] [7. 4. 3] ④ 仕上げ塗料塗り [7. 5. 2~7. 12. 2] ① 材料 ② 下地調整、素地ごしらえ ③ 錆止め塗料塗り ④ 仕上げ塗料塗り ⑤ 鉄筋工事 ⑥ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む) [8. 3. 5] ⑦ 耐震改修工事(共通事項) ⑧ 鉄筋の種類 ⑨ 溶接金網 ⑩ 鉄筋の継手及び定着 ⑪ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む) ⑫ 鉄筋の定着長さ ⑬ 機械式定着工法 ⑭ 必要定着長さ ⑮ 補強筋形状 ⑯ 品質確認 ⑰ 検査 ⑱ 鉄筋の定着長さ ⑲ 必要定着長さ ⑳ 補強筋形状 ㉑ 品質確認 ㉒ 検査 ㉓ 鉄筋の定着長さ ㉔ 必要定着長さ ㉕ 補強筋形状 ㉖ 品質確認 ㉗ 検査 ㉘ 鉄筋の定着長さ ㉙ 必要定着長さ ㉚ 補強筋形状 ㉛ 品質確認 ㉜ 検査 ㉝ 鉄筋の定着長さ ㉞ 必要定着長さ ㉟ 補強筋形状 ㊱ 品質確認 ㊲ 検査 ㊳ 鉄筋の定着長さ ㊴ 必要定着長さ ㊵ 補強筋形状 ㊶ 品質確認 ㊷ 検査 ㊸ 鉄筋の定着長さ ㊹ 必要定着長さ ㊺ 補強筋形状 ㊻ 品質確認 ㊼ 検査 ㊽ 鉄筋の定着長さ ㊾ 必要定着長さ ㊿ 補強筋形状 ㋀ 品質確認 ㋁ 検査 ㋂ 鉄筋の定着長さ ㋃ 必要定着長さ ㋄ 補強筋形状 ㋅ 品質確認 ㋆ 検査 ㋇ 鉄筋の定着長さ ㋈ 必要定着長さ ㋉ 補強筋形状 ㋊ 品質確認 ㋋ 検査 ㋌ 鉄筋の定着長さ ㋍ 必要定着長さ ㋎ 補強筋形状 ㋏ 品質確認 ㋐ 検査 ㋑ 鉄筋の定着長さ ㋒ 必要定着長さ ㋓ 補強筋形状 ㋔ 品質確認 ㋕ 検査 ㋖ 鉄筋の定着長さ ㋗ 必要定着長さ ㋘ 補強筋形状 ㋙ 品質確認 ㋚ 検査 ㋛ 鉄筋の定着長さ ㋜ 必要定着長さ ㋝ 補強筋形状 ㋞ 品質確認 ㋟ 検査 ㋠ 鉄筋の定着長さ ㋡ 必要定着長さ ㋢ 補強筋形状 ㋣ 品質確認 ㋤ 検査 ㋥ 鉄筋の定着長さ ㋦ 必要定着長さ ㋧ 補強筋形状 ㋨ 品質確認 ㋩ 検査 ㋪ 鉄筋の定着長さ ㋫ 必要定着長さ ㋬ 補強筋形状 ㋭ 品質確認 ㋮ 検査 ㋯ 鉄筋の定着長さ ㋰ 必要定着長さ ㋱ 補強筋形状 ㋲ 品質確認 ㋳ 検査 ㋴ 鉄筋の定着長さ ㋵ 必要定着長さ ㋶ 補強筋形状 ㋷ 品質確認 ㋸ 検査 ㋹ 鉄筋の定着長さ ㋺ 必要定着長さ ㋻ 補強筋形状 ㋼ 品質確認 ㋽ 検査 ㋾ 鉄筋の定着長さ ㋿ 必要定着長さ ㍀ 補強筋形状 ㍁ 品質確認 ㍂ 検査 ㍃ 鉄筋の定着長さ ㍄ 必要定着長さ ㍅ 補強筋形状 ㍆ 品質確認 ㍇ 検査 ㍈ 鉄筋の定着長さ ㍉ 必要定着長さ ㍊ 補強筋形状 ㍋ 品質確認 ㍌ 検査 ㍍ 鉄筋の定着長さ ㍎ 必要定着長さ ㍏ 補強筋形状 ㍐ 品質確認 ㍑ 検査 ㍒ 鉄筋の定着長さ ㍓ 必要定着長さ ㍔ 補強筋形状 ㍕ 品質確認 ㍖ 検査 ㍗ 鉄筋の定着長さ ㍘ 必要定着長さ ㍙ 補強筋形状 ㍚ 品質確認 ㍛ 検査 ㍜ 鉄筋の定着長さ ㍝ 必要定着長さ ㍞ 補強筋形状 ㍟ 品質確認 ㍠ 検査 ㍡ 鉄筋の定着長さ ㍢ 必要定着長さ ㍣ 補強筋形状 ㍤ 品質確認 ㍥ 検査 ㍦ 鉄筋の定着長さ ㍧ 必要定着長さ ㍨ 補強筋形状 ㍩ 品質確認 ㍪ 検査 ㍫ 鉄筋の定着長さ ㍬ 必要定着長さ ㍭ 補強筋形状 ㍮ 品質確認 ㍯ 検査 ㍰ 鉄筋の定着長さ ㍱ 必要定着長さ ㍲ 補強筋形状 ㍳ 品質確認 ㍴ 検査 ㍵ 鉄筋の定着長さ ㍶ 必要定着長さ ㍷ 補強筋形状 ㍸ 品質確認 ㍹ 検査 ㍺ 鉄筋の定着長さ ㍻ 必要定着長さ ㍼ 補強筋形状 ㍽ 品質確認 ㍾ 検査 ㍿ 鉄筋の定着長さ ㏀ 必要定着長さ ㏁ 補強筋形状 ㏂ 品質確認 ㏃ 検査 ㏄ 鉄筋の定着長さ ㏅ 必要定着長さ ㏆ 補強筋形状 ㏇ 品質確認 ㏈ 検査 ㏉ 鉄筋の定着長さ ㏊ 必要定着長さ ㏋ 補強筋形状 ㏌ 品質確認 ㏍ 検査 ㏎ 鉄筋の定着長さ ㏏ 必要定着長さ ㏐ 補強筋形状 ㏑ 品質確認 ㏒ 検査 ㏓ 鉄筋の定着長さ ㏔ 必要定着長さ ㏕ 補強筋形状 ㏖ 品質確認 ㏗ 検査 ㏘ 鉄筋の定着長さ ㏙ 必要定着長さ ㏚ 補強筋形状 ㏛ 品質確認 ㏜ 検査 ㏝ 鉄筋の定着長さ ㏞ 必要定着長さ ㏟ 補強筋形状 ㏠ 品質確認 ㏡ 検査 ㏢ 鉄筋の定着長さ ㏣ 必要定着長さ ㏤ 補強筋形状 ㏥ 品質確認 ㏦ 検査 ㏧ 鉄筋の定着長さ ㏨ 必要定着長さ ㏩ 補強筋形状 ㏪ 品質確認 ㏫ 検査 ㏬ 鉄筋の定着長さ ㏭ 必要定着長さ ㏮ 補強筋形状 ㏯ 品質確認 ㏰ 検査 ㏱ 鉄筋の定着長さ ㏲ 必要定着長さ ㏳ 補強筋形状 ㏴ 品質確認 ㏵ 検査 ㏶ 鉄筋の定着長さ ㏷ 必要定着長さ ㏸ 補強筋形状 ㏹ 品質確認 ㏺ 検査 ㏻ 鉄筋の定着長さ ㏼ 必要定着長さ ㏽ 補強筋形状 ㏾ 品質確認 ㏿ 検査 㐀 鉄筋の定着長さ 㐁 必要定着長さ 㐂 補強筋形状 㐃 品質確認 㐄 検査 㐅 鉄筋の定着長さ 㐆 必要定着長さ 㐇 補強筋形状 㐈 品質確認 㐉 検査 㐊 鉄筋の定着長さ 㐋 必要定着長さ 㐌 補強筋形状 㐍 品質確認 㐎 検査 㐏 鉄筋の定着長さ 㐐 必要定着長さ 㐑 補強筋形状 㐒 品質確認 㐓 検査 㐔 鉄筋の定着長さ 㐕 必要定着長さ 㐖 補強筋形状 㐗 品質確認 㐘 検査 㐙 鉄筋の定着長さ 㐚 必要定着長さ 㐛 補強筋形状 㐜 品質確認 㐝 検査 㐞 鉄筋の定着長さ 㐟 必要定着長さ 㐠 補強筋形状 㐡 品質確認 㐢 検査 㐣 鉄筋の定着長さ 㐤 必要定着長さ 㐥 補強筋形状 㐦 品質確認 㐧 検査 㐨 鉄筋の定着長さ 㐩 必要定着長さ 㐪 補強筋形状 㐫 品質確認 㐬 検査 㐭 鉄筋の定着長さ 㐮 必要定着長さ 㐯 補強筋形状 㐰 品質確認 㐱 検査 㐲 鉄筋の定着長さ 㐳 必要定着長さ 㐴 補強筋形状 㐵 品質確認 㐶 検査 㐷 鉄筋の定着長さ 㐸 必要定着長さ 㐹 補強筋形状 㐺 品質確認 㐻 検査 㐼 鉄筋の定着長さ 㐽 必要定着長さ 㐾 補強筋形状 㐿 品質確認 㑀 検査 㑁 鉄筋の定着長さ 㑂 必要定着長さ 㑃 補強筋形状 㑄 品質確認 㑅 検査 㑆 鉄筋の定着長さ 㑇 必要定着長さ 㑈 補強筋形状 㑉 品質確認 㑊 検査 㑋 鉄筋の定着長さ 㑌 必要定着長さ 㑍 補強筋形状 㑎 品質確認 㑏 検査 㑐 鉄筋の定着長さ 㑑 必要定着長さ 㑒 補強筋形状 㑓 品質確認 㑔 検査 㑕 鉄筋の定着長さ 㑖 必要定着長さ 㑗 補強筋形状 㑘 品質確認 㑙 検査 㑚 鉄筋の定着長さ 㑛 必要定着長さ 㑜 補強筋形状 㑝 品質確認 㑞 検査 㑟 鉄筋の定着長さ 㑠 必要定着長さ 㑡 補強筋形状 㑢 品質確認 㑣 検査 㑤 鉄筋の定着長さ 㑥 必要定着長さ 㑦 補強筋形状 㑧 品質確認 㑨 検査 㑩 鉄筋の定着長さ 㑪 必要定着長さ 㑫 補強筋形状 㑬 品質確認 㑭 検査 㑮 鉄筋の定着長さ 㑯 必要定着長さ 㑰 補強筋形状 㑱 品質確認 㑲 検査 㑳 鉄筋の定着長さ 㑴 必要定着長さ 㑵 補強筋形状 㑶 品質確認 㑷 検査 㑸 鉄筋の定着長さ 㑹 必要定着長さ 㑺 補強筋形状 㑻 品質確認 㑼 検査 㑽 鉄筋の定着長さ 㑾 必要定着長さ 㑿 補強筋形状 㒀 品質確認 㒁 検査 㒂 鉄筋の定着長さ 㒃 必要定着長さ 㒄 補強筋形状 㒅 品質確認 㒆 検査 㒇 鉄筋の定着長さ 㒈 必要定着長さ 㒉 補強筋形状 㒊 品質確認 㒋 検査 㒌 鉄筋の定着長さ 㒍 必要定着長さ 㒎 補強筋形状 㒏 品質確認 㒐 検査 㒑 鉄筋の定着長さ 㒒 必要定着長さ 㒓 補強筋形状 㒔 品質確認 㒕 検査 㒖 鉄筋の定着長さ 㒗 必要定着長さ 㒘 補強筋形状 㒙 品質確認 㒚 検査 㒛 鉄筋の定着長さ 㒜 必要定着長さ 㒝 補強筋形状 㒞 品質確認 㒟 検査 㒠 鉄筋の定着長さ 㒡 必要定着長さ 㒢 補強筋形状 㒣 品質確認 㒤 検査 㒥 鉄筋の定着長さ 㒦 必要定着長さ 㒧 補強筋形状 㒨 品質確認 㒩 検査 㒪 鉄筋の定着長さ 㒫 必要定着長さ 㒬 補強筋形状 㒭 品質確認 㒮 検査 㒯 鉄筋の定着長さ 㒰 必要定着長さ 㒱 補強筋形状 㒲 品質確認 㒳 検査 㒴 鉄筋の定着長さ 㒵 必要定着長さ 㒶 補強筋形状 㒷 品質確認 㒸 検査 㒹 鉄筋の定着長さ 㒺 必要定着長さ 㒻 補強筋形状 㒼 品質確認 㒽 検査 㒾 鉄筋の定着長さ 㒿 必要定着長さ 㓀 補強筋形状 㓁 品質確認 㓂 検査 㓃 鉄筋の定着長さ 㓄 必要定着長さ 㓅 補強筋形状 㓆 品質確認 㓇 検査 㓈 鉄筋の定着長さ 㓉 必要定着長さ 㓊 補強筋形状 㓋 品質確認 㓌 検査 㓍 鉄筋の定着長さ 㓎 必要定着長さ 㓏 補強筋形状 㓐 品質確認 㓑 検査 㓒 鉄筋の定着長さ 㓓 必要定着長さ 㓔 補強筋形状 㓕 品質確認 㓖 検査 㓗 鉄筋の定着長さ 㓘 必要定着長さ 㓙 補強筋形状 㓚 品質確認 㓛 検査 㓜 鉄筋の定着長さ 㓝 必要定着長さ 㓞 補強筋形状 㓟 品質確認 㓠 検査 㓡 鉄筋の定着長さ 㓢 必要定着長さ 㓣 補強筋形状 㓤 品質確認 㓥 検査 㓦 鉄筋の定着長さ 㓧 必要定着長さ 㓨 補強筋形状 㓩 品質確認 㓪 検査 㓫 鉄筋の定着長さ 㓬 必要定着長さ 㓭 補強筋形状 㓮 品質確認 㓯 検査 㓰 鉄筋の定着長さ 㓱 必要定着長さ 㓲 補強筋形状 㓳 品質確認 㓴 検査 㓵 鉄筋の定着長さ 㓶 必要定着長さ 㓷 補強筋形状 㓸 品質確認 㓹 検査 㓺 鉄筋の定着長さ 㓻 必要定着長さ 㓼 補強筋形状 㓽 品質確認 㓾 検査 㓿 鉄筋の定着長さ 㔀 必要定着長さ 㔁 補強筋形状 㔂 品質確認 㔃 検査 㔄 鉄筋の定着長さ 㔅 必要定着長さ 㔆 補強筋形状 㔇 品質確認 㔈 検査 㔉 鉄筋の定着長さ 㔊 必要定着長さ 㔋 補強筋形状 㔌 品質確認 㔍 検査 㔎 鉄筋の定着長さ 㔏 必要定着長さ 㔐 補強筋形状 㔑 品質確認 㔒 検査 㔓 鉄筋の定着長さ 㔔 必要定着長さ 㔕 補強筋形状 㔖 品質確認 㔗 検査 㔘 鉄筋の定着長さ 㔙 必要定着長さ 㔚 補強筋形状 㔛 品質確認 㔜 検査 㔝 鉄筋の定着長さ 㔞 必要定着長さ 㔟 補強筋形状 㔠 品質確認 㔡 検査 㔢 鉄筋の定着長さ 㔣 必要定着長さ 㔤 補強筋形状 㔥 品質確認 㔦 検査 㔧 鉄筋の定着長さ 㔨 必要定着長さ 㔩 補強筋形状 㔪 品質確認 㔫 検査 㔬 鉄筋の定着長さ 㔭 必要定着長さ 㔮 補強筋形状 㔯 品質確認 㔰 検査 㔱 鉄筋の定着長さ 㔲 必要定着長さ 㔳 補強筋形状 㔴 品質確認 㔵 検査 㔶 鉄筋の定着長さ 㔷 必要定着長さ 㔸 補強筋形状 㔹 品質確認 㔺 検査 㔻 鉄筋の定着長さ 㔼 必要定着長さ 㔽 補強筋形状 㔾 品質確認 㔿 検査 㕀 鉄筋の定着長さ 㕁 必要定着長さ 㕂 補強筋形状 㕃 品質確認 㕄 検査 㕅 鉄筋の定着長さ 㕆 必要定着長さ 㕇 補強筋形状 㕈 品質確認 㕉 検査 㕊 鉄筋の定着長さ 㕋 必要定着長さ 㕌 補強筋形状 㕍 品質確認 㕎 検査 㕏 鉄筋の定着長さ 㕐 必要定着長さ 㕑 補強筋形状 㕒 品質確認 㕓 検査 㕔 鉄筋の定着長さ 㕕 必要定着長さ 㕖 補強筋形状 㕗 品質確認 㕘 検査 㕙 鉄筋の定着長さ 㕚 必要定着長さ 㕛 補強筋形状 㕜 品質確認 㕝 検査 㕞 鉄筋の定着長さ 㕟 必要定着長さ 㕠 補強筋形状 㕡 品質確認 㕢 検査 㕣 鉄筋の定着長さ 㕤 必要定着長さ 㕥 補強筋形状 㕦 品質確認 㕧 検査 㕨 鉄筋の定着長さ 㕩 必要定着長さ 㕪 補強筋形状 㕫 品質確認 㕬 検査 㕭 鉄筋の定着長さ 㕮 必要定着長さ 㕯 補強筋形状 㕰 品質確認 㕱 検査 㕲 鉄筋の定着長さ 㕳 必要定着長さ 㕴 補強筋形状 㕵 品質確認 㕶 検査 㕷 鉄筋の定着長さ 㕸 必要定着長さ 㕹 補強筋形状 㕺 品質確認 㕻 検査 㕼 鉄筋の定着長さ 㕽 必要定着長さ 㕾 補強筋形状 㕿 品質確認 㖀 検査 㖁 鉄筋の定着長さ 㖂 必要定着長さ 㖃 補強筋形状 㖄 品質確認 㖅 検査 㖆 鉄筋の定着長さ 㖇 必要定着長さ 㖈 補強筋形状 㖉 品質確認 㖊 検査 㖋 鉄筋の定着長さ 㖌 必要定着長さ 㖍 補強筋形状 㖎 品質確認 㖏 検査 㖐 鉄筋の定着長さ 㖑 必要定着長さ 㖒 補強筋形状 㖓 品質確認 㖔 検査 㖕 鉄筋の定着長さ 㖖 必要定着長さ 㖗 補強筋形状 㖘 品質確認 㖙 検査 㖚 鉄筋の定着長さ 㖛 必要定着長さ 㖜 補強筋形状 㖝 品質確認 㖞 検査 㖟 鉄筋の定着長さ 㖠 必要定着長さ 㖡 補強筋形状 㖢 品質確認 㖣 検査 㖤 鉄筋の定着長さ 㖥 必要定着長さ 㖦 補強筋形状 㖧 品質確認 㖨 検査 㖩 鉄筋の定着長さ 㖪 必要定着長さ 㖫 補強筋形状 㖬 品質確認 㖭 検査 㖮 鉄筋の定着長さ 㖯 必要定着長さ 㖰 補強筋形状 㖱 品質確認 㖲 検査 㖳 鉄筋の定着長さ 㖴 必要定着長さ 㖵 補強筋形状 㖶 品質確認 㖷 検査 㖸 鉄筋の定着長さ 㖹 必要定着長さ 㖺 補強筋形状 㖻 品質確認 㖼 検査 㖽 鉄筋の定着長さ 㖾 必要定着長さ 㖿 補強筋形状 㗀 品質確認 㗁 検査 㗂 鉄筋の定着長さ 㗃 必要定着長さ 㗄 補強筋形状 㗅 品質確認 㗆 検査 㗇 鉄筋の定着長さ 㗈 必要定着長さ 㗉 補強筋形状 㗊 品質確認 㗋 検査 㗌 鉄筋の定着長さ 㗍 必要定着長さ 㗎 補強筋形状 㗏 品質確認 㗐 検査 㗑 鉄筋の定着長さ 㗒 必要定着長さ 㗓 補強筋形状 㗔 品質確認 㗕 検査 㗖 鉄筋の定着長さ 㗗 必要定着長さ 㗘 補強筋形状 㗙 品質確認 㗚 検査 㗛 鉄筋の定着長さ 㗜 必要定着長さ 㗝 補強筋形状 㗞 品質確認 㗟 検査 㗠 鉄筋の定着長さ 㗡 必要定着長さ 㗢 補強筋形状 㗣 品質確認 㗤 検査 㗥 鉄筋の定着長さ 㗦 必要定着長さ 㗧 補強筋形状 㗨 品質確認 㗩 検査 㗪 鉄筋の定着長さ 㗫 必要定着長さ 㗬 補強筋形状 㗭 品質確認 㗮 検査 㗯 鉄筋の定着長さ 㗰 必要定着長さ 㗱 補強筋形状 㗲 品質確認 㗳 検査 㗴 鉄筋の定着長さ 㗵 必要定着長さ 㗶 補強筋形状 㗷 品質確認 㗸 検査 㗹 鉄筋の定着長さ 㗺 必要定着長さ 㗻 補強筋形状 㗼 品質確認 㗽 検査 㗾 鉄筋の定着長さ 㗿 必要定着長さ 㘀 補強筋形状 㘁 品質確認 㘂 検査 㘃 鉄筋の定着長さ 㘄 必要定着長さ 㘅 補強筋形状 㘆 品質確認 㘇 検査 㘈 鉄筋の定着長さ 㘉 必要定着長さ 㘊 補強筋形状 㘋 品質確認 㘌 検査 㘍 鉄筋の定着長さ 㘎 必要定着長さ 㘏 補強筋形状 㘐 品質確認 㘑 検査 㘒 鉄筋の定着長さ 㘓 必要定着長さ 㘔 補強筋形状 㘕 品質確認 㘖 検査 㘗 鉄筋の定着長さ 㘘 必要定着長さ 㘙 補強筋形状 㘚 品質確認 㘛 検査 㘜 鉄筋の定着長さ 㘝 必要定着長さ 㘞 補強筋形状 㘟 品質確認 㘠 検査 㘡 鉄筋の定着長さ 㘢 必要定着長さ 㘣 補強筋形状 㘤 品質確認 㘥 検査 㘦 鉄筋の定着長さ 㘧 必要定着長さ 㘨 補強筋形状 㘩 品質確認 㘪 検査 㘫 鉄筋の定着長さ 㘬 必要定着長さ 㘭 補強筋形状 㘮 品質確認 㘯 検査 㘰 鉄筋の定着長さ 㘱 必要定着長さ 㘲 補強筋形状 㘳 品質確認 㘴 検査 㘵 鉄筋の定着長さ 㘶 必要定着長さ 㘷 補強筋形状 㘸 品質確認 㘹 検査 㘺 鉄筋の定着長さ 㘻 必要定着長さ 㘼 補強筋形状 㘽 品質確認 㘾 検査 㘿 鉄筋の定着長さ 㙀 必要定着長さ 㙁 補強筋形状 㙂 品質確認 㙃 検査 㙄 鉄筋の定着長さ 㙅 必要定着長さ 㙆 補強筋形状 㙇 品質確認 㙈 検査 㙉 鉄筋の定着長さ 㙊 必要定着長さ 㙋 補強筋形状 㙌 品質確認 㙍 検査 㙎 鉄筋の定着長さ 㙏 必要定着長さ 㙐 補強筋形状 㙑 品質確認 㙒 検査 㙓 鉄筋の定着長さ 㙔 必要定着長さ 㙕 補強筋形状 㙖 品質確認 㙗 検査 㙘 鉄筋の定着長さ 㙙 必要定着長さ 㙚 補強筋形状 㙛 品質確認 㙜 検査 㙝 鉄筋の定着長さ 㙞 必要定着長さ 㙟 補強筋形状 㙠 品質確認 㙡 検査 㙢 鉄筋の定着長さ 㙣 必要定着長さ 㙤 補強筋形状 㙥 品質確認 㙦 検査 㙧 鉄筋の定着長さ 㙨 必要定着長さ 㙩 補強筋形状 㙪 品質確認 㙫 検査 㙬 鉄筋の定着長さ 㙭 必要定着長さ 㙮 補強筋形状 㙯 品質確認 㙰 検査 㙱 鉄筋の定着長さ 㙲 必要定着長さ 㙳 補強筋形状 㙴 品質確認 㙵 検査 㙶 鉄筋の定着長さ 㙷 必要定着長さ 㙸 補強筋形状 㙹 品質確認 㙺 検査 㙻 鉄筋の定着長さ 㙼 必要定着長さ 㙽 補強筋形状 㙾 品質確認 㙿 検査 㚀 鉄筋の定着長さ 㚁 必要定着長さ 㚂 補強筋形状 㚃 品質確認 㚄 検査 㚅 鉄筋の定着長さ 㚆 必要定着長さ 㚇 補強筋形状 㚈 品質確認 㚉 検査 㚊 鉄筋の定着長さ 㚋 必要定着長さ 㚌 補強筋形状 㚍 品質確認 㚎 検査 㚏 鉄筋の定着長さ 㚐 必要定着長さ 㚑 補強筋形状 㚒 品質確認 㚓 検査 㚔 鉄筋の定着長さ 㚕 必要定着長さ 㚖 補強筋形状 㚗 品質確認 㚘 検査 㚙 鉄筋の定着長さ 㚚 必要定着長さ 㚛 補強筋形状 㚜 品質確認 㚝 検査 㚞 鉄筋の定着長さ 㚟 必要定着長さ 㚠 補強筋形状 㚡 品質確認 㚢 検査 㚣 鉄筋の定着長さ 㚤 必要定着長さ 㚥 補強筋形状 㚦 品質確認 㚧 検査 㚨 鉄筋の定着長さ 㚩 必要定着長さ 㚪 補強筋形状 㚫 品質確認 㚬 検査 㚭 鉄筋の定着長さ 㚮 必要定着長さ 㚯 補強筋形状 㚰 品質確認 㚱 検査 㚲 鉄筋の定着長さ 㚳 必要定着長さ 㚴 補強筋形状 㚵 品質確認 㚶 検査 㚷 鉄筋の定着長さ 㚸 必要定着長さ 㚹 補強筋形状 㚺 品質確認 㚻 検査 㚼 鉄筋の定着長さ 㚽 必要定着長さ 㚾 補強筋形状 㚿 品質確認 㞀 検査 㞁 鉄筋の定着長さ 㞂 必要定着長さ 㞃 補強筋形状 㞄 品質確認 㞅 検査 㞆 鉄筋の定着長さ 㞇 必要定着長さ 㞈 補強筋形状 㞉 品質確認 㞊 検査 㞋 鉄筋の定着長さ 㞌 必要定着長さ 㞍 補強筋形状 㞎 品質確認 㞏 検査 㞐 鉄筋の定着長さ 㞑 必要定着長さ 㞒 補強筋形状 㞓 品質確認 㞔 検査 㞕 鉄筋の定着長さ 㞖 必要定着長さ 㞗 補強筋形状 㞘 品質確認 㞙 検査 㞚 鉄筋の定着長さ 㞛 必要定着長さ 㞜 補強筋形状 㞝 品質確認 㞞 検査 㞟 鉄筋の定着長さ 㞠 必要定着長さ 㞡 補強筋形状 㞢 品質確認 㞣 検査 㞤 鉄筋の定着長さ 㞥 必要定着長さ 㞦 補強筋形状 㞧 品質確認 㞨 検査 㞩 鉄筋の定着長さ 㞪 必要定着長さ 㞫 補強筋形状 㞬 品質確認 㞭 検査 㞮 鉄筋の定着長さ 㞯 必要定着長さ 㞰 補強筋形状 㞱 品質確認 㞲 検査 㞳 鉄筋の定着長さ 㞴 必要定着長さ 㞵 補強筋形状 㞶 品質確認 㞷 検査 㞸 鉄筋の定着長さ 㞹 必要定着長さ 㞺 補強筋形状 㞻 品質確認 㞼 検査 㞽 鉄筋の定着長さ 㞾 必要定着長さ 㞿 補強筋形状 㟀 品質確認 㟁 検査 㟂 鉄筋の定着長さ 㟃 必要定着長さ 㟄 補強筋形状 㟅 品質確認 㟆 検査 㟇 鉄筋の定着長さ 㟈 必要定着長さ 㟉 補強筋形状 㟊 品質確認 㟋 検査 㟌 鉄筋の定着長さ 㟍 必要定着長さ 㟎 補強筋形状 㟏 品質確認 㟐 検査 㟑 鉄

5	機械式継手 [8.4.2]	使用箇所 ※構造図による 性能 (H12 建告第1463号に適合するもの) ・A級・ 種類 ・ねじ筋鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填継手 工法 ※第三者機関の評定等取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目及び合格判定 ※改修標準仕様書 表8.4.1~表8.4.3 による ・評定等の評価内容による 不合格となった場合の措置 ※改修標準仕様書 表8.4.2(5) (ア) (a)~(c)による ・構造図による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする。 試験の箇所数 1ロットに対して () 箇所 ・全数 試験項目 ※挿入長さ 不合格となった継手部への措置 ・	6	溶接継手 [8.4.3]	使用箇所 ※構造図による 性能 (H12 建告第1463号に適合するもの) ・A級・ 溶接継手の工法 ・図示による () 鉄筋相互のあき ・改修標準仕様書8.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による () 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする。 試験の箇所数 1ロットに対して () 箇所 ・全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 不合格となった継手部への措置 ・	7	圧接完了後の圧接部の試験 [8.3.8] [5.4.9]	8	既存構造物との取合い [8.21.6]	割製補強筋 種類 材料 材質 径 本数ピッチ等 適用箇所 ※ハイラン筋 ※鉄筋コンクリート用棒筋 ※SR235 ※φ6 1/4(434筋の径 (mm)) ※図示 ・φ9 () ・1/4(434筋のピッチ (mm)) () ・はしご筋 ※鉄筋コンクリート用棒筋 (異形鉄筋) ※SD295A ・D10 壁面内方向筋 () 壁面外方向筋 ()
		① コンクリートの種類 [8.1.3]			※I類 (JIS A5308への適合を認められたコンクリート) ・II類 (I以外でJIS A5308に適合したコンクリート) 表8.1.1					② コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 [8.1.3~4]

④	セメント [8.2.5]	表8.2.3 セメントの種類 使用箇所 ・普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種(G)、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種(G) ・高炉セメントB種(G) ・フライアッシュセメントB種(G) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く	⑤	骨材 [8.2.5]	アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (※コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m ³ 以下)	⑥	混和材料 [8.2.5]	・混和剤 種類 ※改修標準仕様書8.2.5(4)(ア)による ・混和材 種類 ※改修標準仕様書8.2.5(4)(イ)による	7	構造体用モルタル [8.2.6]	圧縮強度 () フロー値 ()	8	無筋コンクリート [6.14.1~3] [8.11.1~3]	適用箇所 ・標準仕様書6.14.1(4)による ・図示 設計基準強度 Fc (N/mm ²) ※1.8 スランプ ※1.5又は1.8 セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント	9	ひび割れ誘発目地 打継目地 [6.6.4] [6.8.1]	目地寸法 ※標準仕様書9.7.3による 打継目地 ※図示による 高炉セメントB種(G) 位置 ※図示による ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する	⑩	コンクリートの仕上り [8.1.4] [8.2.7]	合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上り 表8.1.4 種類 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種 コンクリートの仕上りの平坦さ 表8.1.5 種類 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種	11	打増し厚さ [6.8.1] [8.7.8]	・打直し仕上りの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・20mm ・打直し仕上りの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm ・床型特用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う ・10mm ・20mm
		⑪			型枠 [6.8.2] [8.2.7]			せき板の材料及び厚さ ※合板 (※12mm) ・メッシュ型枠 (使用部位 ※構造図による) ・床型特用鋼製デッキプレート (施工範囲 ※構造図による) スリーブ材 ※標準仕様書6.8.2(9)(イ)による ・構造図による 断熱材兼用型枠 ・使用しない ・使用する (※25mm以下かつ熱抵抗値1m ² /Kcal以上) MCR工法用シート仕様 ・使用しない ・使用する (使用部位 ※図示による)			13			型枠の加工及び部位 [8.7.8]			シアコネクタをセパレータとして使用 適用箇所 ※構造図による			14			コンクリートの打込み工法等 [8.21.6] [8.23.5]

6	普通ボルト [7.2.3]	ボルト及びナットの材料等 ※標準仕様書 表7.2.3による 座金 ※標準仕様書 表7.2.3(4)による 母屋又は鋼線の取付けに使用するボルトの孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm ・図示	7	アンカーボルト [7.2.4] [7.3.2] [7.10.3]	適用 ・構造用アンカーボルト セットの種類 ・ABR400 ・ABR490 形状、寸法 ※構造図による ・建方用アンカーボルト 種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ・構造図による ・標準仕様書 7.2.4以外のアンカーボルト 適用箇所 ・図示による () 種類SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による	8	溶接材料 [8.2.10]	・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・図示による	9	ターンバックル [7.2.6]	種類 建築用ターンバックル鋼 ※割弁式 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ねじの呼び ※構造図による	10	デッキプレート [7.2.7]	工法の別 ・合成スラブ (適用箇所 ・構造図による) ・床型特用 (適用箇所 ・構造図による) ・ 材質、形状及び寸法 ・構造図による ・鉄骨部材への溶接方法 ・構造図による 耐火認定 ・有り (耐火時間 ・図示による) ・なし	11	スタッド [8.2.11]	※図付スタッド (JIS B1198) 径 (呼び名) 長さ (呼び長さ) mm 使用箇所 1.6φ ・8.0 ・1.00 ・1.20 1.9φ ・8.0 ・1.00 ・1.30 ・1.50 2.2φ ・8.0 ・1.00 ・1.30 ・1.50	12	柱底均しモルタル [8.2.12]	モルタルの種類 ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び割合 ※改修標準仕様書8.2.12による	13	製作精度 [8.13.3]	・改修標準仕様書8.13.3及び H12建告第1464号第二号イによる 通しダイヤフラムの許容誤差 ・ダイヤフラムをH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定するたし書きの計算確認有り 補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・全てのダイヤフラムはH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること	14	仮組 [8.13.10]	※行わない ・行う (適用範囲 ※構造図による)	15	高力ボルト接合 [8.14.2]	スプラインプレートの材質 ※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする フィラープレートの材質 ※SS400とする	16	溶接接合 [8.15.4] [8.15.7]	開先の形状 ※構造関係共通事項 4 溶接継手の種類別開先標準による ・構造図による スカラップの形状 ※構造関係共通事項 6 スカラップによる ・構造図による 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ※構造図による 切断する範囲 ・構造図による 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。なお、切断面が交差する場合は、交差部を74状に加工する 切断面の仕上げ ※改修標準仕様書8.15.7(1)(a)(b)②による ・構造図による 完全溶込み溶接部の余盛り高さ ※ (一社) 日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付表6「鉄骨精度検査基準」付表3「溶接」による 鋼製エンドタブ・裏当て金 ※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする	17	入熱、バス間温度の溶接条件 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項による ・図示 適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部 ・図示による	18	溶接部の試験 [8.15.12]	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う ・行わない 工場溶接の場合 ※全数 工事現場溶接の場合 ※全数 割れの疑いのある表面欠陥においては、浸透探傷試験及び磁粉探傷試験を行う 突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査 独立行政法人建築研究所監修 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・抜き取り検査1 ※抜き取り検査2	19	耐火被覆 [8.18.2~5]	種類及び性能 種類 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) ・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・ ・耐火板張り ・繊維混入けい酸カルシウム板 ・ ・耐火材巻付け ・高耐熱ロックウール ・ ・ラス張りモルタル塗り ・耐火塗料 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする
		8			あと施工アンカー工事 [8.2.4]			引張耐力 ・せん断耐力 ・金属系アンカー 本体 接合筋 径 (mm) 埋込み深さ (mm) セット方式 種類 径 (mm) 長さ (mm) 本体打ち込み式改良型 “ ” ・接着系アンカー 径 (mm) 埋込み深さ (mm) 接着剤の材質 アンカーの種類 アンカー筋の種類 ※有機系 ※カプセル方式回転・打撃式 ・無機系 アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ※構造図による			8			グラウト工事 [8.2.12]			1			柱底均しモルタル [8.2.12]			無収縮モルタル ・使用する ・使用しない			2			グラウト材 [8.2.12]			無収縮グラウト材の材質等 混和材 セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミニウム等) によって膨張する性質を利用するものとする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場割合に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンステンション Jフローによる流下時間 経過完了から3分以内の値 : 8±2秒 ブリージング 残り澄澄2時間後のブリージング率 : 2.0%以下 凝結開始時間 凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内 膨張収縮 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 2.0N/mm ² 以上 材齢 28日 4.0N/mm ² 以上 塩化物量 0.30kg/m ³ 以下 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法312-2024「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形と混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。								

20	建方精度 [7.10.2]	※ (一社) 日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付表6「鉄骨精度検査基準」付表5「工事現場」による	21	アンカーボルトの保持及び埋込み工法 [7.2.4] [7.10.3]	構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ※構造図による 建方用アンカーフレームの保持及び埋込み工法 表7.10.1 種類 ・A種 ・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の別 表7.10.2 ※標準仕様書 表7.10.2 (※A種 [モルタル厚さ50] B種 [モルタル厚さ30]) による	22	錆止め塗装 [7.4.3] [8.17.2~4]	塗装の範囲 ・耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・構造図による ・耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書9.7.1(1)(7)~(7)による部分以外 ・構造図による 塗装種類 下記以外の鉄鋼面は、7章「塗装改修工事」による 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面の錆止め塗料 ※A種 ・耐火被覆材が接着する面に塗装する場合の錆止め塗料	23	溶融垂れつき工法 (主要構造及び構造耐力上主要部分に限る) [8.20.4]	種類等 表8.20.1 垂れつきの種類 材料 適用箇所 A種 (HDZ177) 最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板 ※図示による B種 (HDZ163) 最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板 C種 (HDZ149) 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板	8	あと施工アンカー工事 [8.2.4]	引張耐力 ・せん断耐力 ・金属系アンカー 本体 接合筋 径 (mm) 埋込み深さ (mm) セット方式 種類 径 (mm) 長さ (mm) 本体打ち込み式改良型 “ ” ・接着系アンカー 径 (mm) 埋込み深さ (mm) 接着剤の材質 アンカーの種類 アンカー筋の種類 ※有機系 ※カプセル方式回転・打撃式 ・無機系 アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ※構造図による	8	グラウト工事 [8.2.12]	1	柱底均しモルタル [8.2.12]	無収縮モルタル ・使用する ・使用しない	2	グラウト材 [8.2.12]	無収縮グラウト材の材質等 混和材 セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミニウム等) によって膨張する性質を利用するものとする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場割合に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンステンション Jフローによる流下時間 経過完了から3分以内の値 : 8±2秒 ブリージング 残り澄澄2時間後のブリージング率 : 2.0%以下 凝結開始時間 凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内 膨張収縮 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 2.0N/mm ² 以上 材齢 28日 4.0N/mm ² 以上 塩化物量 0.30kg/m ³ 以下 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法312-2024「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形と混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。
		8			連続繊維シート [8.2.13] [8.24.6] [8.24.7]			連続繊維の材料 ・炭素繊維 ・アラミド繊維 連続繊維の材質 引張強度 (含浸硬化後) () N/mm ² ヤング係数 (含浸硬化後) () N/mm ² 繊維目付量 () g/m ² シート厚さ () mm シート貼り方向 ※図示 定着方法 ※図示 含浸接着樹脂 ・低臭型 プライマー ・低臭型			工事名 岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事 No. A-05 図面名 建築改修工事特記仕様書 5 岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課 令和8年5月 性能 性能 適用箇所 (部位・部分) ・30分耐火 ・1時間耐火 ・2時間耐火 ・3時間耐火											

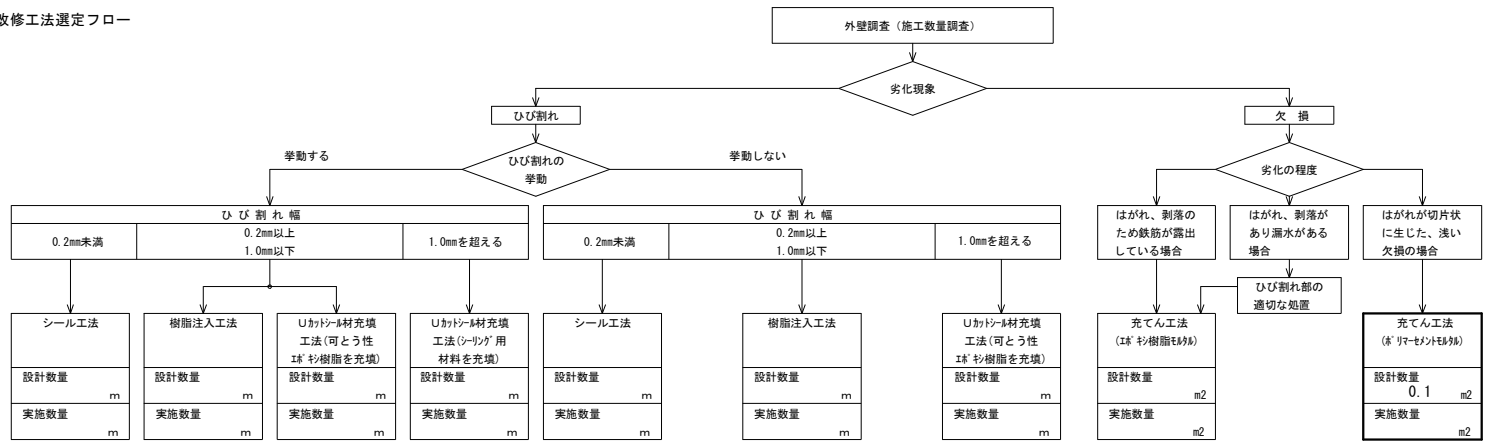
8	1	耐震スリットの方式、幅及び深さ [8.25.2]	・完全 ・部分 設置箇所 ※構造図による 耐震スリット部詳細 ※構造図による スリットの幅及び深さ ※構造図による
		2 耐震スリットの施工前の埋め込み配管等の探査 [8.12.4] [8.25.2]	既存撤去部の配管等の探査 ※鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管等の位置に要出しを行う ・はつりだしによる
9	1	石綿含有建材の除去工事 [9.1.1] [9.1.3-6]	調査 ※石綿含有建材の事前調査 1章5による ・分析による石綿含有建材の調査(施工調査) 分析対象 アクチノライト、アモサイト、 アンソファイト、クリソタイト、クロソライト、トシモライト 分析方法 分析結果については、監督職員に報告すること
		2 トイレブース (20.2.5)	表面材 ※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ドアエッジ材質形状 ※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製 幅木材質形状 ※ステンレス幅木

7	1	耐震スリットの方式、幅及び深さ [8.25.2]	・完全 ・部分 設置箇所 ※構造図による 耐震スリット部詳細 ※構造図による スリットの幅及び深さ ※構造図による
		2 耐震スリットの施工前の埋め込み配管等の探査 [8.12.4] [8.25.2]	既存撤去部の配管等の探査 ※鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管等の位置に要出しを行う ・はつりだしによる
8	1	石綿含有建材の除去工事 [9.1.1] [9.1.3-6]	調査 ※石綿含有建材の事前調査 1章5による ・分析による石綿含有建材の調査(施工調査) 分析対象 アクチノライト、アモサイト、 アンソファイト、クリソタイト、クロソライト、トシモライト 分析方法 分析結果については、監督職員に報告すること
		2 トイレブース (20.2.5)	表面材 ※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ドアエッジ材質形状 ※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製 幅木材質形状 ※ステンレス幅木

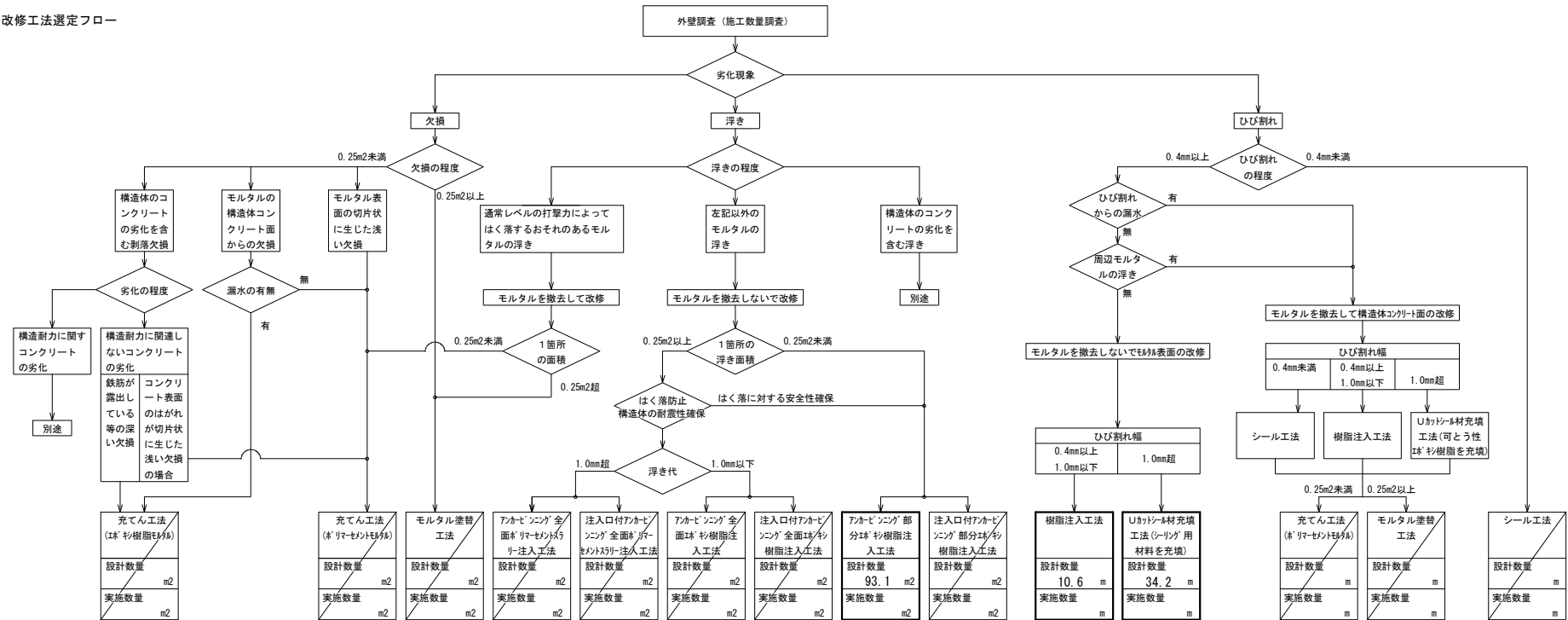
7	1	耐震スリットの方式、幅及び深さ [8.25.2]	・完全 ・部分 設置箇所 ※構造図による 耐震スリット部詳細 ※構造図による スリットの幅及び深さ ※構造図による
		2 耐震スリットの施工前の埋め込み配管等の探査 [8.12.4] [8.25.2]	既存撤去部の配管等の探査 ※鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管等の位置に要出しを行う ・はつりだしによる
8	1	石綿含有建材の除去工事 [9.1.1] [9.1.3-6]	調査 ※石綿含有建材の事前調査 1章5による ・分析による石綿含有建材の調査(施工調査) 分析対象 アクチノライト、アモサイト、 アンソファイト、クリソタイト、クロソライト、トシモライト 分析方法 分析結果については、監督職員に報告すること
		2 トイレブース (20.2.5)	表面材 ※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ドアエッジ材質形状 ※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製 幅木材質形状 ※ステンレス幅木

20	2	路盤 (22.3.2-5)	路盤の構成 ※標準詳細図による ・図示による 路盤材料 ※再生アスファルト(0) ・クラッシュラン鉄鋼スラグ 締め固め試験 ※行わない ・行う
		21 アスファルト舗装 (22.4.2-6)	舗装の構成 ※標準詳細図による ・図示による アスファルト ※再生アスファルト(0) ・ストレートアスファルト 骨材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材(0) 加熱アスファルト混合物等の種類 ※表層 ※密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13) ・ 基層 ・粗粒度アスファルト混合物(20) シールコート ※行わない ・行う アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う
22	2	植栽地の確認 (23.1.3)	土壌の水素イオン濃度(pH)試験 ・行う ※行わない 電気伝導度(EC)の試験 ・行う ※行わない
		23 植栽基盤の整備 (23.2.2-4)	排水 ・設置する(・種きよ ・閉きよ ・排水層 ・縦穴排水) ・設置しない 電気伝導度(EC)の試験 ・行う ※行わない 整備工法 ※23.2.2 樹木 ・行う(※A種 ・B種 ・C種 ・D種) ※行わない 芝及び地被類 ※行う(※B種 ・) ・行わない 植込み用土 ※現場発生土の改良土 ・客土
24	2	支柱材 (23.3.2)	※丸太(間伐材) ・真竹
		25 新植樹木の枯梢償 (23.3.4)	枯梢償の期間 ※引渡の日から1年 枯梢償の期間内に樹木が枯死、枝損傷、形姿不良等となった場合は、同等以上のもの再植樹するとともに、取り除いた樹木の処分を行うものとする
26	2	移植樹木の枯梢償 (23.3.6)	枯梢償の期間 ※引渡の日から1年 枯梢償の期間内に樹木が枯死、枝損傷、形姿不良等となった場合は、同等以上のもの再植樹するとともに、取り除いた樹木の処分を行うものとする
		27 砂利地業 (4.6.2)	材料 ※再生クラッシュラン(0) ・切込砂利及び切込砕石 厚さ及び使用範囲 ※60 ・ 図示による
28	2	捨コンクリート地業 (4.6.4)	コンクリートの種類 ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm ² ・ N/mm ² スラブ ※15cm ・ 18cm 厚さ及び使用範囲 ※60 ・ 図示による
		29 床下防湿層 (4.6.5)	施工範囲 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) 防湿工法 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 防湿層の位置 ※図示による
30	2	排水管 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種B形 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・VP ・VU ・RS-VU(0) 建物外での硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること
		31 側溝、排水枡等 (21.2.2)	・鉄製鍍ふた 型式 ※水封型 ・簡易密閉型 ・密閉型 ・中ふた付密閉型 適用荷重(安全荷重[kN]) 屋内用 ・T-2用(5) 屋外用 ・T-2用(5) ※T-6用(15) ・T-20用(50) ・有 ・無 ・グレーチング
32	2	路床 (22.2.2-5)	路床の構成 ※標準詳細図による 盛土に用いる材料(表3.2.1による) ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 支持力比(CBR)試験 ※行わない ・行う(※乱し土 ・乱さない土) 締め固め試験 ※行わない ・行う 現場CBR試験 ※行わない ・行う
		33 工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事
34		図面名	建築改修工事特記仕様書6
35		編入	岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課
36		令和	8月
37		No.	A-06
38		調査	調査員
39		承認	承認者
40		確認	確認者
41		製図	製図者

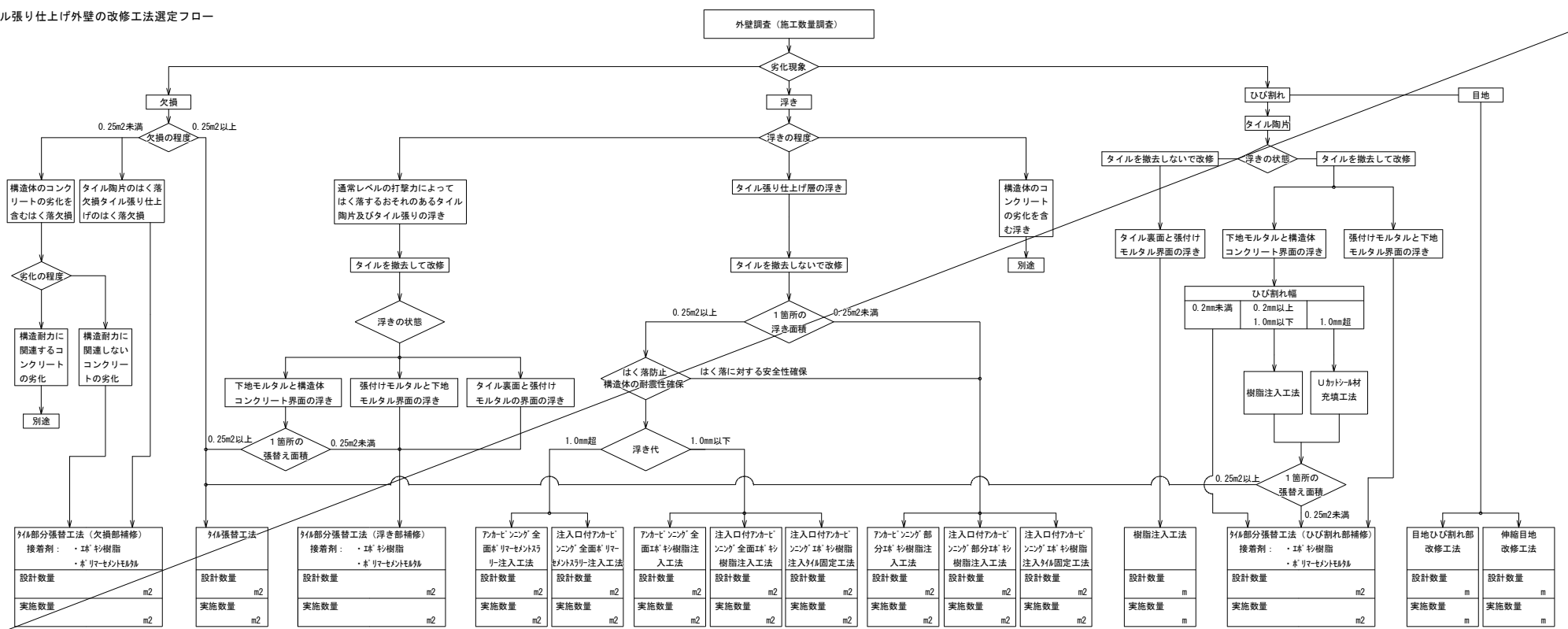
コンクリート打直し仕上げ外壁の改修工法選定フロー



モルタル塗り仕上げ外壁の改修工法選定フロー



タイル張り仕上げ外壁の改修工法選定フロー



【特記事項】
 ・外壁調査は工事に先立ち全面のひび割れ、浮き、欠損部の位置、数量（幅・長さ・面積）の調査を行うこと。
 ・設計数量については、調査可能な範囲で行った数量をもとに推定で算出した参考数量である。

工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事	N o.	
図面名	建築改修工事特記仕様書 7	冊 頁	A-07
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和8年5月	担当者	承認
課長	課長補佐	係長	課員
			検印
			製図

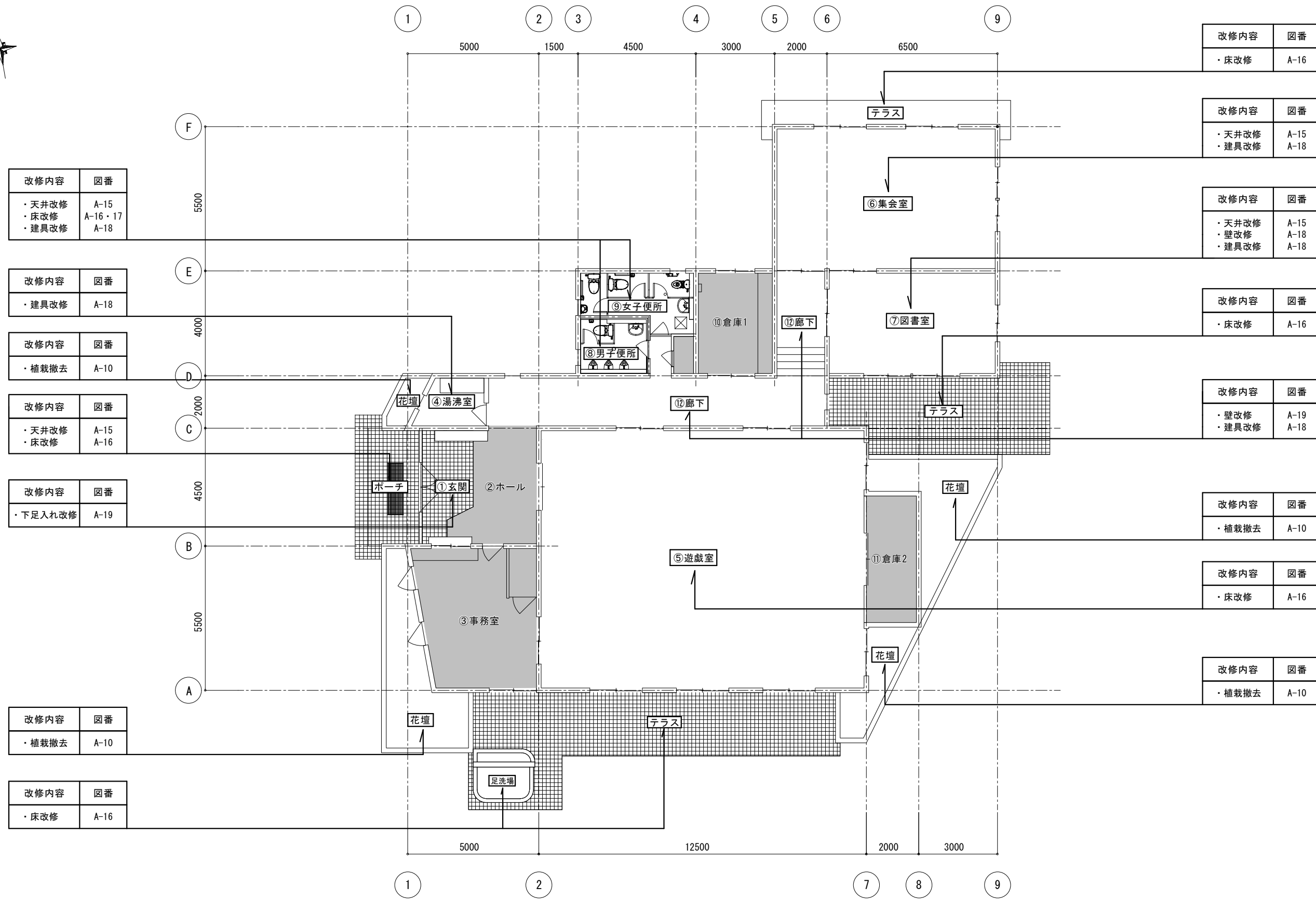
仕様	改修前	改修後	工程	仕様	改修前	改修後	工程	仕様	改修前	改修後	工程
A-1仕様 (打放し面 表面劣化部 処理)			<ol style="list-style-type: none"> 既存仕上材及び脆弱層サンダーケレン 高圧水洗浄 (圧力30~50MPa) 中性化回復材塗布 (塗布量: 400g/m2程度) 塩害防除材塗布 (塗布量: 300g/m2程度) 劣化防止層形成 (ポリマーセメントペースト) コテ塗り ⑦ 1.5±0.5mm 	B-2仕様 モルタル面 錆鉄筋部処理 (パクレン 部補修)			<ol style="list-style-type: none"> ① カッター処理 ② 浮き部研り ③ 錆落し ④ 高圧水洗浄 (圧力30~50MPa) ⑤ 中性化回復材塗布 (塗布量: メーカー仕様による) ⑥ 防錆処理 (ポリマーセメントペースト) ⑦ エポキシ樹脂モルタル充填 	B-6仕様 (欠損部処理) 研り工法			<ol style="list-style-type: none"> ① 欠損部撤去 ② 高圧水洗浄 (圧力30~50MPa) ③ 中性化回復材塗布 (塗布量: 400g/m2程度) ④ 埋め戻し・整形 (樹脂モルタル) <p>*施工部位* 劣化部共通 ⑤工程整形は角を含む場合とする。</p>
A-2仕様 (モルタル面 表面劣化部 処理)			<ol style="list-style-type: none"> ① 高圧水洗浄 (圧力30~50MPa) ② しごき処理 (セメントフィラー) コテ塗り ⑦ 1.0±0.5mm 	B-3仕様 (モルタル面 防水モルタル面 浮き部処理) アンカー ピンニング 部分エポキシ 樹脂注入工法			<ol style="list-style-type: none"> ① 削孔 (一般部16カ所/m2 指定部25カ所/m2) ② 孔内エアークリーニング ③ エポキシ注入 (全面接着) ④ アンカーピン挿入 ⑤ 削孔跡埋め戻し (ポリマーセメントモルタル) <p>*施工部位* 劣化部共通</p>	C-1仕様 (モルタル面 防水モルタル面 入研面 ひびわれ部 処理) リカット シール材 充填工法			<ol style="list-style-type: none"> ① ひびわれ部リカット処理 ② 高圧水洗浄 (圧力30~50MPa) ③ プライマー塗布・シーリング材打設 ④ 埋め戻し (ポリマーセメントモルタル) <p>(別途A-2仕様を含む)</p> <p>*施工部位* 劣化部共通</p>
A-3仕様 (防水モルタル面 表面劣化部 処理)			<ol style="list-style-type: none"> ① 高圧水洗浄 (圧力30~50MPa) ② しごき処理 (セメントフィラー) コテ塗り ⑦ 1.0±0.5mm 	B-4仕様 (モルタル面 防水モルタル面 浮き部処理) アンカー ピンニング 全面注入工法			<ol style="list-style-type: none"> ① アンカー (一般) 13本/m2 (指定部) 20本/m2 (<small>一般</small>) 12本/m2 (指定部) 20本/m2 ② 孔内エアークリーニング ③ エポキシ注入 (全面接着) ④ ステンレスピン挿入 ⑤ 削孔跡埋め戻し (ポリマーセメントモルタル) <p>*施工部位* 劣化部共通</p>	C-2仕様 (モルタル面 防水モルタル面 入研面 ひびわれ部 処理) 自動式低圧 エポキシ樹脂 注入工法			<ol style="list-style-type: none"> ① エアークリーニング ② 高圧水洗浄 (圧力30~50MPa) ③ 注入器具・台座取付 (シール共) ④ エポキシ注入 ⑤ 座金・シール除去 <p>*施工部位* 劣化部共通</p>
B-1仕様 (打放し面 錆鉄筋部 処理)			<ol style="list-style-type: none"> ① 錆鉄筋周囲の研り ② 錆落し ③ 高圧水洗浄 (圧力30~50MPa) ④ 中性化回復材塗布 (塗布量: 400g/m2程度) ⑤ 塩害防除材塗布 (塗布量: 300g/m2程度) ⑥ 防錆処理 (ポリマーセメントペースト) ⑦ 埋め戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑧ 整形 ⑨ 劣化防止層形成 (ポリマーセメントペースト) <p>*施工部位* 劣化部共通 ⑥工程は角を含む場合とする。</p>	B-5仕様 (モルタル面 浮き部処理) 研り工法			<ol style="list-style-type: none"> ① カッター処理 ② 浮き部研り ③ 高圧水洗浄 (圧力30~50MPa) ④ 中性化回復材塗布 (塗布量: 400g/m2程度) ⑤ 研り部埋め戻し・整形 <p>*施工部位* 劣化部共通 ⑤工程整形は角を含む場合とする。</p>	D仕様 (モルタル面 浮き部処理) ピンネット工法			<ol style="list-style-type: none"> ① 高圧水洗浄 (圧力30~50MPa) ② プライマー塗布 ③ フィラー下塗り ④ ネット ⑤ アンカーピン撤削・打込 (4カ所/m2) ⑥ フィラー上塗り ⑦ 仕上塗材 <p>*施工部位* 劣化部共通</p>

工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事				No.	A-08
図面名	外壁改修仕様書		縮尺	-		
岡山市都市整備局住宅・建築部					令和8年5月	
公共建築課	課長	主幹	課長補佐	係長	課員	設計担当

外部仕上表																				
部 位	種 別	仕 上				部 位	種 別	仕 上				部 位	種 別	仕 上						
屋根 ①	陸屋根	改修前	仕上：加硫ゴム系シート防水(t1) 下地：均しモルタル(t30)				庇 ①		改修前	コンクリート打放し仕上の上、吹付けタイル仕上げ				笠 木		改修前	カラーアルミ製 (W160、W175)			
		改修後	平場：既存シート防水の上、高圧洗浄15MPa程度、塩ビシート防水(S-M2工法)、脱気筒(6か所) 立上：既存シート防水撤去、ケレン・清掃・高圧洗浄15MPa程度、下地調整の上、塩ビシート防水(S-F2工法)						改修後	高圧水洗30MPa程度、下地調整C-1の上、防水型複層塗材RE仕上げ						改修後	既存取り外し、再取り付け			
屋根 ②	勾配屋根	改修前	仕上：アスファルトルーフィング敷きの上、カラーベストコロニアル葺き 下地：ALC板(t100)の上、カラーベスト用モルタル(t40)				庇 ②	ポーチ部	改修前	LGS下地の上、カラーアルミスパンドレル張り				豎 樋		改修前	SGP管φ100 FP塗り			
		改修後	既存カラーベストコロニアル葺きの上、水洗い・ブラッシングの上、ウレタン塗膜防水(シーカジャパン：DSM-300ゼロ同等品)						改修後	下地調整RB種の上、DP塗装塗り						改修後	既存SGP管撤去の上、カラーVP管φ100新設			
屋根 ③	排煙窓部	改修前	仕上：加硫ゴム系シート防水(t1) 下地：コンクリートコテ仕上げ				軒裏 ①		改修前	コンクリート打放し仕上の上、吹付けタイル仕上げ				テ ラ ス		改修前	モルタルコテ押えの上、100角磁器タイル貼り(遊戯室・図書室南側) モルタルコテ仕上げ(集会室北側)			
		改修後	既存シート防水撤去、ケレン・清掃・高圧洗浄15MPa程度、下地調整の上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)						改修後	高圧水洗30MPa程度、下地調整C-1の上、外装薄塗材E仕上げ						改修後	高圧水洗浄15MPa程度			
屋根 ④	ポーチ部	改修前	アスファルトルーフィング下地の上、高級耐酸被覆鋼板張りの上、塩ビシート防水				軒裏 ②	ポーチ部	改修前	LGS下地の上、カラーアルミスパンドレル張り				ポ ー チ		改修前	モルタルコテ押えの上、100角磁器タイル貼り			
		改修後	既存シート防水の上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)						改修後	下地調整RB種の上、DP塗装塗り						改修後	高圧水洗浄15MPa程度			
外 壁		改修前	打放し仕上の上、吹付けタイル仕上げ				巾 木		改修前	コンクリート打放し仕上の上、吹付けタイル仕上げ				足 洗 い		改修前	カラーモザイクタイル張り			
		改修後	高圧水洗30MPa程度、下地調整C-1の上、防水型複層塗材RE仕上げ						改修後	高圧水栓30MPa程度、下地調整C-1の上、撥水材塗料塗り						改修後	高圧水洗浄15MPa程度			

内部仕上表																	
No	室名		床				巾 木			壁			天 井				そ の 他
			床高	下地	仕 上	材質	高さ	塗装	下地	仕 上	下地	仕 上	天井高	廻 縁			
①	玄 関	改修前	FL-150	RC	磁器質100角タイル	テラズブロック	200	-	RC	磁器質ボーダータイル貼り	LGS	カラーアルミスパンドレル張り	2,650	アルミ製	照明設備更新(電気設備)		
		改修後	FL-150	RC	既存のまま	既存のまま	-	-	RC	既存のまま	LGS	既存のまま	2,650	アルミ製			
②	ホ ール	改修前	FL±0	RC	モルタル金コテ押えの上、長尺塩ビシート張り(t2.5)	テラズブロック	50	-	RC	磁器質ボーダータイル貼り	LGS	カラーアルミスパンドレル張り	2,500	塩ビ製	照明設備更新、拡声設備更新(電気設備)		
		改修後	FL±0	RC	既存のまま	既存のまま	-	-	RC	既存のまま	LGS	既存のまま	2,500	塩ビ製			
③	事 務 室	改修前	FL±0	RC	モルタル金コテ押えの上、ビニル床タイル貼り(t2)	ビニル巾木	100	-	RC	モルタル金コテ押えの上、ビニルクロス貼り	LGS	化粧石こうボード(t9)	2,500	塩ビ製	照明設備更新、拡声設備更新(電気設備)		
		改修後	FL±0	RC	既存のまま	既存のまま	-	-	RC	既存のまま	LGS	既存のまま	2,500	塩ビ製	換気設備更新(機械設備)		
④	湯 沸 室	改修前	FL±0	RC	モルタル金コテ押えの上、長尺塩ビシート張り(t2.5)	-	-	-	RC	半磁器100角タイル貼り	LGS	けい酸カルシウム板(t6)VP塗り	2,500	塩ビ製	照明設備更新(電気設備)		
		改修後	FL±0	RC	既存のまま	-	-	-	RC	既存のまま	LGS	既存のまま	2,500	塩ビ製			
⑤	遊 戯 室	改修前	FL±0	鋼製	パーティクルボード(t15)捨張りの上、カバ桜フローリング(t15)ポリウレタン塗り	木製巾木	100	OS	RC	有孔ベニヤ(t6)OP塗り	W	米松木摺天井(t12)OSV塗り	3,300	木製	照明設備更新、拡声設備更新(電気設備)		
		改修後	FL±0	鋼製	既存フローリング研磨の上、ウレタン塗装塗り(3回)	既存のまま	-	-	RC	既存のまま	W	既存のまま	3,300	木製			
⑥	集 会 室	改修前	FL+700	RC	モルタル金コテ押えの上、ビニル床タイル貼り(t2)	木製巾木	100	OP	RC	石こうボード(t12)の上、ビニルクロス貼り	LGS	化粧石こうボード(t9)	2,500	塩ビ製	照明設備更新、拡声設備更新(電気設備)		
		改修後	FL+700	RC	既存のまま	既存のまま	-	-	RC	既存のまま	LGS	既存化粧石こうボード仕上げの上、EP塗り	2,500	塩ビ製	換気設備更新(機械設備)		
⑦	図 書 室	改修前	FL+700	RC	モルタル金コテ押えの上、ビニル床タイル貼り(t2)	木製巾木	100	OP	RC	石こうボード(t12)の上、ビニルクロス貼り	LGS	化粧石こうボード(t9)	2,500	塩ビ製	照明設備更新、拡声設備更新(電気設備)		
		改修後	FL+700	RC	既存のまま	既存木製巾木	100	SOP	RC	既存ビニルクロス撤去の上、ビニルクロス貼り	LGS	既存化粧石こうボード仕上げの上、EP塗り	2,500	塩ビ製	換気設備更新(機械設備)		
⑧	男 子 便 所	改修前	FL-50	RC	磁器質カラーモザイクタイル張り	-	-	-	RC	半磁器100角タイル貼り	LGS	化粧石こうボード(t9)	2,500	塩ビ製	照明設備更新(電気設備)		
		改修後	FL-38	RC	既存タイル仕上げの上、セルフレベリング塗り(t10)の上、防滑性ビニル床シート張り(t2)	-	-	-	RC	既存のまま	LGS	既存化粧石こうボード撤去の上、化粧石こうボード張り(t9.5)	2,500	塩ビ製	換気設備更新(機械設備)		
⑨	女 子 便 所	改修前	FL-50	RC	磁器質カラーモザイクタイル張り	-	-	-	RC	半磁器100角タイル貼り	LGS	化粧石こうボード(t9)	2,500	塩ビ製	照明設備更新(電気設備)		
		改修後	FL-38	RC	既存タイル仕上げの上、セルフレベリング塗り(t10)の上、防滑性ビニル床シート張り(t2)	-	-	-	RC	既存のまま	LGS	既存化粧石こうボード撤去の上、化粧石こうボード張り(t9.5)	2,500	塩ビ製	換気設備更新(機械設備)		
⑩	倉 庫 1	改修前	FL±0	RC	モルタル金コテ押えの上、ビニル床タイル貼り(t2)	ビニル巾木	100	-	RC	モルタル金コテ押え	LGS	けい酸カルシウム板(t6)VP塗り	2,500	塩ビ製	照明設備更新(電気設備)		
		改修後	FL±0	RC	既存のまま	既存のまま	-	-	RC	既存のまま	LGS	既存のまま	2,500	塩ビ製			
⑪	倉 庫 2	改修前	FL±0	RC	モルタル金コテ押えの上、ビニル床タイル貼り(t2)	ビニル巾木	100	-	RC	モルタル金コテ押え	LGS	けい酸カルシウム板(t6)VP塗り	2,500	塩ビ製	照明設備更新(電気設備)		
		改修後	FL±0	RC	既存のまま	既存のまま	-	-	RC	既存のまま	LGS	既存のまま	2,500	塩ビ製			
⑫	廊 下	改修前	FL±0 FL+700	RC	モルタル金コテ押えの上、長尺塩ビシート張り(t2.5)	ビニル巾木	100	-	RC	モルタル金コテ押えの上、ビニルクロス貼り	LGS	石こうボード(t9)の上、ビニルクロス貼り	2,500	塩ビ製	照明設備更新、拡声設備更新(電気設備)		
		改修後	FL±0 FL+700	RC	既存のまま	ビニル巾木	100	-	RC	既存ビニルクロス撤去の上、ビニルクロス貼り	LGS	既存のまま	2,500	塩ビ製			

										工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事				No.	A-09
										図面名	改修仕上表		縮尺	-		
										岡山市都市整備局住宅・建築部				令和8年5月		
公共建築課	課長	主幹	課長補佐	係長	課員	設計担当										



改修内容	図番
・天井改修	A-15
・床改修	A-16・17
・建具改修	A-18

改修内容	図番
・建具改修	A-18

改修内容	図番
・植栽撤去	A-10

改修内容	図番
・天井改修	A-15
・床改修	A-16

改修内容	図番
・下足入れ改修	A-19

改修内容	図番
・植栽撤去	A-10

改修内容	図番
・床改修	A-16

改修内容	図番
・床改修	A-16

改修内容	図番
・天井改修	A-15
・建具改修	A-18

改修内容	図番
・天井改修	A-15
・壁改修	A-18
・建具改修	A-18

改修内容	図番
・床改修	A-16

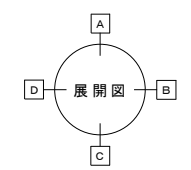
改修内容	図番
・壁改修	A-19
・建具改修	A-18

改修内容	図番
・植栽撤去	A-10

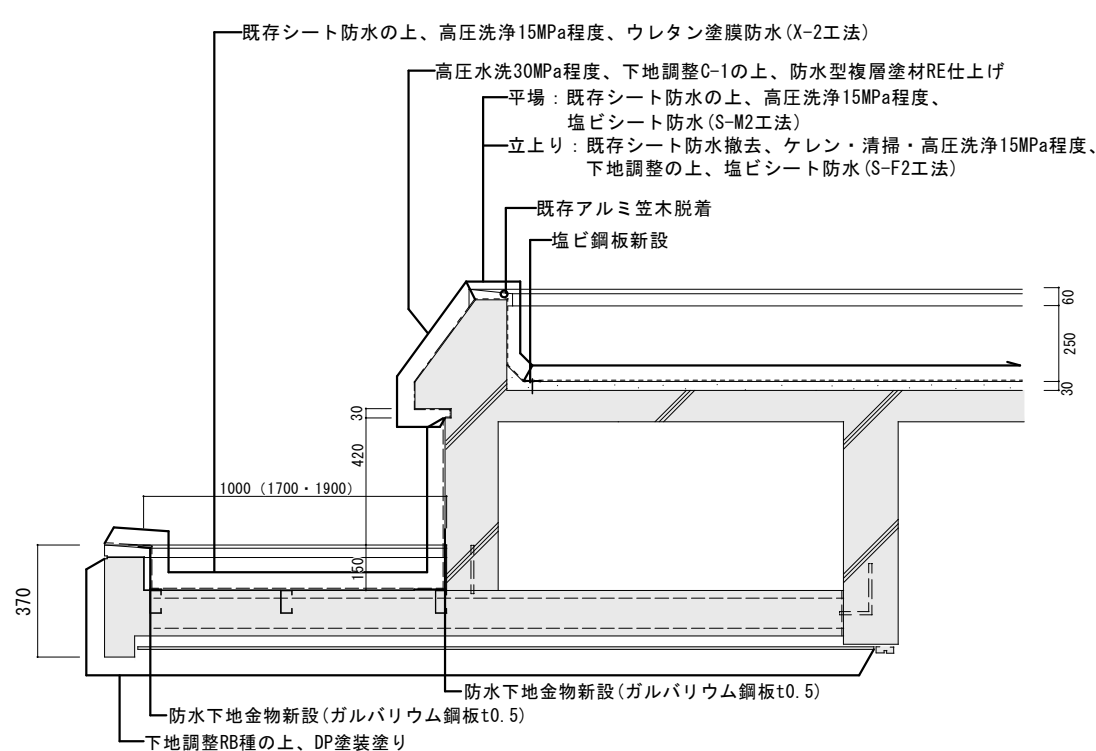
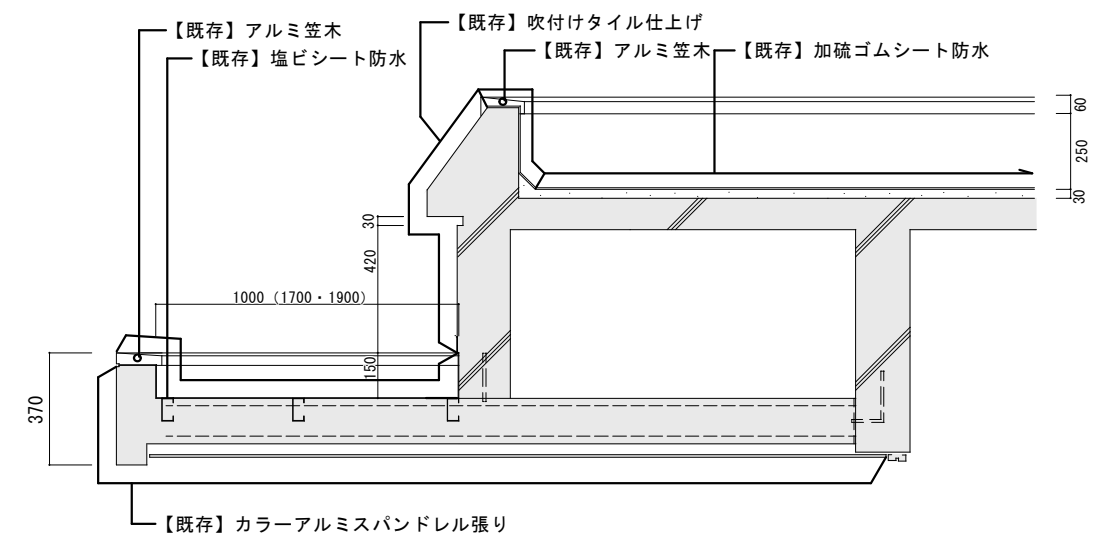
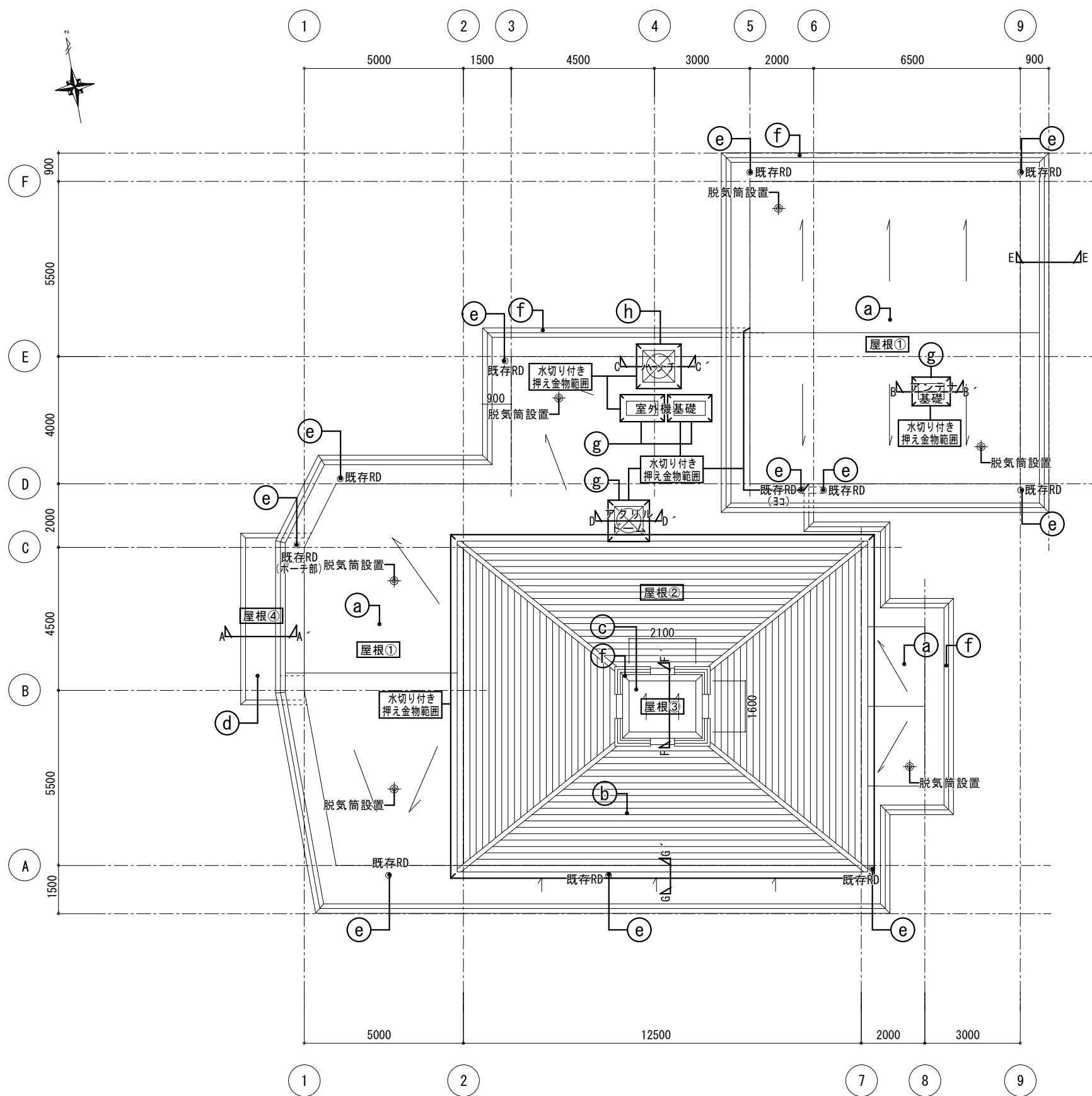
改修内容	図番
・床改修	A-16

改修内容	図番
・植栽撤去	A-10

…建築改修範囲対象外を示す。

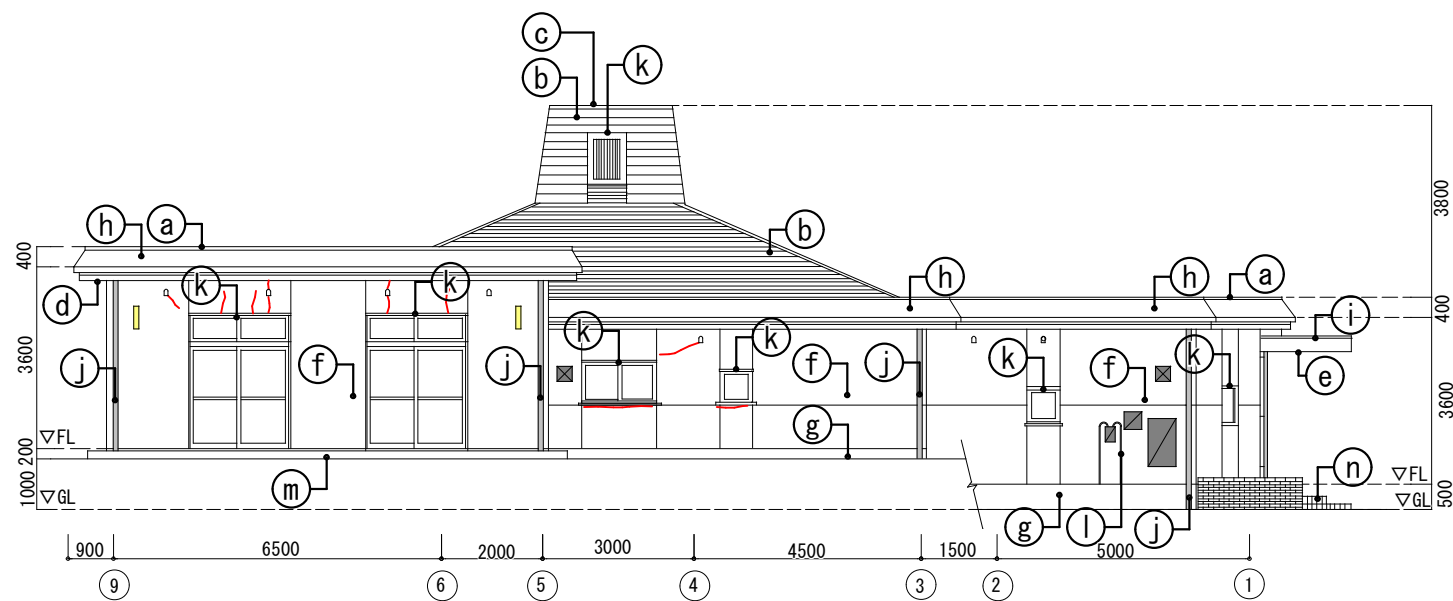


工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事				No.	A-11
図面名	改修平面図	縮尺	1/150			
岡山市都市整備局住宅・建築部				令和8年5月		
公共建築課	課長	主幹	課長補佐	係長	課員	設計担当

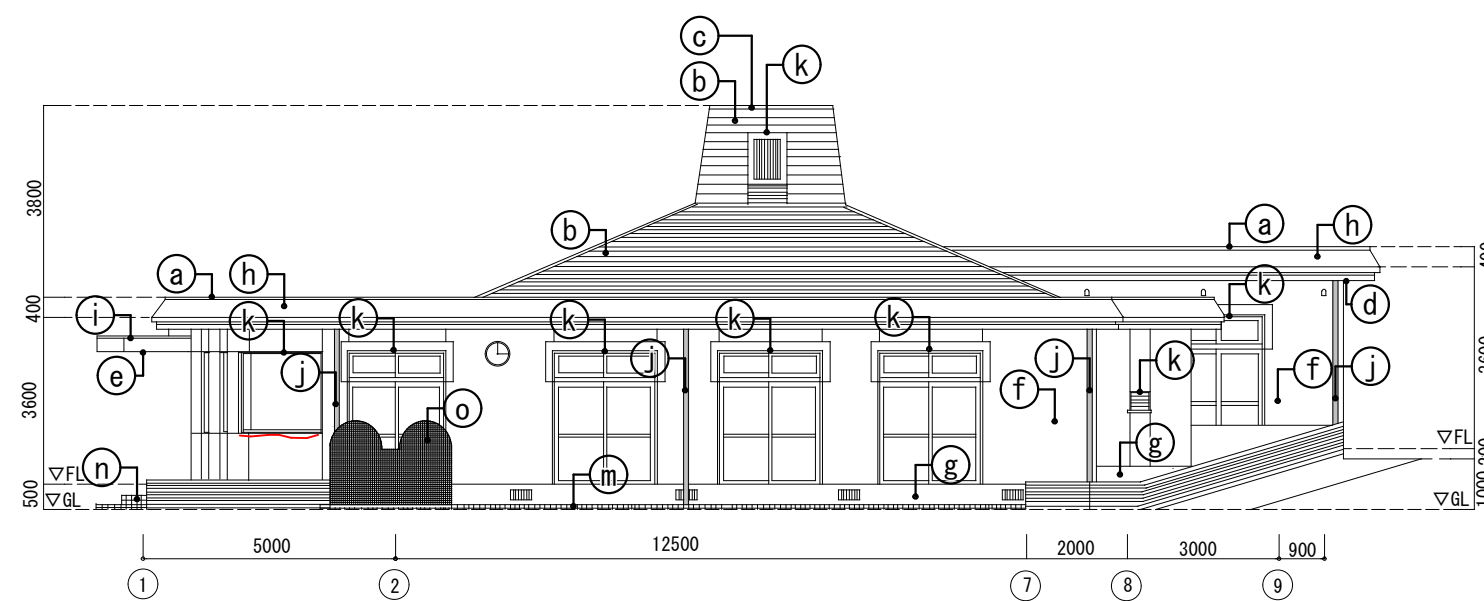


a	屋根①	改修前	加硫ゴムシート防水(t1)	c	屋根③	改修前	加硫ゴムシート防水(t1)	e	ドレン	改修前	ドレンφ100	工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事					No.	A-12
	改修後	平場：既存シート防水の上、高圧洗浄15MPa程度、塩ビシート防水(S-M2工法)、脱気筒(6か所) 立上り：既存シート防水撤去、ケレン・清掃・高圧洗浄15MPa程度、下地調整の上、塩ビシート防水(S-F2工法)	改修後		既存シート防水撤去、ケレン・清掃・高圧洗浄15MPa程度、下地調整の上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)	f	アルミ笠木	改修前	アルミ笠木	改修後	既存ドレン撤去の上、改修用ルーフトレンφ100用新設(ストレーナー共)		図面名	改修屋根伏図、改修断面詳細図①		縮尺	1/150・25		
b	屋根②	改修前	アスファルトルーフィング敷きの上、カラーベストコロニアル葺き	d	屋根④	改修前	アスファルトルーフィング敷きの上、カラーベストコロニアル葺きの上、塩ビシート防水	g	機械基礎類	改修前	コンクリート基礎	岡山市都市整備局住宅・建築部					令和8年5月		
	改修後	既存カラーベストコロニアル葺きの上、水洗い・ブラッシングの上、ウレタン塗膜防水(シーカジャパン：DSM-300ゼロ同等品)	改修後		既存シート防水の上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)	h	ハッチ部	改修前	屋上ハッチ	改修後	下地調整の上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)	課長	主幹	課長補佐	係長	課員		設計担当	

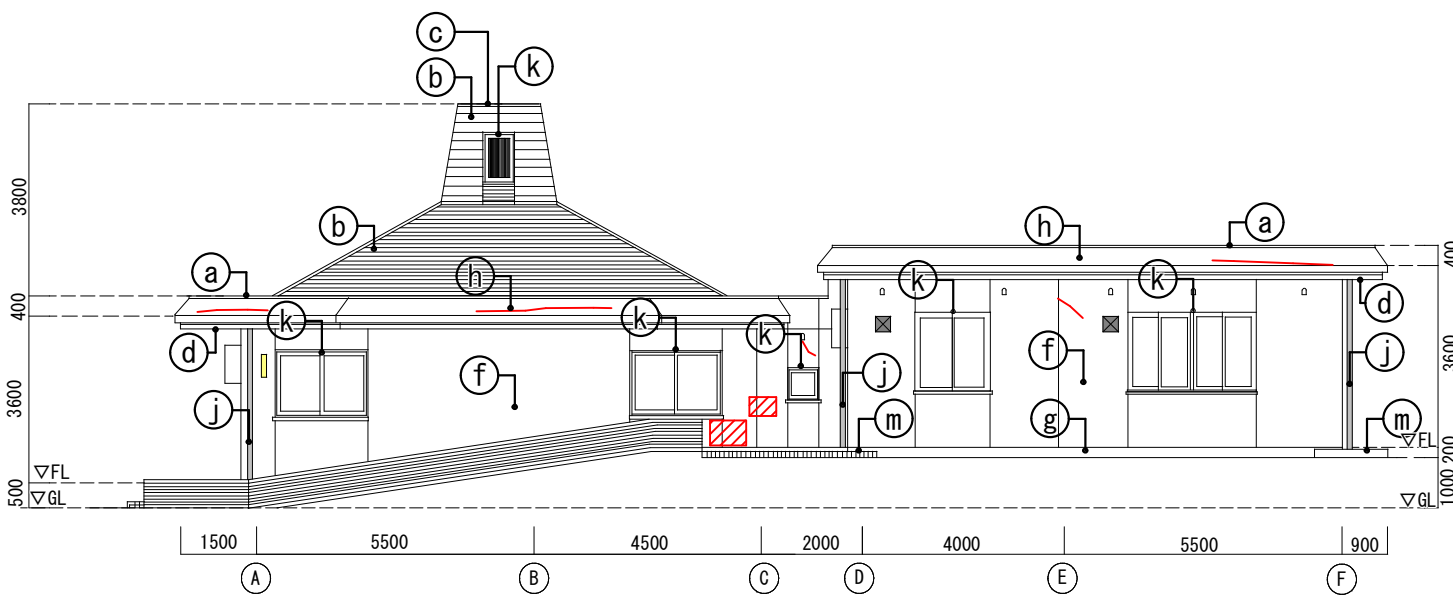
北面立面図 S=1/150



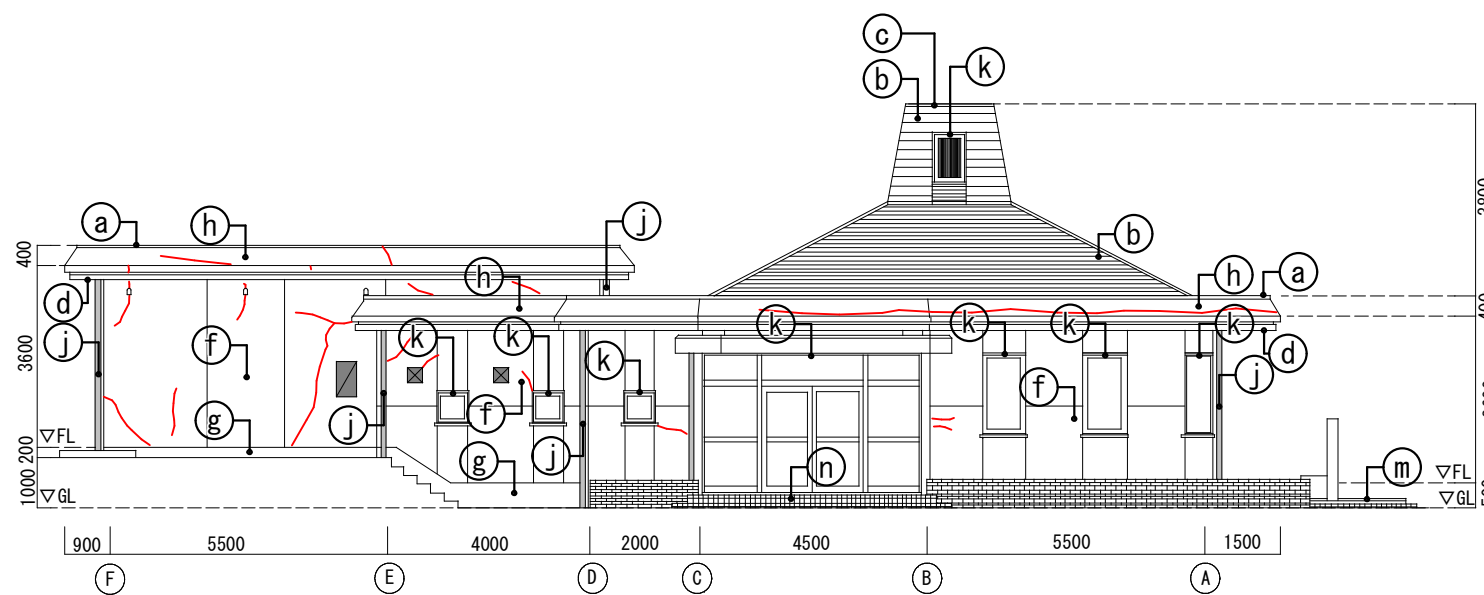
南面立面図 S=1/150



東面立面図 S=1/150



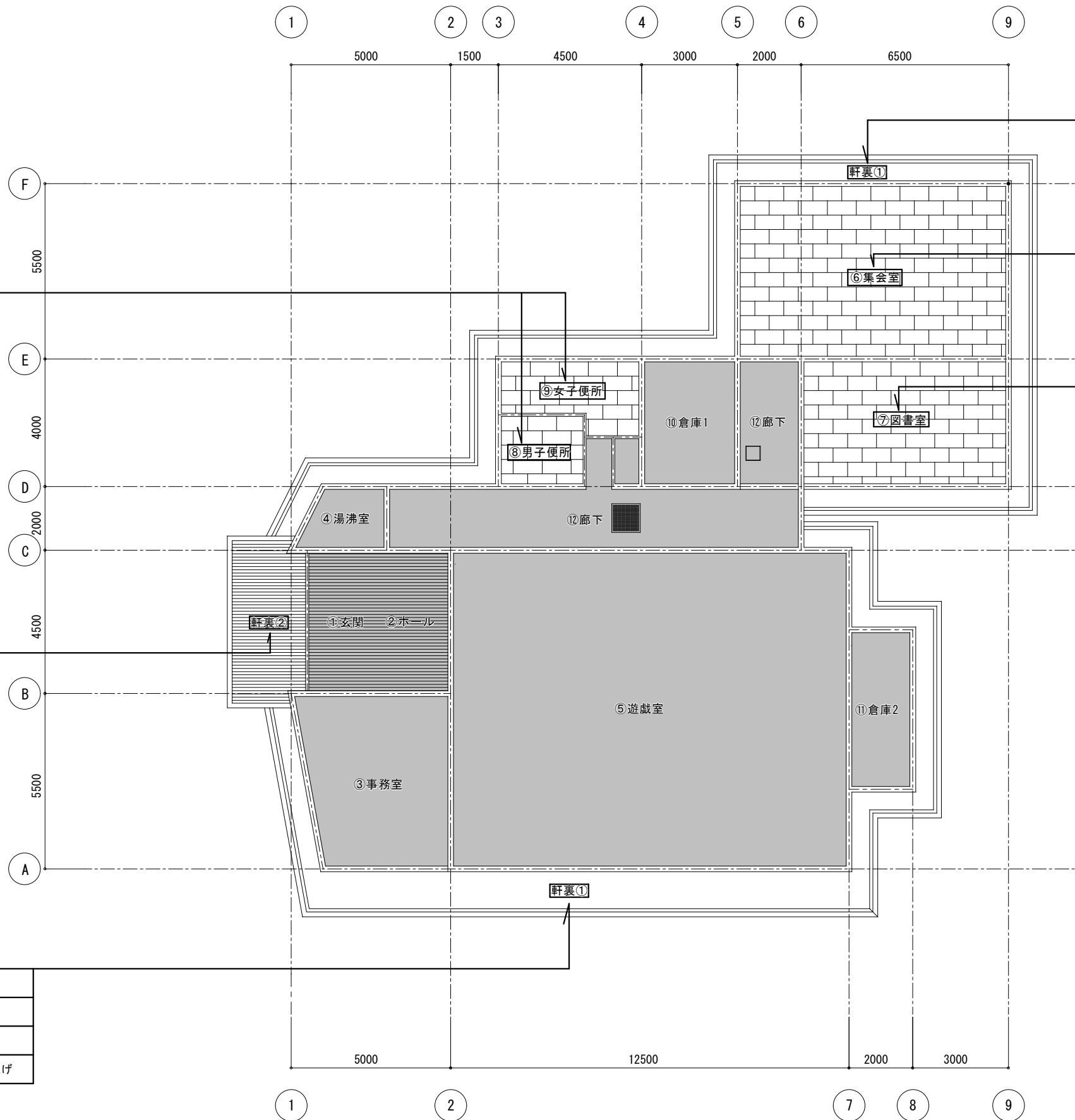
西面立面図 S=1/150



a	屋根①	改修前 加硫ゴム系シート防水(t1) 改修後 塩ビシート防水	g	巾木	改修前 打放し仕上の上、モルタルコテ仕上げ 改修後 高圧水栓30MPa程度、下地調整C-1の上、撥水材塗料塗り	m	テラス	改修前 モルタルコテ押え、100角磁器タイル貼り 改修後 高圧水洗浄15MPa程度
b	屋根②	改修前 カラーベストコロニアル葺き 改修後 ウレタン塗膜防水	h	庇①	改修前 打放し仕上の上、吹付けタイル仕上げ 改修後 高圧水栓30MPa程度、下地調整C-1の上、防水型複層塗材RE仕上げ	n	ポーチ	改修前 モルタルコテ押え、100角磁器タイル貼り 改修後 高圧水洗浄15MPa程度
c	屋根③	改修前 加硫ゴム系シート防水(t1) 改修後 ウレタン塗膜防水	i	庇②	改修前 LGS下地の上、カラーアルミスバンドレル張り 改修後 下地調整RB種の上、DP塗装塗り	o	足洗い	改修前 カラーモザイクタイル張り 改修後 高圧水洗浄15MPa程度
d	軒裏①	改修前 打放し仕上の上、吹付けタイル仕上げ 改修後 高圧水栓30MPa程度、下地調整C-1の上、外装薄塗材E仕上げ	j	縦樋	改修前 SGP管φ100撤去 改修後 カラーVP管φ100新設、SUS製金物共			
e	軒裏②	改修前 LGS下地の上、カラーアルミスバンドレル張り 改修後 下地調整RB種の上、DP塗装塗り	k	建具廻り	改修前 既存シーリング(シリコン系)撤去 改修後 変成シリコン系シーリング(MS-2)新設			
f	外壁	改修前 打放し仕上の上、吹付けタイル仕上げ 改修後 高圧水栓30MPa程度、下地調整C-1の上、防水型複層塗材RE仕上げ	l	鉄部	改修前 - 改修後 下地調整RB種の上、DP塗装			

【特記事項】		No.
・外壁調査は工事に先立ち全面的ひび割れ、浮き、欠損部の位置、数量(幅・長さ・面積)の調査を行うこと。 ・設計数量については、調査可能な範囲で行った数量をもとに推定で算出した参考数量である。		
工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事	A-14
図面名	改修立面図	
縮尺	1/150	
岡山市都市整備局住宅・建築部		令和8年5月
公共建築課	課長 主幹 課長補佐 係長 課員 設計担当	

—	クラック	クラック幅1.0超え：C-1仕様 クラック幅0.4以上1.0以下：C-2仕様
▨	浮き	B-3仕様



【改修前】
化粧石こうボード(t9)
【改修後】
既存化粧石こうボード撤去の上、化粧石こうボード張り(t9.5)

【改修前】
LGS下地の上、カラーアルミスパンドレル張り
【改修後】
下地調整RB種の上、DP塗装塗り

【改修前】
コンクリート打放し仕上げの上、吹付けタイル仕上げ
【改修後】
高圧水洗30MPa程度、下地調整C-1の上、外装薄塗材E仕上げ

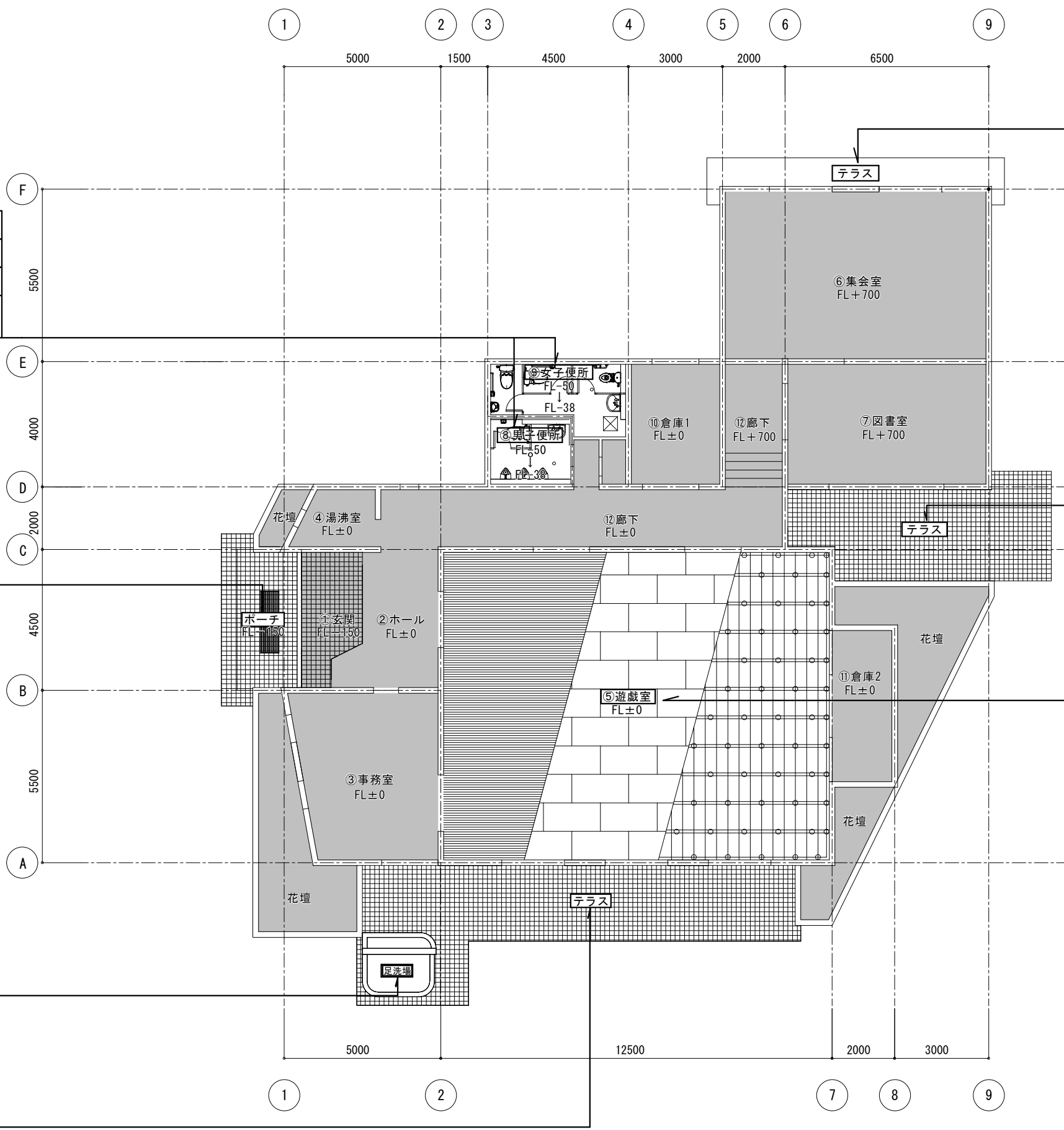
【改修前】
コンクリート打放し仕上げの上、吹付けタイル仕上げ
【改修後】
高圧水洗30MPa程度、下地調整C-1の上、外装薄塗材E仕上げ

【改修前】
化粧石こうボード(t9)
【改修後】
既存化粧石こうボード仕上げの上、EP塗り

【改修前】
化粧石こうボード(t9)
【改修後】
既存化粧石こうボード仕上げの上、EP塗り

工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事						No. A-15
図面名	改修天井伏図				縮尺	1/150	
岡山市都市整備局住宅・建築部						令和8年5月	
公共建築課	課長	主幹	課長補佐	係長	課員	設計担当	

…建築改修範囲対象外を示す。



【改修前】
磁器質カラーモザイクタイル張り
【改修後】
既存タイル仕上げの上、セルフレベリング塗り(t10)、 防滑性ビニル床シート張り(t2)

【改修前】
モルタルコテ押えの上、100角磁器タイル貼り
【改修後】
高圧水洗浄15MPa程度

【改修前】
カラーモザイクタイル張り
【改修後】
高圧水洗浄15MPa程度

【改修前】
モルタルコテ押えの上、100角磁器タイル貼り
【改修後】
高圧水洗浄15MPa程度

【改修前】
モルタルコテ仕上げ
【改修後】
高圧水洗浄15MPa程度

【改修前】
モルタルコテ押えの上、100角磁器タイル貼り
【改修後】
高圧水洗浄15MPa程度

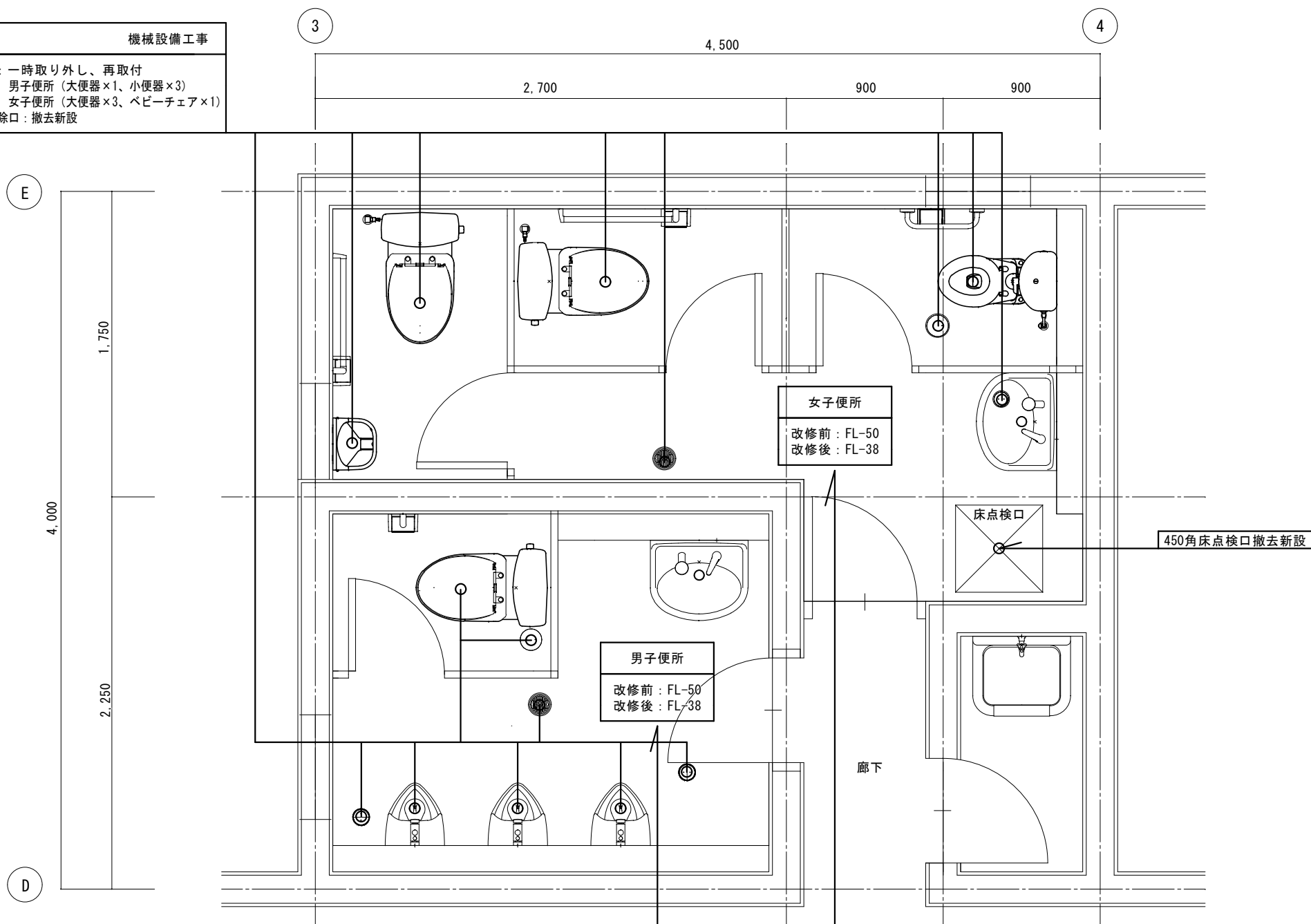
【改修前】
パーティクルボード(t15)捨張りの上、 カバ桜フローリング(t15)ポリウレタン塗布
【改修後】
既存フローリング研磨の上、ウレタン塗装塗り(3回)
床塗装手順:
①サンダー(1回目)下掛け 25~40番
②サンダー(2回目)中掛け 50~80番
③サンダー(3回目)仕上げ掛け 100~200番
④ウレタン塗装(1回目)
⑤ポリッシャー(1回目)
⑥ウレタン塗装(2回目)
⑦ポリッシャー(2回目)
⑧ウレタン塗装(3回目)

…建築改修範囲対象外を示す。

工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事					No.	A-16
図面名	改修床伏図	縮尺	1/150				
岡山市都市整備局住宅・建築部						令和8年5月	
公共建築課	課長	主幹	課長補佐	係長	課員	設計担当	

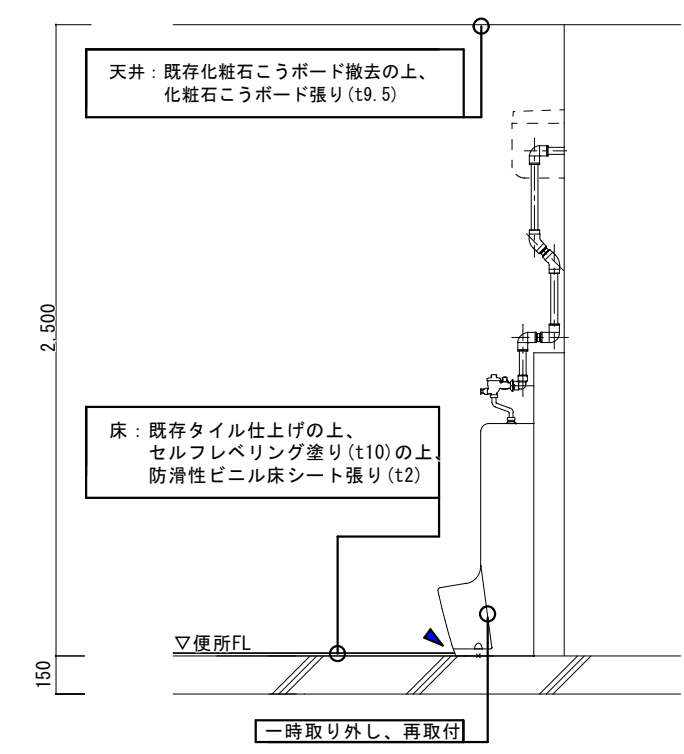
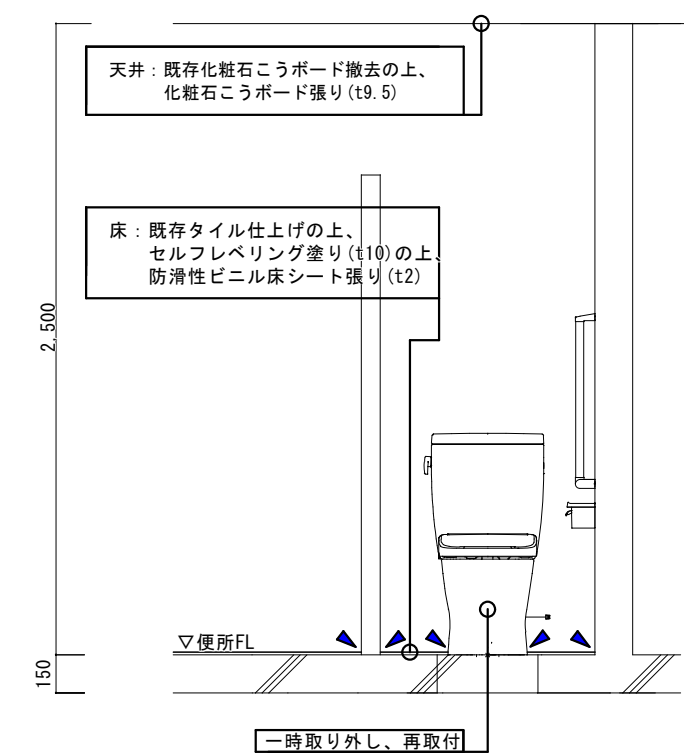


【改修前後】 機械設備工事
 衛生機器：一時取り外し、再取付
 男子便所（大便器×1、小便器×3）
 女子便所（大便器×3、ペーパーチェア×1）
 排水口・掃除口：撤去新設



【改修前】
 床：磁器質カラーモザイクタイル張り
 天井：化粧石膏ボード(t9)

【改修後】
 床：既存タイル仕上げの上、セルフレベリング塗り(t10)の上、防滑性ビニル床シート張り(t2)
 天井：既存化粧石膏ボード撤去の上、化粧石膏ボード張り(t9.5)

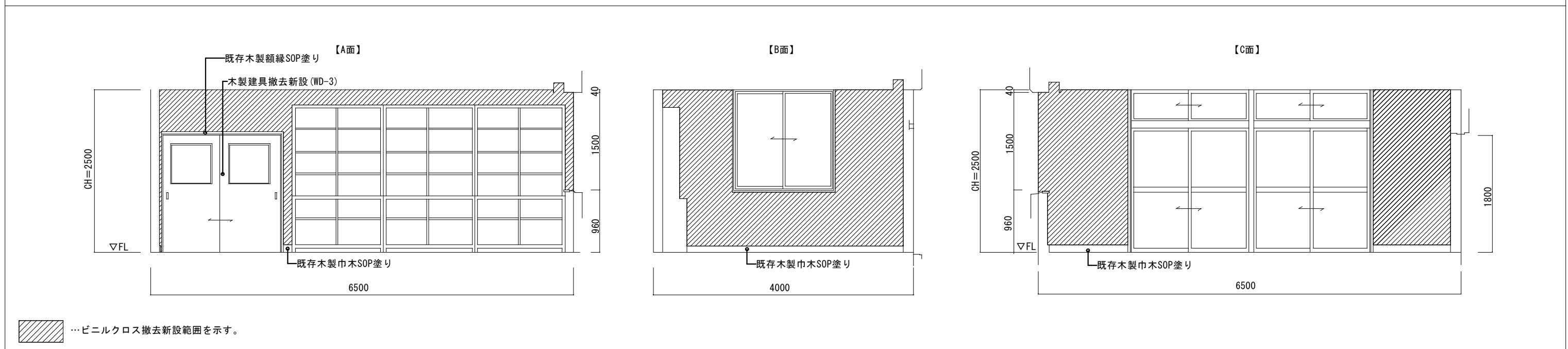


▲...シーリング(MS-2)新設位置を示す

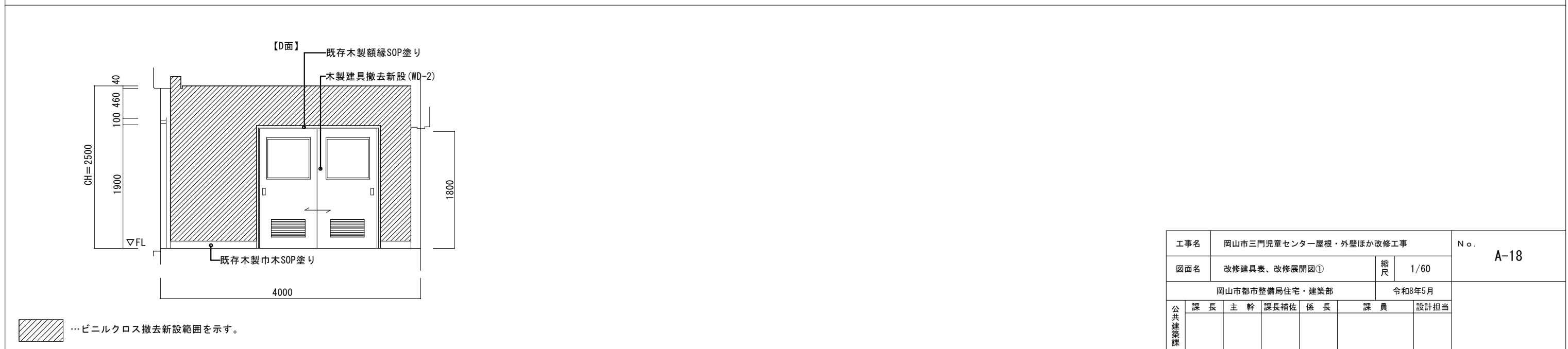
工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事					No. A-17
図面名	便所改修詳細図	縮尺	1/30			
岡山市都市整備局住宅・建築部					令和8年5月	
課長	主幹	課長補佐	係長	課員	設計担当	
公共建築課						

【KEY PLAN】	符号 数量	①	数量	②	数量	③	数量	④	数量	①	数量
		WD	1	WD	1	WD	1	WD	2	AW	6
	形状	集会室	1	図書室	1	図書室	1	男子便所、女子便所	2	湯沸室、男児便所、女子便所、廊下	6
	材種	引違い額入りポリエステル化粧板フラッシュ見込40、ガラリ(500×250)付き		引違い額入りポリエステル化粧板フラッシュ見込40、ガラリ(500×250)付き		引違い額入りポリエステル化粧板フラッシュ見込40		片開き額入りポリエステル化粧板フラッシュ見込40、ガラリ(500×250)付き		【既存】突出しアルミサッシ見込70	
	ガラス	型板ガラス(4m/m)		型板ガラス(4m/m)		型板ガラス(4m/m)		型板ガラス(4m/m)		【既存】フロート板ガラス(3m/m)	
	金物	堀込引手(ステンレス)、Uステンレール(既存)		堀込引手(ステンレス)、Uステンレール(既存)		堀込引手(ステンレス)、Uステンレール(既存) シリンダー錠		レバーハンドル SUS丁番		片引きブリーツ網戸新設	
	塗装	OSCL塗り		OSCL塗り		OSCL塗り		OSCL塗り		-	
	備考	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	

図書室展開図 S=1/60

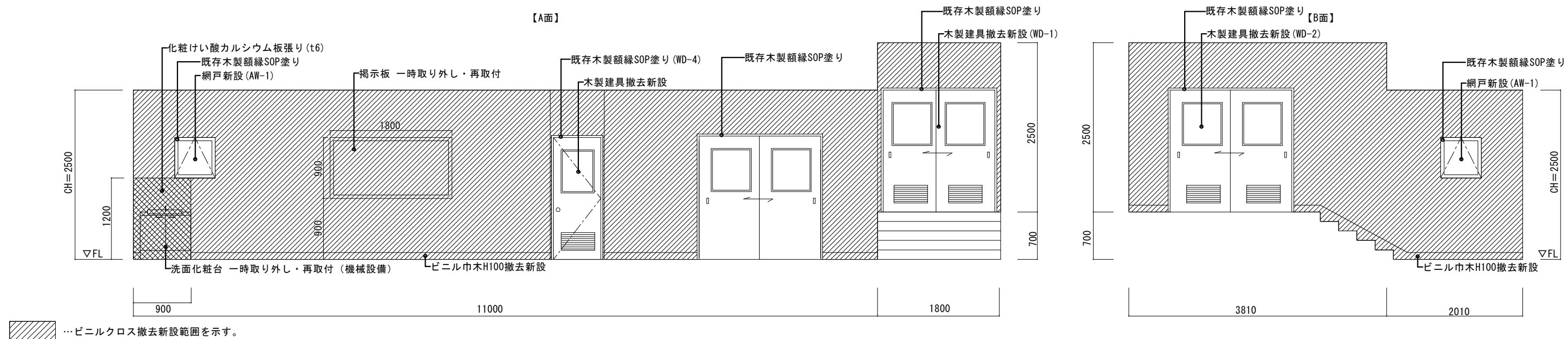


図書室展開図 S=1/60

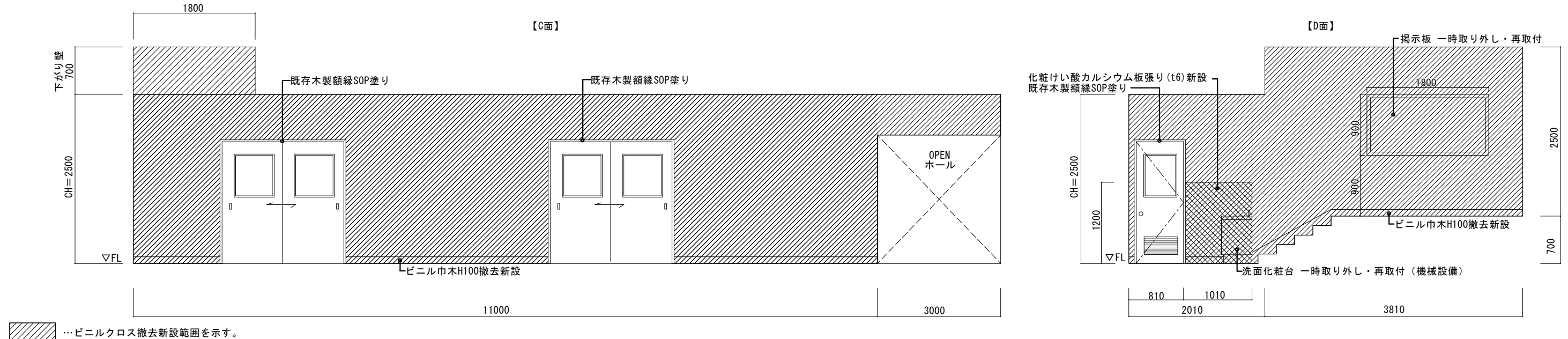


工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事					No.	A-18
図面名	改修建具表、改修展開図①			縮尺	1/60		
岡山市都市整備局住宅・建築部						令和8年5月	
公共建築課	課長	主幹	課長補佐	係長	課員	設計担当	

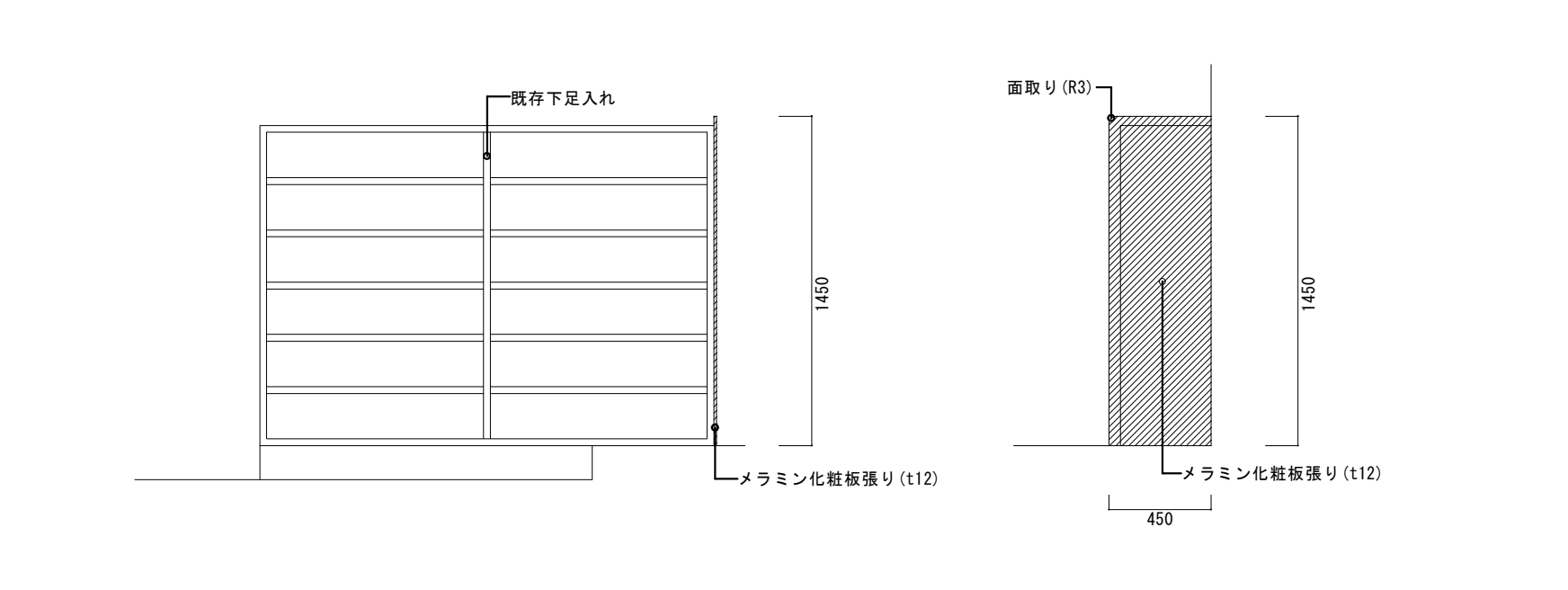
廊下展開図 S=1/60



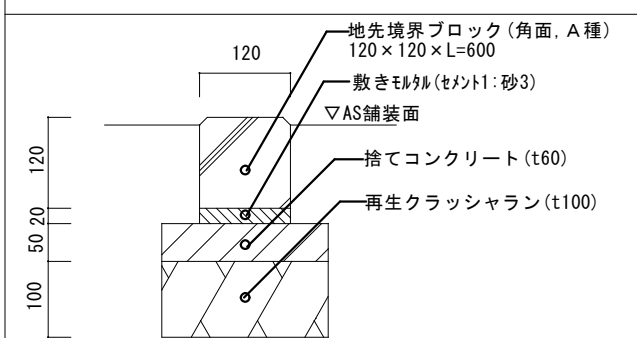
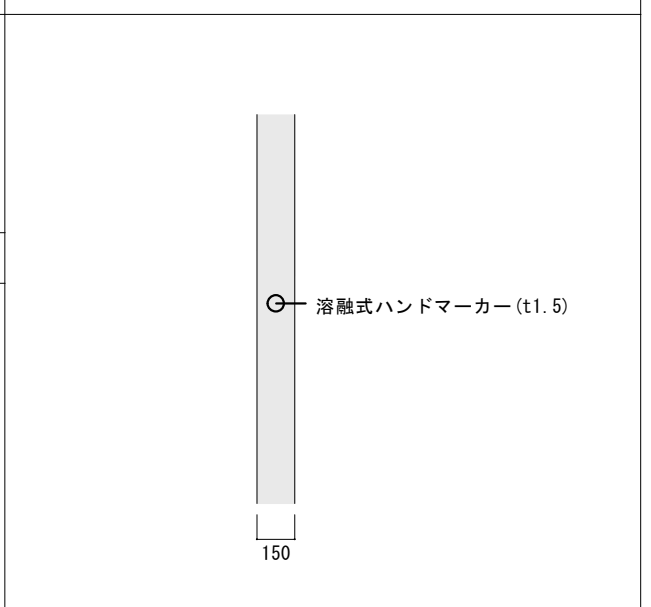
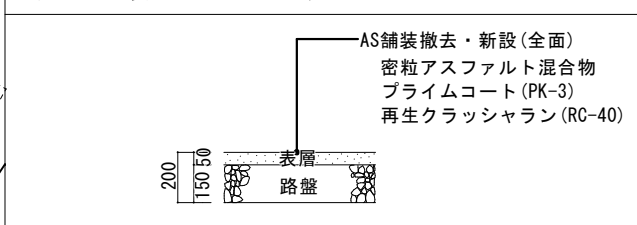
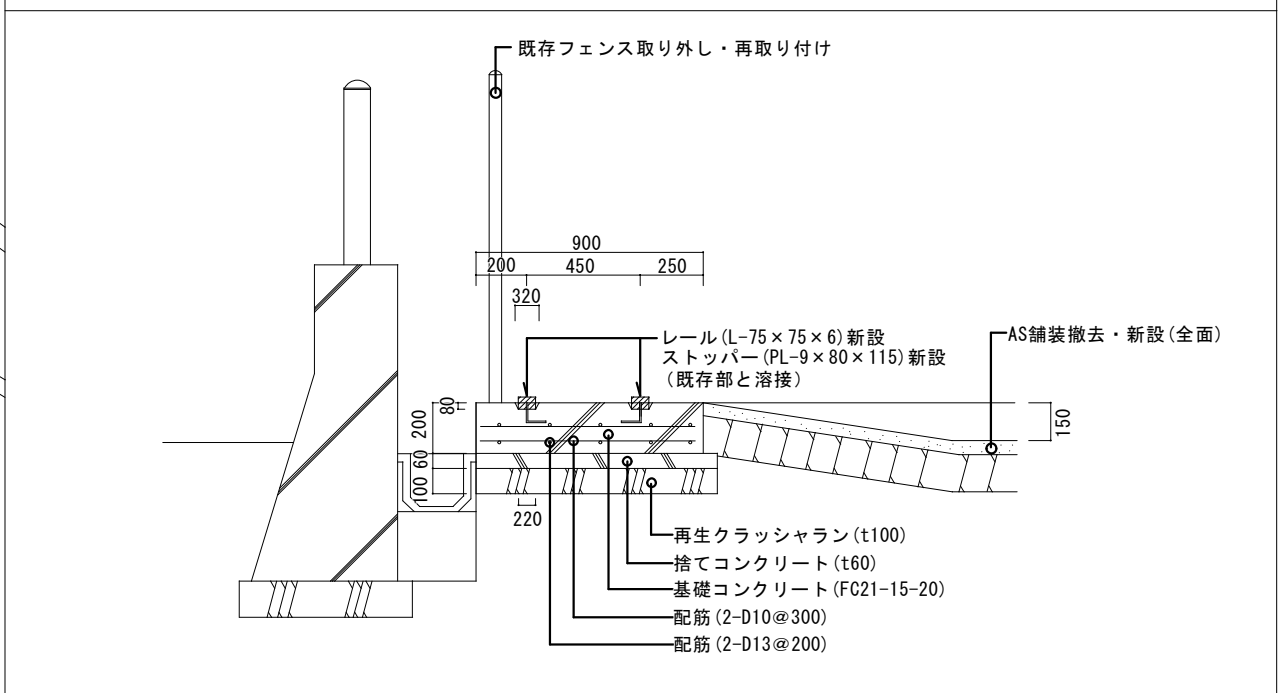
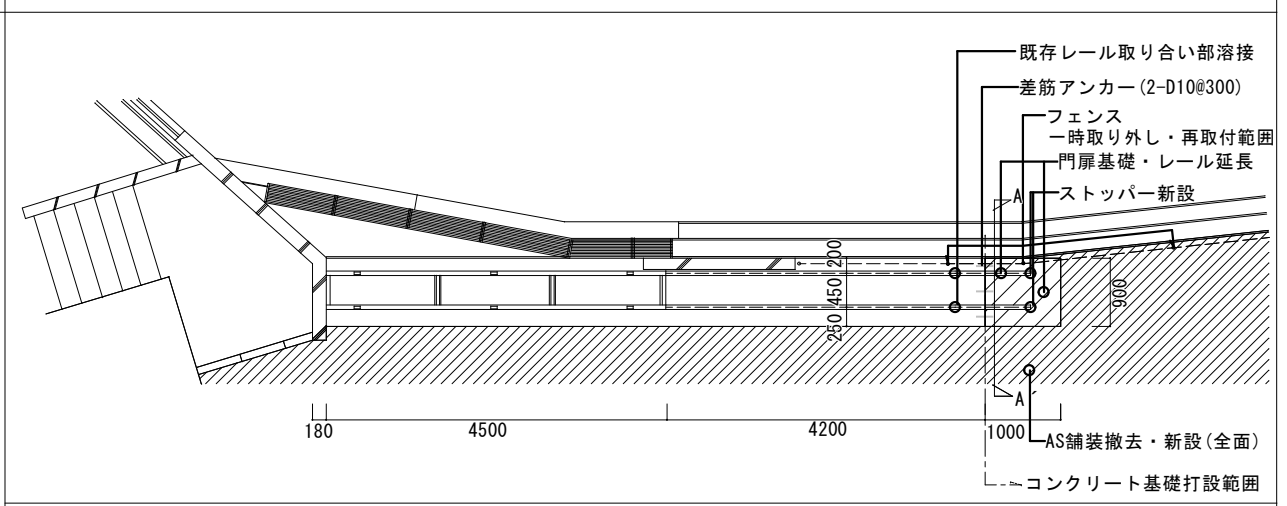
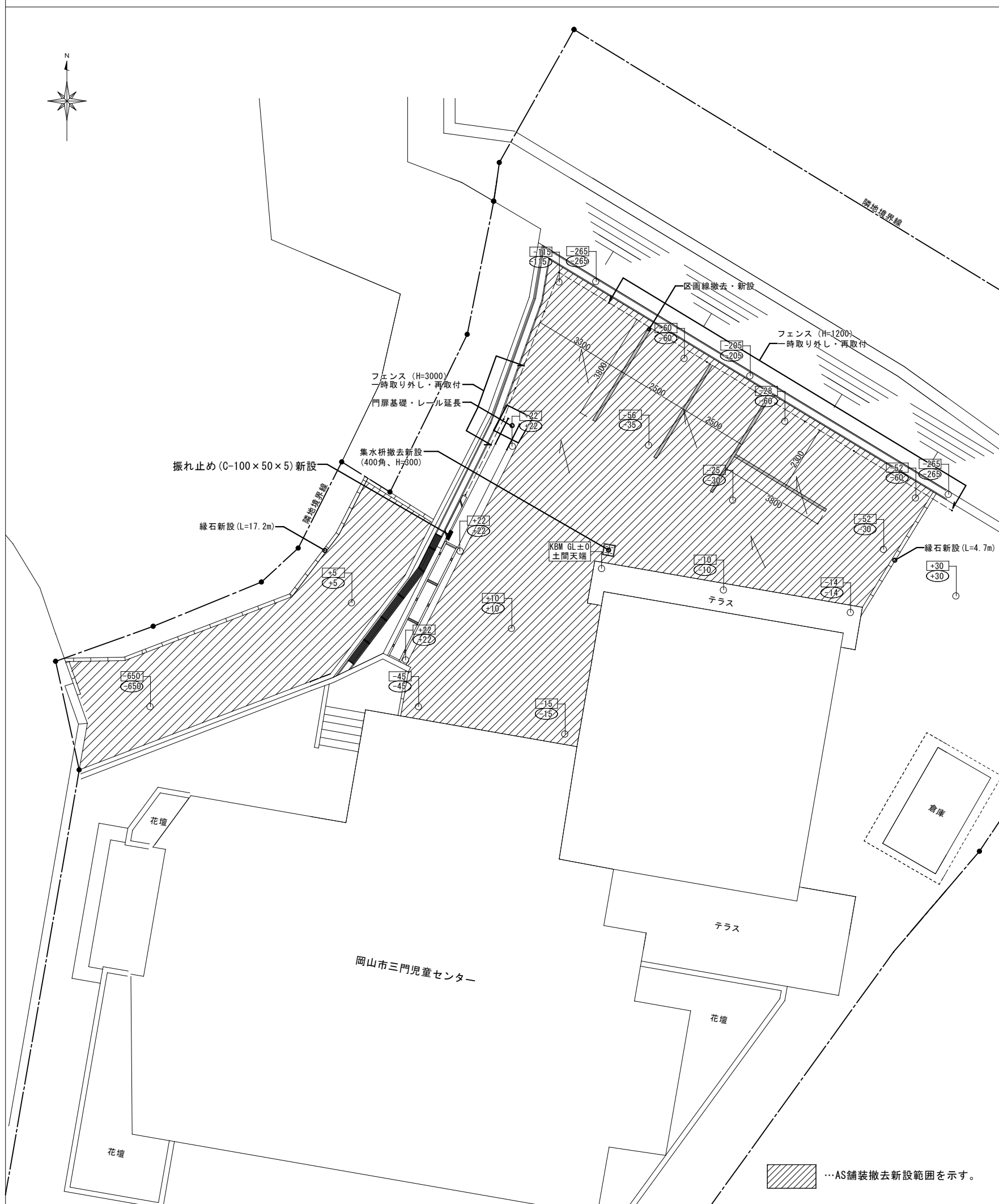
廊下展開図 S=1/60



下足入れ詳細図 S=1/30



工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事			No.	A-19
図面名	改修展開図②、下足入れ詳細図	縮尺	1/60・30		
岡山市都市整備局住宅・建築部				令和8年5月	
公共建築課	課長	主幹	課長補佐	係長	課員
					設計担当



【凡例】

**	現状レベル
**	設計レベル
→	水勾配

工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事				No.	A-20
図面名	改修外構図	縮尺	1/150・100 ・30・10			
岡山市都市整備局住宅・建築部				令和8年5月		設計担当
公共建築課	課長	主幹	課長補佐	係長	課員	

岡山市建築設備工事（電気）仕様書

I 工事概要

1 工事場所 岡山市北区三門西町6番2号

2 建物概要

Table with columns: 建物名称, 構造, 階数, 無人・有人, 延べ面積 (㎡), 消防法令別表1, 備考. Includes '児童センター' and 'RC造'.

3 工事種目 (○印のついたものを適用する)

Table with columns: 建物別及び屋外, 工事種目, 工, 事, 種, 別. Lists various electrical equipment like lighting, power, and communication.

II 工事仕様

- 1 共通仕様
2 特記仕様
1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2) 特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。

Main specification table with columns: 項目, 特記事項. Contains detailed requirements for materials, environment, safety, construction, and equipment.

一般共通事項

電灯設備

動力設備

受変電設備

Table with columns: 17. 埋設地, 18. 埋設表示, 19. 再使用機器, 20. 絶縁抵抗の測定, 21. 補修など, 22. 露出配管の塗装仕様, 23. 屋外露出配管の仕上げ, 24. 耐震措置, 25. あと施工アンカー, 26. 養生表示, 27. 養生仕上, 28. 分電盤, ① 工事範囲, ② 配線器具, ③ 照明器具, ④ 非常用照明的測定, ⑤ 照明制御の測定, ⑥ EEFケーブルのジョイントボックス, ⑦ 照明器具の接地, ⑧ 照度測定, 1. 工事範囲, 2. 電動機などへの接続, 3. 監視制御, 4. 引留金物等, 1. 工事範囲, 2. 電気方式, 3. 室内取付装置, 4. 屋外変電装置, 5. 高圧交流変換装置, 6. 高圧ケーブルの端末処理, 7. 高圧電力ケーブルの端末部, 8. 予備品等

発電設備

太陽光発電設備

雷保護設備

構内情報通信設備

構内交換設備

映像音響設備

拡声設備

情報表示設備

テレビ共同受信設備

インターホン設備

Table with columns: 1. 工事範囲, 2. 電気方式, 3. 仕様, 4. チェンブロック天井走行装置, 5. 防油堤, 6. 予備品等, 7. 工具, 1. 工事範囲, 2. 太陽電池アレイ, 3. ネットワーク, 4. 系統連携, 5. 系統連携保護, 6. 逆潮流, 7. 表示装置, 8. 計測装置, 1. 工事範囲, 2. 受雷部, 3. 引下げ導線, 4. 接地システム, 5. 内部雷保護, 1. 工事範囲, 2. ネットワーク, 3. 使用機器, 1. 工事範囲, 2. ローテーションアウトレット, 3. 保安器用接地, 4. 引留金物等, 5. 形, 6. 回線数, 7. 局線表示盤, 8. 電話設備, 9. 電話機への配線, 1. 工事範囲, 2. 映像機器, 3. 音響機器, ① 工事範囲, ② 増幅器, ③ マイクロホン, ④ ワイヤレス受信機, ⑤ スピーカー, ⑥ 音響調整器, ⑦ アンテナ, ⑧ CDプレーヤー, ① 工事範囲, 2. マルチサイン装置, 3. 出退表示装置, ④ 時計表示装置, 5. 予備品, 1. 工事範囲, 2. 同軸ケーブル, 3. アンテナ, 4. アンテナ支持ボロの取付, 5. 増幅器, 6. 電界強度の測定, ① 工事範囲, 2. 電源, ③ 機種, ④ 通話網方式, 5. 電話方式

火災報知設備

警備配管設備

構内配電線路

① 機器取付高
機器取付高は下記を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することができる。



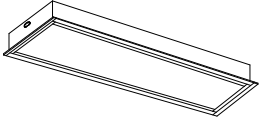

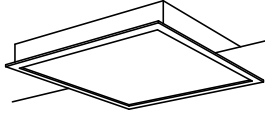


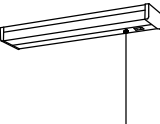

Table with columns: 名称, 測点, 取付高 (mm), 名称, 測点, 取付高 (mm). Lists various equipment and their installation heights.

- 2. 配線記号その他
※ 図中配線寸法記入のないものは、下記による。又、非標準対型電線・ケーブルの場合はVを表記する。(例 V.F)
イ. 電灯設備の場合
1.6×2(19) --- 1.6×3(19) --- 1.6×4(25) --- 2.0×2(19)
1.6×5(25) --- 1.6×6(25) --- H HV2.0×2(19)
F2 EEF1.6-2C F3 EEF1.6-3C F2E EEF1.6-2C IE1.6
F4 EEF1.6-2C×2 F5 EEF1.6-2C+EEF1.6-3C 2F2 EEF2.0-2C 2F2E EEF2.0-2C IE1.6
F6 EEF1.6-3C×2 F7 EEF1.6-3C+EEF1.6-2C×2 2F3 EEF2.0-3C
ロ. 動力設備の場合 --- 1.6×3(19)
ハ. 電気時計・拡声設備の場合 --- 1.2×2(19) --- 1.2×3(19) --- 1.2×5(19)
※ 照明器具設置ボックスの位置
※ 非常照明用白熱灯箱器具(電源別)には、一般用及び非常用位置ボックスを設けること。
※ 予備電源別型型の非常照明は、器具内の速り端子を使用時は、配線と同様に耐熱融接を満足すること。
上記により異なる場合は、分岐ボックスを設置し、端末配線処理を行うこと。

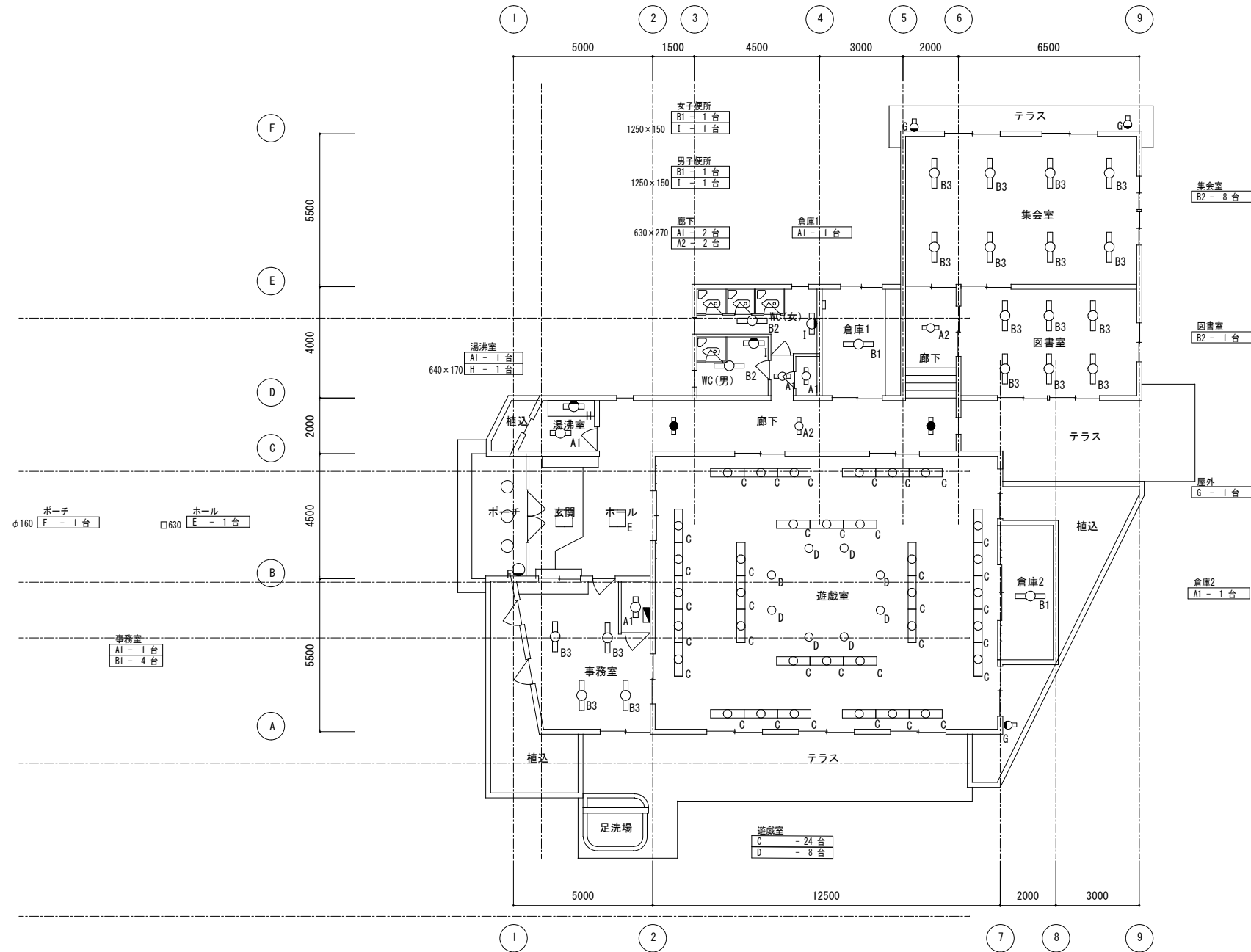
Table with columns: 工事名, 岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事, No., E-01, 07, 岡山市都市整備局 住宅・建築部 公共建築課, 令和8年5月, 課長, 課長補佐, 係長, 課員, 担当者, 承認, 機関, 製図

照明器具姿図

図及び型番は参考とする。

 <p>A1: 5台 A2: 2台</p>		 <p>B1: 2台 B2: 2台 B3: 18台</p>		 <p>34台</p>		 <p>8台</p>		 <p>1台</p>	
<p>A</p> <p>LEDベースライト 天井直付型</p> <p>1 公共型番: LSS10-2-15 光束: 1600lm、昼白色 (5000K)</p> <p>2 公共型番: LSS10-2-30 光束: 3200lm、昼白色 (5000K)</p>		<p>B</p> <p>LEDベースライト 天井直付型</p> <p>1 公共型番: LSS10-4-30 光束: 3200lm、昼白色 (5000K)</p> <p>3 公共型番: LSS10-4-37 光束: 4000lm、昼白色 (5000K)</p> <p>3 公共型番: LSS10-4-48 光束: 5200lm、昼白色 (5000K)</p>		<p>C</p> <p>LEDベースライト 埋込型(格子レール付)</p> <p>参考型番: NEL4500DN LE9+NNLK42330+NNFK91001</p> <p>光束: 5200lm、昼白色 (5000K)</p>		<p>D</p> <p>LEDダウンライト φ150 (φ300°レール付)</p> <p>参考型番: XND1061AN LE9+MNR0008</p> <p>光束: 860lm、昼白色 (5000K)</p>		<p>E</p> <p>LEDスクエアタイプ 天井埋込型 □640</p> <p>参考型番: NNF57500C LT9</p> <p>光束: 5000lm、昼白色 (5000K)</p>	
 <p>1台</p>		 <p>3台</p>		 <p>1台</p>		 <p>2台</p>			
<p>F</p> <p>LEDシーリングライト</p> <p>参考型番: XLGE5001 CE1</p> <p>光束: 440lm、昼白色 (2700K)</p>		<p>G</p> <p>LEDブラケットライト 壁直付型</p> <p>公共型番: LBF3MP/RP-2-06</p> <p>光束: 990lm、昼白色 (5000K)</p>		<p>H</p> <p>LEDブラケットライト 壁直付型</p> <p>参考型番: LGB52095 LE1</p> <p>光束: 980lm、昼白色 (5000K)</p>		<p>I</p> <p>LEDブラケットライト 壁直付型</p> <p>参考型番: LGB85037 LE1</p> <p>光束: 1100lm、昼白色 (5000K)</p>			

工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事			No.	E-02		
図面名	照明器具参考姿図	縮尺		E-07			
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月	担当者	承認	検図
	課長	課長補佐	係長	課員			製図



【凡 例】

A1	LED照明器具 天井直付型 FL20形2灯器具相当 (公共型番:LSS10-2-15)	事務室: 1台、湯沸室: 1台 廊下: 2台
A2	LED照明器具 天井直付型 FL20形2灯器具相当 (公共型番:LSS10-2-30)	廊下: 2台
B1	LED照明器具 天井直付型 Hf蛍光灯32形定格出力型1灯器具相当 (公共型番:LSS10-4-30)	倉庫1: 1台、倉庫2: 1台
B2	LED照明器具 天井直付型 Hf蛍光灯32形定格出力型2灯器具相当 (公共型番:LSS10-4-37)	男子便所: 1台、女子便所: 1台
B3	LED照明器具 天井直付型 Hf蛍光灯32形定格出力型2灯器具相当 (公共型番:LSS10-4-48)	集会室: 8台、図書室: 6台 事務室: 4台 遊戯室: 36台
C	LED照明器具 天井埋込型 Hf蛍光灯32形定格出力型2灯器具相当 (ルーバー共)	遊戯室: 8台
D	LEDがかり付 拡散タイプ・斜天井用 コンパクト形蛍光灯FDL27形1灯器具相当 φ150(φ3007ノット共)	ホール: 1台
E	LEDスクイアイト 天井埋込型 □640 FL20形5灯相当	ポーチ: 1台
F	LEDソケットライト 壁直付型 白熱電球60形1灯器具相当	屋外: 2台、屋外: 1台
G	LEDアジャスト 防雨型 直管形蛍光灯FL20形1灯器具相当 (公共型番:LBF3MP/RP-2-06)	湯沸室: 1台
H	LED照明器具 天井直付型 直管形蛍光灯FL20形1灯器具相当 プルスイッチ付	男子便所: 1台、女子便所: 1台
I	LED照明器具 天井直付型 直管形蛍光灯FL20形1灯器具相当	

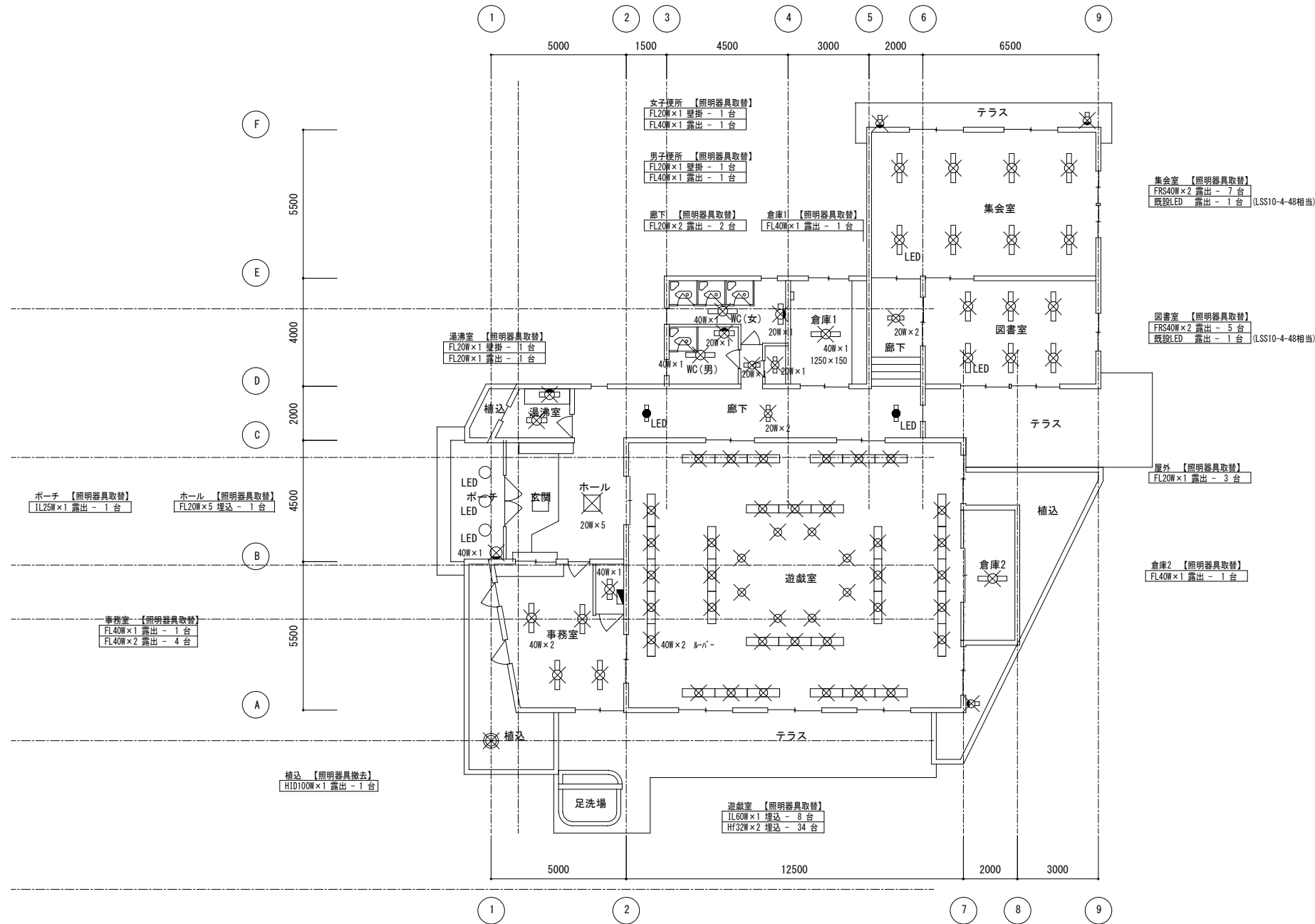
・執務並行改修とし、施設管理者と工程等よく調整の上、施設運営に支障をきたさないよう配慮すること。

【特 記】

・照明器具を天井に取付ける場合は、原則としてスラブその他構造体よりボルト等で支持する。
 なお、照明器具取替の際も、既設のボルトが無い場合にはスラブその他構造体よりボルト等で支持する。
 また、既設ボルトが錆等で再使用が不可能な際も新たにボルト等で支持をとること。

1階平面図 S=1/100

工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事				No. E-03 E-07
図面名	電灯設備 1階平面図				
岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和8年5月	
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認
					検印
					製図



【凡 例】

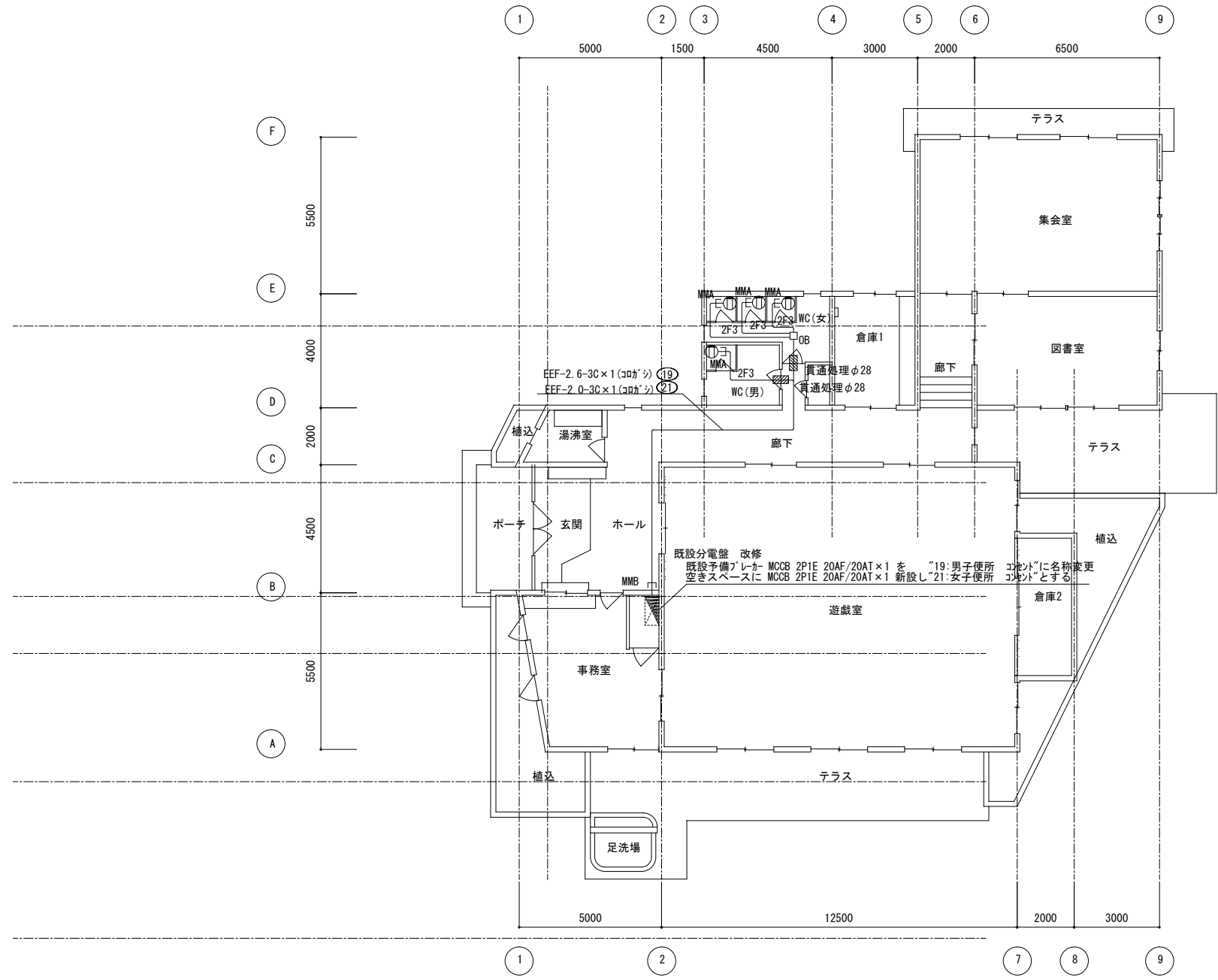
	蛍光灯照明器具 壁直付型	20W×1 湯沸室 1台、女子便所 1台、男子便所 1台
	蛍光灯照明器具 天井直付型	20W×1 湯沸室 1台、廊下 2台
	蛍光灯照明器具 天井直付型	40W×1 事務室: 1、女子便所 1台、男子便所 1台、倉庫1 1台、倉庫2 1台 40W×2 事務室: 4台、集会室 7台、図書室 5台 LSS10-4-48LN相当 集会室: 1台、図書室: 1台
	LED照明器具 天井直付型	
	蛍光灯照明器具 天井埋込型 (R-n'-付)	FL40×2 遊戯室: 34台
	白熱球タイプ 拡散タイプ・斜天井用	遊戯室: 8台
	蛍光灯スリットタイプ 天井埋込型	FL20W×5 ホール: 1台
	白熱球ソケットタイプ 壁直付型	IL25W×1 ポーチ: 1台
	蛍光灯フットライト 防雨型	FL20W×1 屋外: 2台、廊下: 1台
	HID灯具	100W 補込: 1台

注、機器類撤去に伴い、不要配線等は確認の上撤去整理をする事
「X」は撤去範囲を示す。

特記事項
・撤去又は取外した照明器具の安定器等については、PCB使用の有無を調査の上、リスト及び型番等のわかる写真を添付した報告書を提出し、監督員の承諾を得て引き渡し又は処分すること
なお、電路から取外したPCB使用機器は特別管理産業廃棄物にあたるので、法律に従いPCB廃棄物の飛散・流出・地下浸透・悪臭発生等の防止措置を講じ「PCB汚染物」の標示をすること
保管場所については、監督員の指示に従うこと

1階平面図 S=1/100

工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事			N o.	E-04		
図面名	電灯設備 撤去 1階平面図			縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印
令和8年5月							



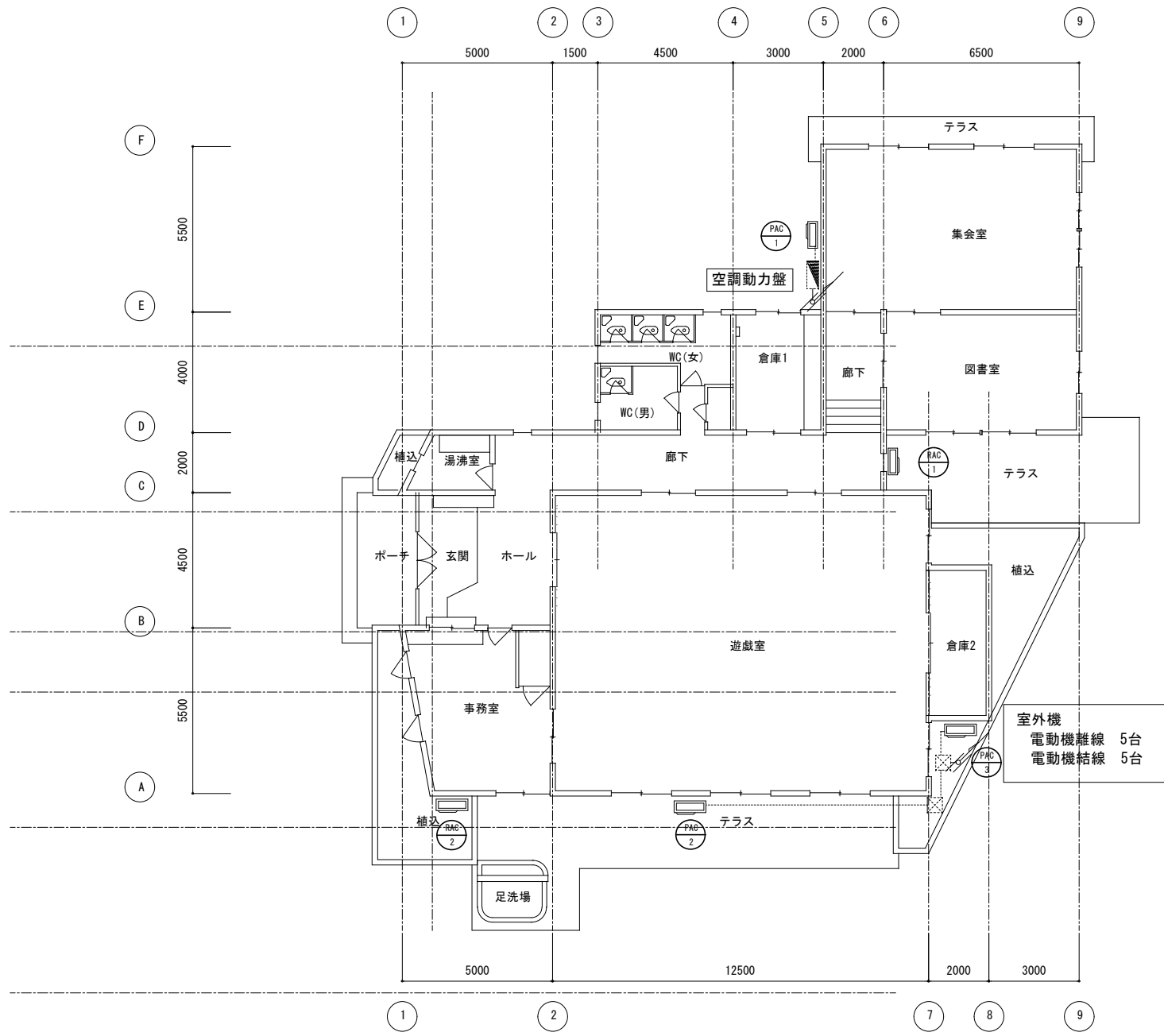
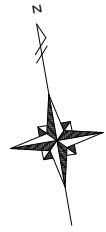
1階平面図 S=1/100

シンボル凡例

記号	名称	規格・仕様・備考
	既設分電盤	
	埋込コンセント	通用形2P15A×1 接地極 接地端子付 一体形
	貫通処理	200mm程度 28mm
	樹脂製70トクトボックス	大型 D54
	EM-EEFケーブル	2.0mm-3C

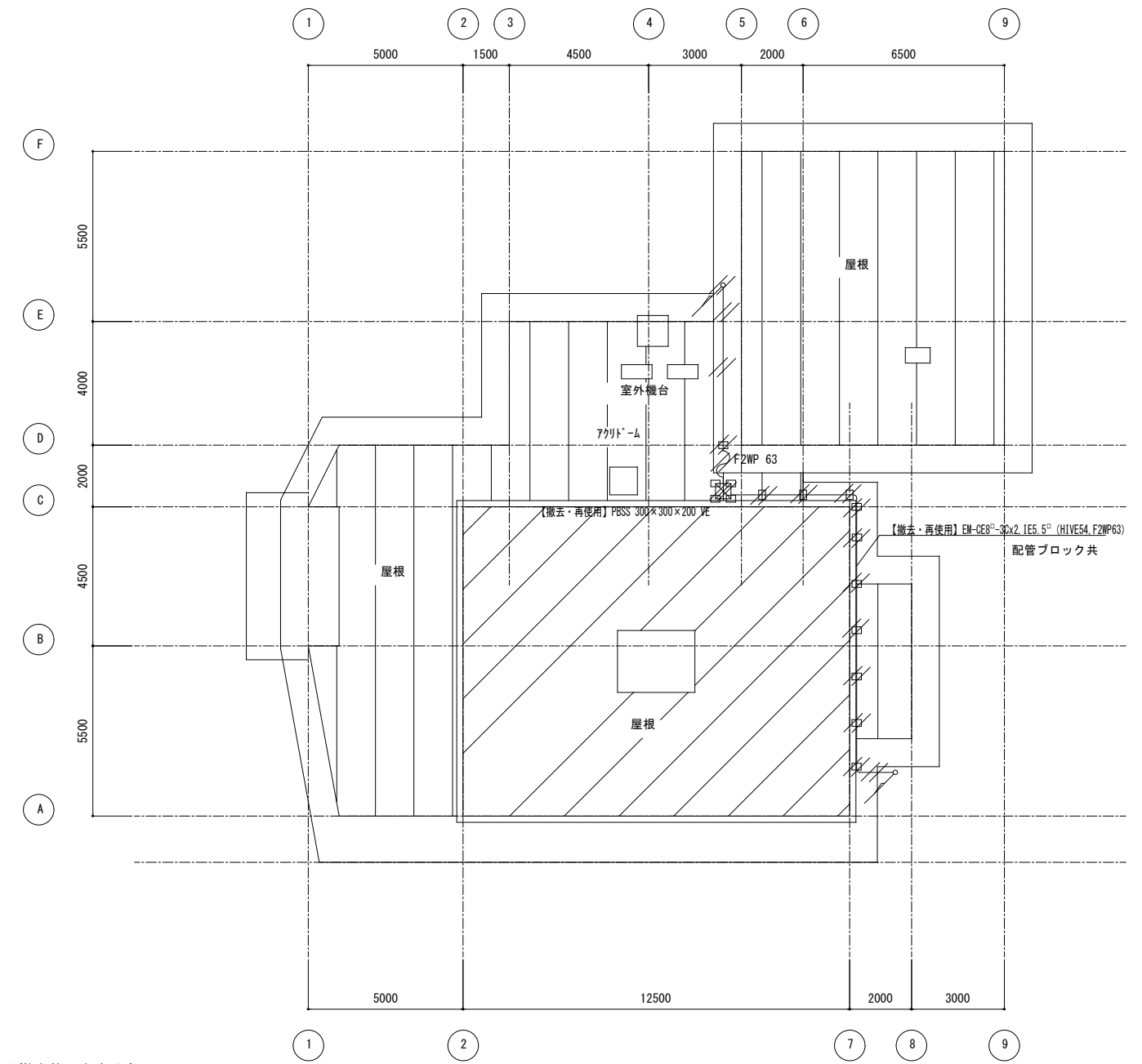
・執務並行改修とし、施設管理者と工程等よく調整の上、施設運営に支障をきたさないよう配慮すること。

工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事				No.	E-05	
図面名	コンセント設備 1階平面図				縮尺	A1:1/100	A3:1/200
図面番号	岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月	E-07	
課長	課長補佐	係長	課員	担当書	承認	検印	製図



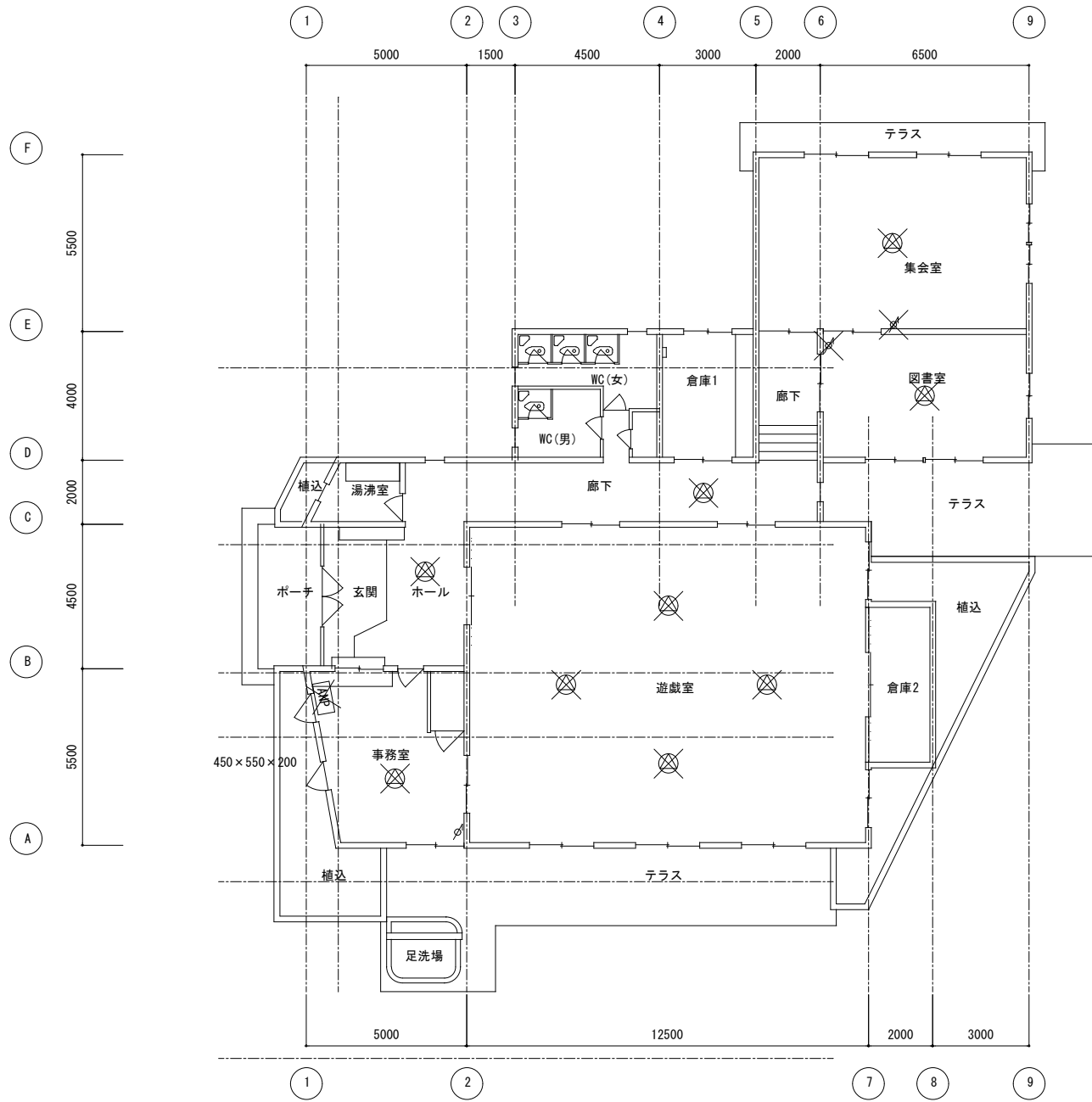
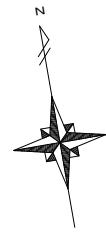
1階平面図 S=1/100

注、機器類撤去に伴い、不要配線等は確認の上撤去整理をする事
「//」は取外し・再取付範囲を示す。



屋根部 平面図 S=1/100

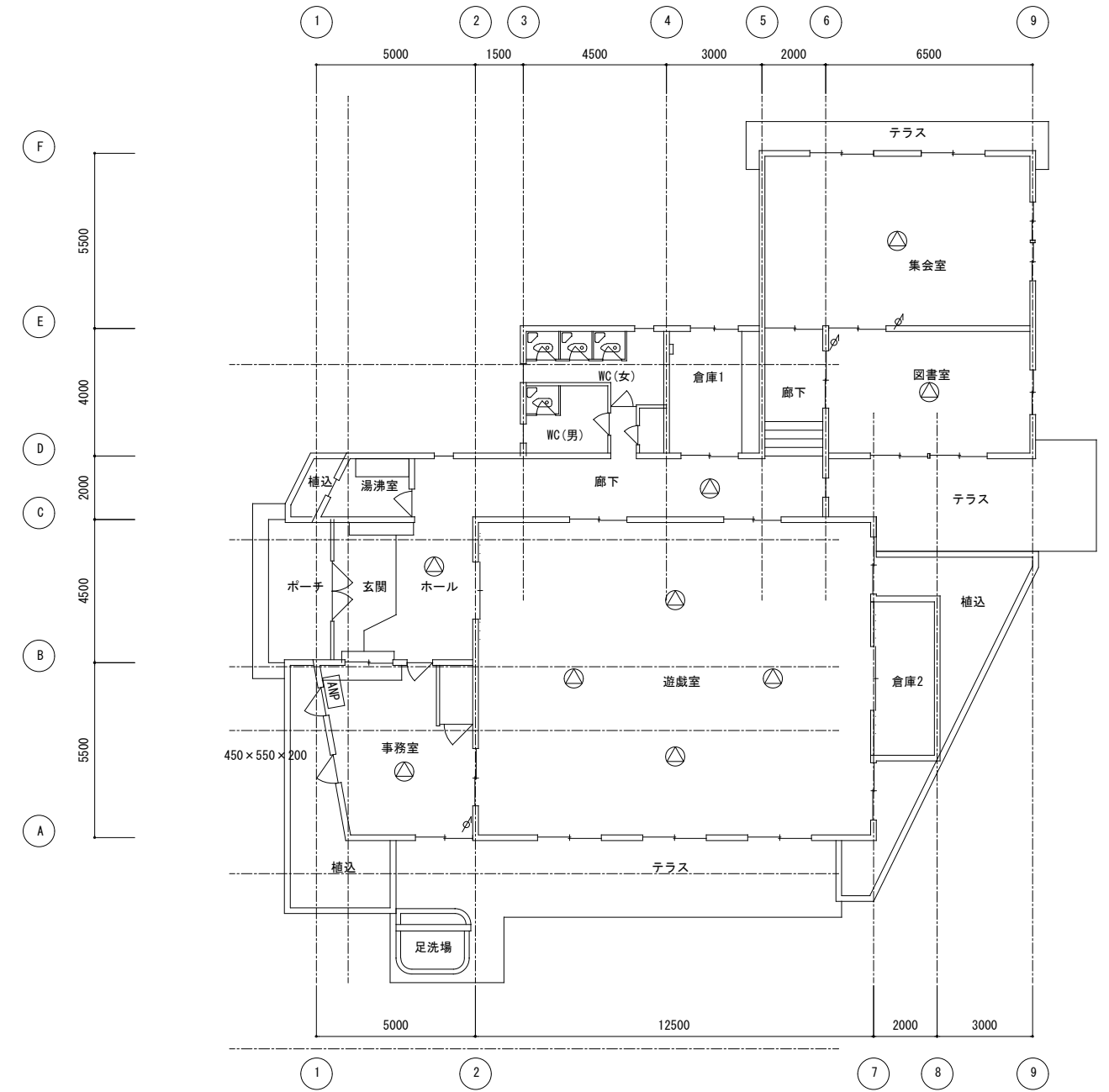
工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事				No.			
図面名	動力設備	1階・屋根部	平面図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	E-06		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和8年5月	E-07		
課長	課長補佐	係長	課員	担当	承認	検印	製図	



シンボル凡例

記号	名称	規格・仕様・備考
ANP	非常放送アンプ	壁掛型 60W
△	スピーカー	天井埋込 3W
φ	フッ素ペイント	3W

「X」は撤去範囲を示す。



シンボル凡例

記号	名称	規格・仕様・備考
ANP	非常放送アンプ	壁掛型 10局 60W
△	スピーカー	SC4H1-1(3) VO
φ	フッ素ペイント	3W S(金風製)

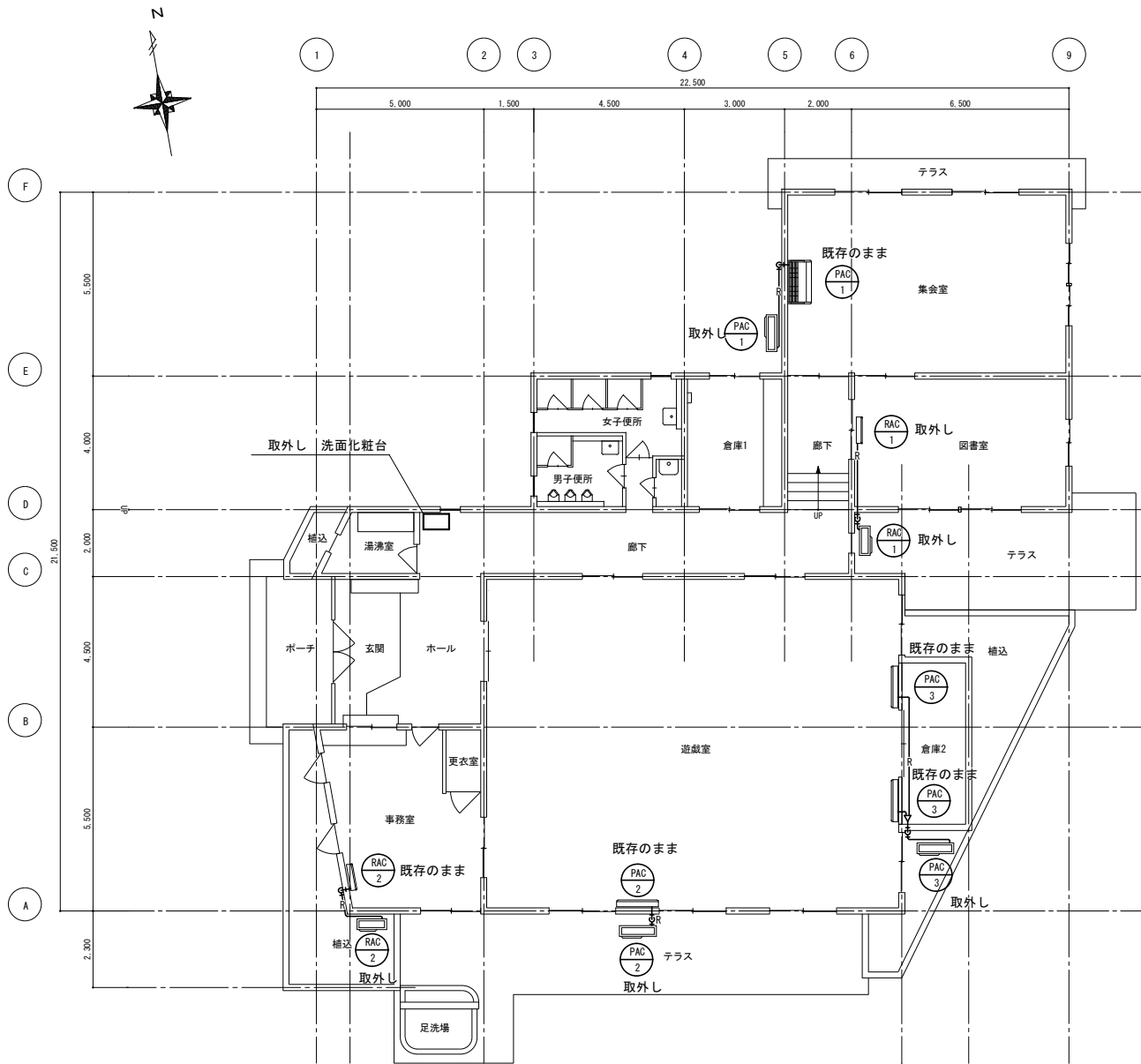
・執務並行改修とし、施設管理者と工程等よく調整の上、施設運営に支障をきたさないよう配慮すること。

工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事			No.	E-07
図面名	拡声設備	1階平面図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月	
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認

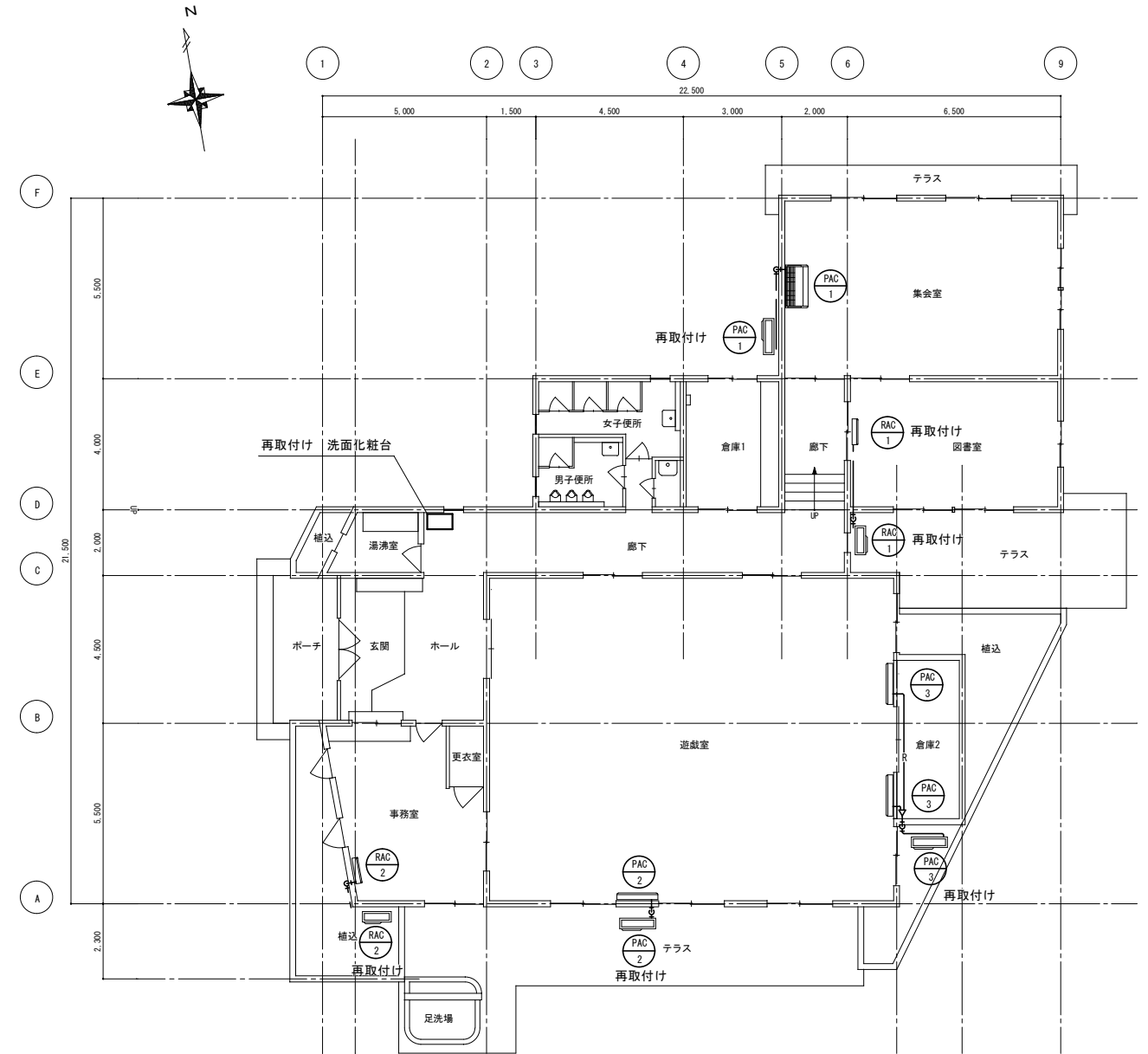
取外し・再取り付け機器表

記号	機器名	仕様	設置場所	型式	台数	備考
RAC-1	ルームエアコン	冷房：5.6kw 暖房：6.7kw 1Φ200V	図書室	RAO-ZJ56R2	1	室内機、室外機取外し・再取り付け 冷媒配管化粧カバー(樹脂)更新
	壁掛型	封入量：1.55kg(R32) 重量：室内機16.5Kg : 室外機40kg				
RAC-2	ルームエアコン	冷房：4.0kw 暖房：5.0kw 1Φ200V	事務室	RAC-ZJ40R2	1	室外機取外し・再取り付け 冷媒配管化粧カバー(樹脂)更新
	壁掛型	封入量：1.55kg(R32) 重量：室内機16.5Kg : 室外機40kg				
PAC-1	パッケージエアコン	冷房：10.0kw 暖房：11.2kw 3Φ200V	集会室	RZRP112BY	1	室外機取外し・再取り付け 冷媒配管化粧カバー(樹脂)更新
	天吊り型	封入量：3.15kg(R32) 重量：室内機40kg : 室外機70kg				
PAC-2	パッケージエアコン	冷房：10.0kw 暖房：11.2kw 3Φ200V	遊戯室	RAS-GP112RSH2	1	室外機取外し・再取り付け
	壁掛型	封入量：2.4kg(R32) 重量：室内機15kg : 室外機60kg				
PAC-3	パッケージエアコン(ツイン)	冷房：14.0kw 暖房：16.0kw 3Φ200V	遊戯室	RAS-GP160RSH2	1	室外機取外し・再取り付け
	壁掛型	封入量：2.6kg(R32) 重量：室内機38kg×2 : 室外機79kg				

※ドレン配管は冷媒配管と同経路



1階平面図 改修前 S=1/100



1階平面図 改修後 S=1/100

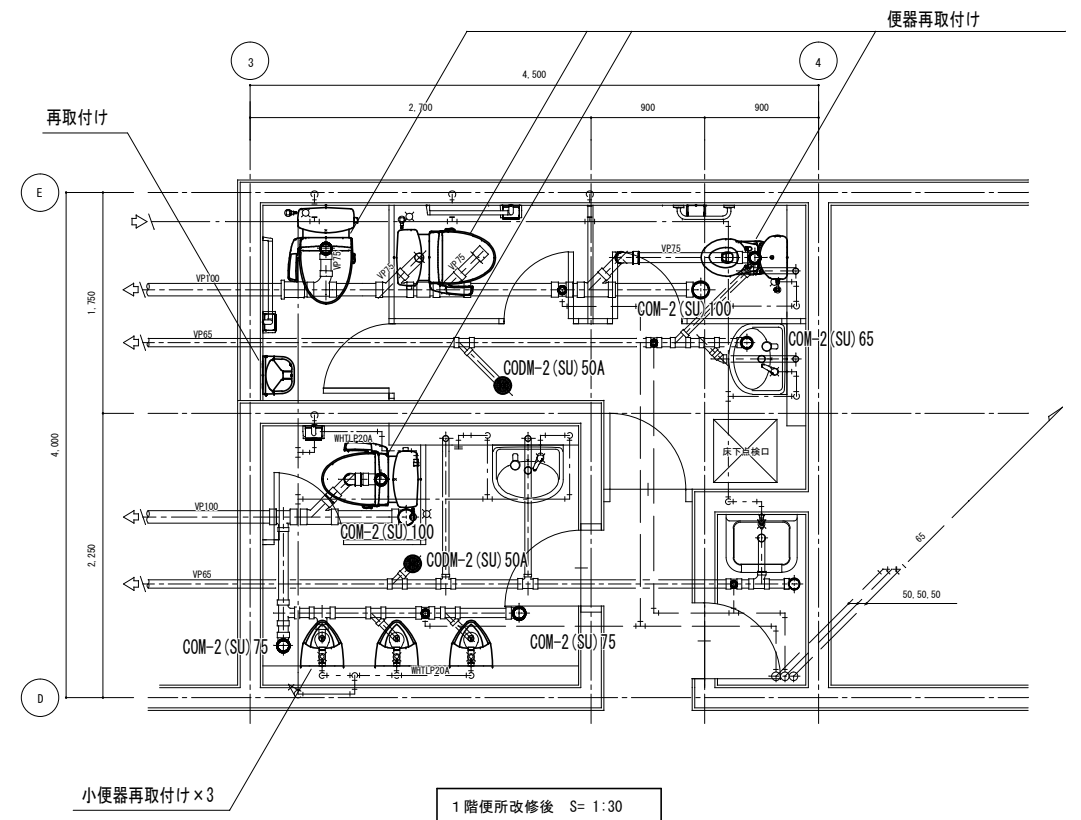
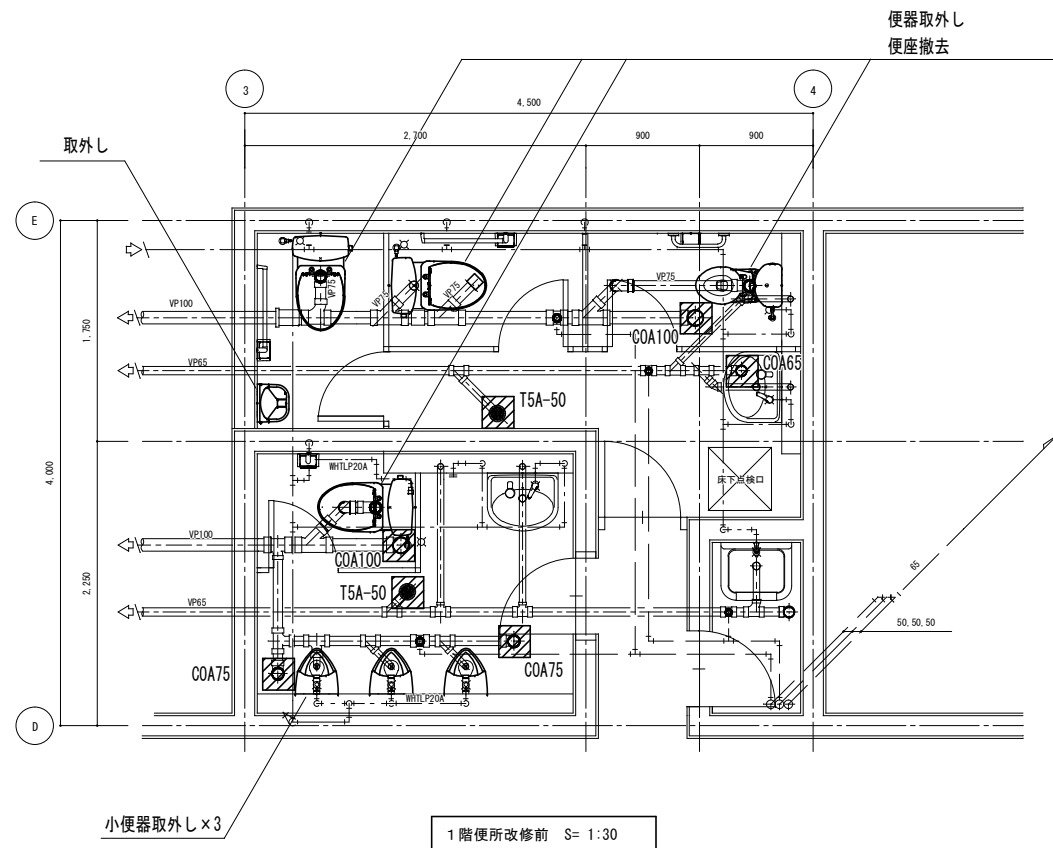
工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事			No.	
図面名	空調設備平面図(改修前・改修後)			縮尺	A1:1/100 A3:1/200
	岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和5年5月
課長	課長補佐	係長	係員	担当	承認
					M-03
					検図
					製図

撤去・取外し機器表

階	室名	名称	仕様	数量	備考
1	男子便所	洋風大便器	CS230BM, SH230BA	1	便器：取外し 便座：撤去
		小便器		3	取外し
	女子便所	洋風大便器	CS230BM, SH230BA	2	便器：取外し 便座：撤去
		幼児用大便器	CS300B, S300BK	1	便器：取外し 便座：撤去
	廊下	ベビーチェア	YKA15	1	取外し
	洗面化粧台		1	取外し	

改修後機器表

階	室名	名称	仕様	数量	備考
1	男子便所	洋風大便器	CS230BM, SH230BA, TCF587	1	便器：再取付け 便座：更新
		小便器		3	再取付け
	女子便所	洋風大便器	CS230BM, SH230BA, TCF587	2	便器：再取付け 便座：更新
		幼児用大便器	CS300B, S300BK, TCF40	1	便器：再取付け 便座：更新
	廊下	ベビーチェア	YKA15	1	再取付け
	洗面化粧台		1	再取付け	



凡例

	床はつり(復旧は建築)
--	-------------

工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事	№	M-02
図面名	衛生設備平面図(改修前・改修後)	縮尺	A1:1/30 A3:1/60
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和8年5月	担当者	M-03
課長	課長補佐	係長	係員
			承認
			検閲
			製図

撤去機器表

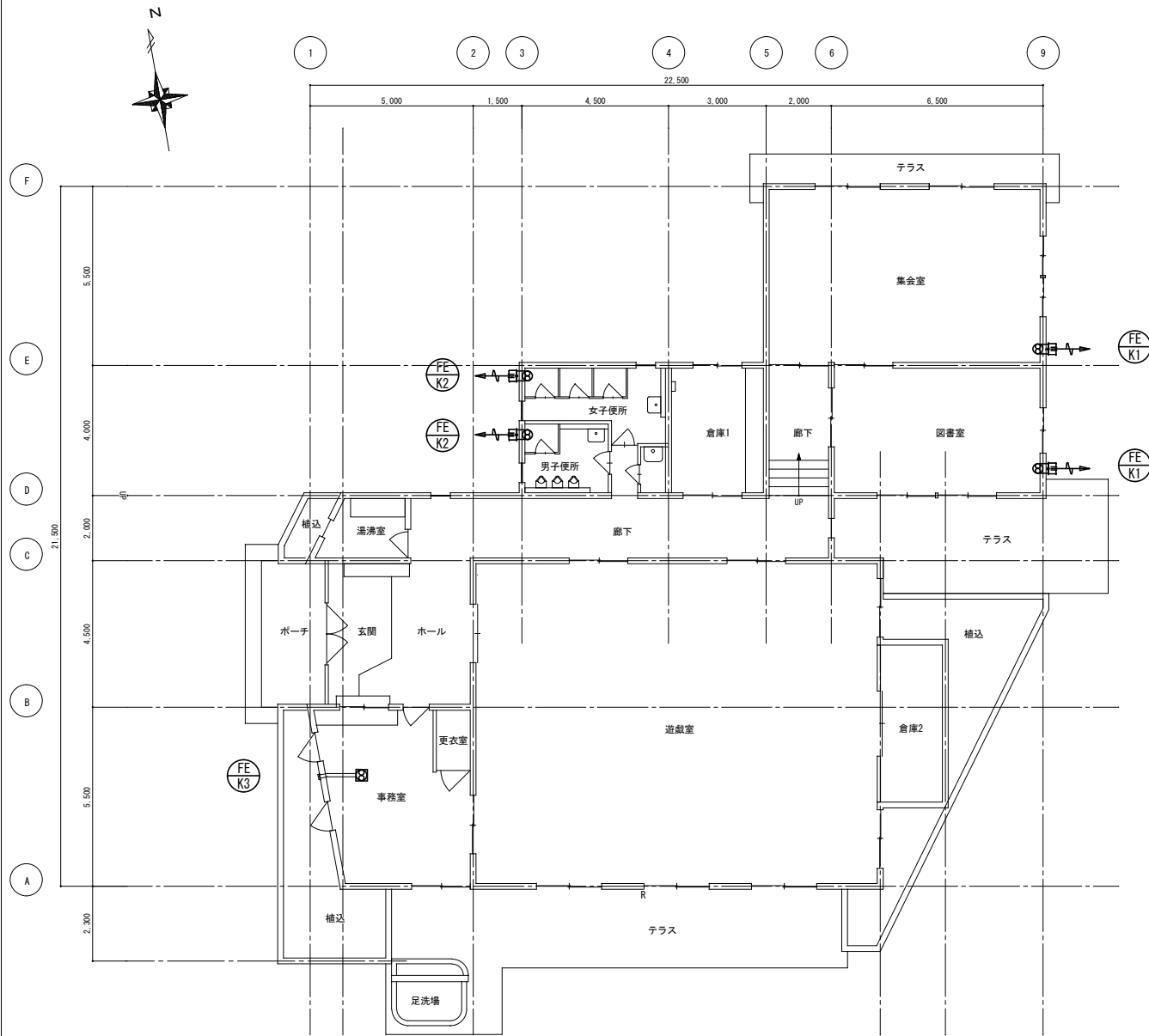
記号	機器名	仕様	設置場所	参考型式	台数	備考
FE-K1	壁換気扇	羽径φ300 ウェザーカバー(SUS製)	集会室		1	木枠再利用
			図書室		1	
FE-K2	壁換気扇	羽径φ250 ウェザーカバー(SUS製)	男子便所		1	木枠再利用
			女子便所		1	
FE-K3	天井埋込換気扇	能力 276m ³ /h ダクト径φ150	事務室	V-18ZS	1	既存のダクト再利用 機器のみ撤去

新設機器表

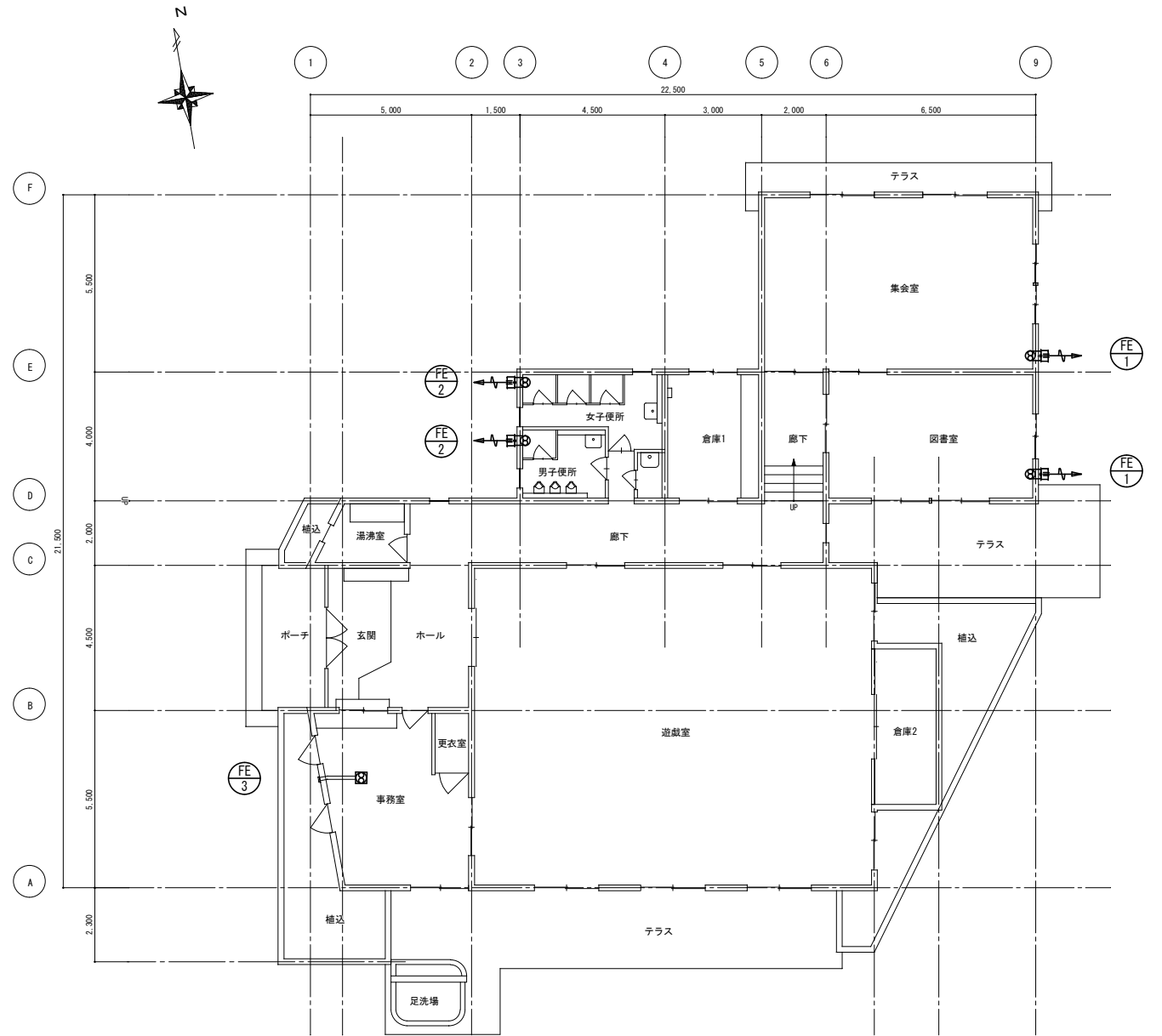
記号	機器名	仕様	設置場所	参考型式	台数	備考
FE-1	壁換気扇	能力 1,002m ³ /h 電源100V 消費電力30.5W ウェザーカバー(SUS製) 防鳥網	集会室	EX-30EK10-C	2	
			図書室	P-30CVSS, P-30CS4		
FE-2	壁換気扇	能力 690m ³ /h 電源100V 消費電力18.5W ウェザーカバー(SUS製) 防鳥網	男子便所	EX-25EK10-C	2	
			女子便所	P-25CVSS, P-25CS4		
FE-3	天井埋込換気扇	能力 250m ³ /h 電源100V 消費電力28.5W ダクト径φ150	事務室	VD-18ZLX14-CS P-04SML2	1	24時間専用スイッチは電気に支給

換気計算

室名	床面積 Af ㎡	天井高 mh m	室容積 m ³	換気回数による		人員による風量				換気				必要換気回数: 0.3 回/h以上							
				回数 回/H	風量 m ³ /h	在室人員		必要 換気量 m ³ /h	換気種 別	仕様	機器番号	排気量		給気		シックハウス					
						床面積より (人/㎡)	実人員 (人)					1人当り 風量 m ³ /h・人	計 m ³ /h	1台当り 換気量 m ³ /h・台	設計 換気量 m ³ /h	台数	仕様	必要 換気量 m ³ /h	設計 換気量 m ³ /h	可否	
集会室	46.75	2.50	116.9			0.50		30	701.3	701.3	第3種	壁換気扇	FE-1	1,002	1,002	1,002	1	既設同様	35.07	1,002	0.K.
図書室	26.00	2.50	65.00			0.50		30	390.0	390.0	第3種	壁換気扇	FE-1	1,002	1,002	1,002	1	既設同様	19.50	1,002	0.K.
男子便所	6.075	2.50	15.19	10	151.9					151.9	第3種	壁換気扇	FE-2	690	690	690	1	既設同様			
女子便所	8.973	2.50	22.43	10	224.3					224.3	第3種	壁換気扇	FE-2	690	690	690	1	既設同様			
事務室	24.75	2.50	61.88			0.15		30	111.4	111.4	第3種	天井埋込扇	FE-3	250	250	250	1	既設同様	7.43	130	0.K.



改修前 S=1/100



改修後 S=1/100

工事名	岡山市三門児童センター屋根・外壁ほか改修工事			№	
図面名	換気設備平面図(改修前・改修後)			縮尺	A1:1/100 A3:1/200
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和8年5月	M-03		
課長補佐	課長	係長	課員	担当者	承認